

**第2次東大和市
障害者総合プラン策定のための
アンケート調査**

報告書

**令和2年3月
東大和市**

目次

第1章 調査の概要等

1-1 調査の目的	1
1-2 調査の種類と実施方法	1
1-3 配布と回収状況	1
1-4 集計結果の表し方	2

第2章 障害当事者向け調査 集計結果

記入者について	3
2-1 あなたご自身のことについて	4
(1)属性	4
(2)世帯の状況	7
(3)障害等の状況	10
(4)高次脳機能障害のようす	15
(5)発達障害のようす	17
(6)介護保険制度の要介護認定と介護サービスの利用状況	19
2-2 介護・支援の状況について	22
(1)介護者・支援者の状況	22
(2)介護・支援している家族に必要な支援	25
2-3 住まいや生活について	26
(1)現在の暮らし方	26
(2)今後の暮らし方の意向	27
2-4 健康や医療について	28
(1)通院の状況	28
(2)かかりつけ医の状況	29
(3)医療機関で困っていること	31
2-5 就労・就学について	32
(1)就労の状況	32
(2)今後の就労意向	34
(3)就労していない理由	35
(4)障害者が働くために必要なこと	36
(5)就学の状況	37
2-6 外出・社会参加について	39
(1)外出の状況	39
(2)社会参加に必要な支援	43

2-7 障害福祉サービスの利用について	44
(1)利用状況と今後の利用意向	44
(2)利用者における評価	48
(3)サービス利用に関して困っていること	50
2-8 福祉や生活に関する相談・情報入手について	51
(1)生活で困っていること	51
(2)困っていることの相談先	53
(3)福祉関連の情報の入手先	55
2-9 災害時の避難・対策等について	56
(1)災害時の状況	56
(2)災害時に困ること	58
(3)災害時への備え	59
2-10 障害者の権利擁護・理解促進について	62
(1)差別・偏見や疎外感	62
(2)障害者差別解消法の認知状況	64
(3)成年後見制度の利用	65
2-11 今後の障害者施策について	66
(1)東大和市の障害者福祉施策について	66
(2)重要だと思う施策	67
2-12 市の取組みへのご意見、ご要望等	69
(1)身体障害者	70
(2)知的障害者	75
(3)精神障害者	77
(4)難病患者	79

第3章 障害サービス事業者等向け調査 集計結果

3-1 事業所の基本情報	81
(1)提供サービス	81
(2)法人種別	81
(3)事業所開設時期	82
(4)職員	83
(5)同一法人で実施している他の事業	84
3-2 事業運営及び経営状況について	85
(1)運営及び経営上の課題	85
(2)人材の募集	86
(3)人材育成や人材定着のための取組み	88

(4)経営状況	89
(5)サービス提供状況	92
3-3 サービス提供の課題について	93
3-4 今後の意向について	96
(1)サービスの質の向上	96
(2)必要な連携や支援	97
(3)新たに実施を検討しているサービス	99
3-5 障害福祉サービス、障害者施策への意見	100

第4章 調査結果のまとめ

4-1 障害当事者向け調査	103
(1)回答者の属性	103
(2)介護・介助の状況について	103
(3)住まいや生活について	103
(4)健康や医療について	104
(5)就労・就学について	104
(6)外出・社会参加について	104
(7)障害福祉サービスの利用について	104
(8)福祉や生活に関する相談・情報入手について	105
(9)災害時の避難・対策等について	105
(10)障害者の権利擁護・理解促進について	105
(11)今後の障害者施策について	105
4-2 障害サービス事業者等向け調査	106
(1)事業所の基礎情報	106
(2)事業運営及び経営状況について	106
(3)サービス提供の課題について	106
(4)今後の意向について	106
(5)障害福祉サービス、障害者施策への意見	107

資料

1 障害当事者向け調査票	109
2 障害サービス事業者等向け調査票	127

第1章

調査の概要等

1-1 調査の目的

東大和市障害者総合プラン(第4次障害者計画・第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画)の計画年度終了に伴い、現行計画後の状況の変化等を踏まえ、令和3年度を初年度とする第2次東大和市障害者総合プラン(第5次障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画)を策定するため、障害のある方のご意見・ご要望等を把握し、計画策定及び今後の障害者施策の推進に役立てるため、アンケート調査を実施しました。

1-2 調査の種類と実施方法

調査の種類と対象者	実施方法	調査方法
①障害当事者向け調査		
市内在住(市外の施設やグループホーム入居者も含む)の「身体障害者手帳」「愛の手帳」「精神障害者保健福祉手帳」の所持者と、「難病患者福祉手当」受給者	全数	郵送による配布・回収
②障害福祉サービス事業者等向け調査		
市内の指定障害福祉サービス事業者等	全数	郵送による配布・回収

【調査期間】 令和元年 12月7日(土)～12月23日(月)

【調査対象地区】 市内全域

1-3 配布と回収状況

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
①障害当事者向け調査	4,334	2,037	47.0%
「身体障害者手帳」所持者	2,573	1,334	51.8%
「愛の手帳」所持者	629	269	42.8%
「精神障害者保健福祉手帳」所持者	818	304	37.2%
「難病患者福祉手当」受給者	314	130	41.4%
②障害福祉サービス事業者等向け調査	77	54	70.1%

1-4 集計結果の表し方

- 設問は単一回答(1つだけに○)、複数回答(あてはまるものすべてに○、必要と思われるもの2つに○等)の2種類があります。
- 単純集計の単一回答は円グラフ(選択肢などの見やすさを考慮して一部横棒グラフもあり)、複数回答は横棒グラフで表しています。
- クロス集計では単一回答、複数回答ともに数値表(横棒グラフ)で表しています(単位:回答者数は人、横棒グラフは%)。
- 図表の数値は、各設問の無回答を含む回答者数に対する百分率(%)で表しています。
- 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問では、百分率の合計が100%を超えることがあります。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していません。よって、<回答者数><回答数>の「全体」と各項目の和が一致しない場合があります。
- 値や回答者数(n)が少ない項目については、グラフ中の%表記、コメントを省略しているものがあります。
- 回答者数(n)が少ない項目を比率で見ることは注意が必要です。

第2章

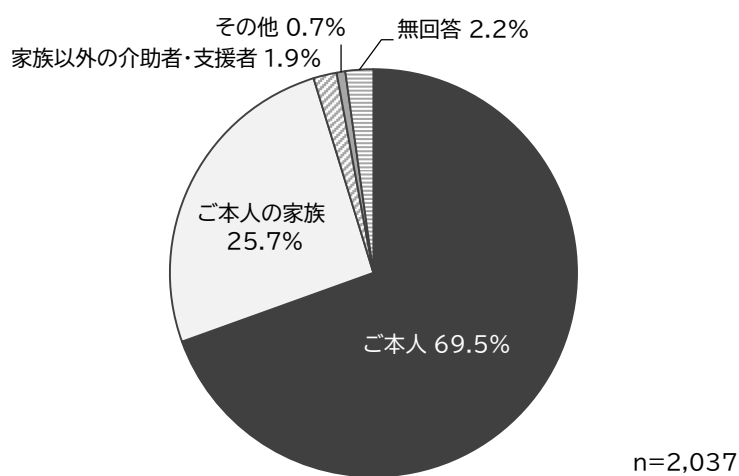
障害当事者向け調査 集計結果

記入者について

ご記入される方はどなたですか。あなた(あて名のご本人)からみた続柄でお答えください。
(1つだけに○)

「ご本人」が 69.5%と最も高く、次いで「ご本人の家族」(25.7%)、「家族以外の介助者・支援者」(1.9%)、「その他」(0.7%)の順となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“高次脳機能障害がある”、“発達障害がある”では、「ご本人の家族」が 55%を超えています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	難病患者 福祉手当	高次脳 機能障害 がある	発達障害 がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
ご本人	69.5	72.8	31.2	79.9	90.8	23.1	32.8
ご本人の家族	25.7	23.4	56.9	16.1	7.7	69.2	56.9
家族以外の介助者・支援者	1.9	1.0	7.1	1.3	0.8	0.0	8.6
その他	0.7	0.6	1.9	0.3	0.0	5.1	0.0
無回答	2.2	2.2	3.0	2.3	0.8	2.6	1.7

2-1 あなたご自身のことについて

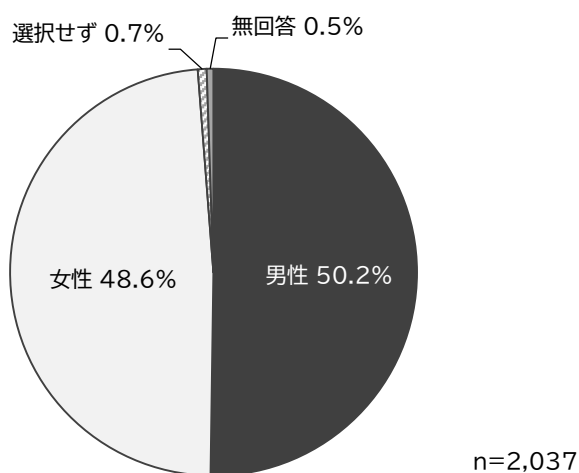
(1) 属性

①性別

問1 あなたの性別をお答えください。(1つだけに○)

「男性」が 50.2%、「女性」は 48.6%、「選択せず」は 0.7%となっています。

障害等の別にみると、「難病患者福祉手当」は「女性」が 65.4%、「発達障害がある」は男性が 61.2%となっています。



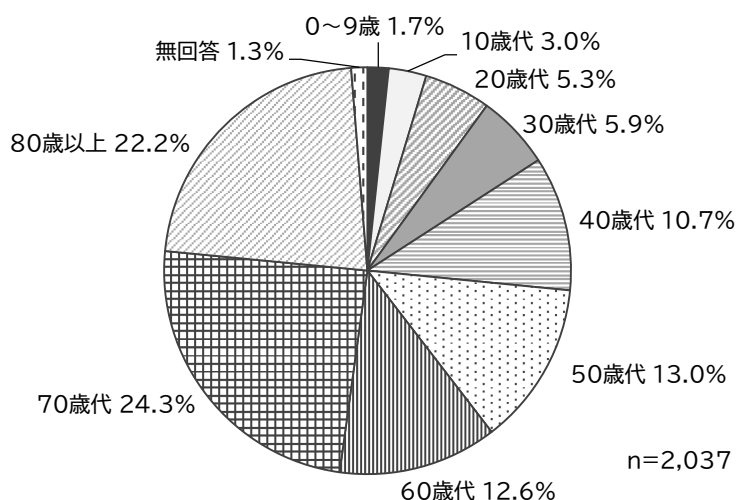
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
男性	50.2	49.7	58.0	53.0	33.1	48.7	61.2
女性	48.6	49.4	40.9	44.4	65.4	51.3	37.9
選択せず	0.7	0.4	0.4	2.0	1.5	0.0	0.9
無回答	0.5	0.5	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0

②年齢

問2 あなたは何歳ですか。(令和元年12月1日現在)

「70歳代」が24.3%と最も高く、次いで「80歳以上」(22.2%)、「50歳代」(13.0%)、「60歳代」(12.6%)、「40歳代」(10.7%)、「30歳代」(5.9%)、「20歳代」(5.3%)、「10歳代」(3.0%)、「0～9歳」(1.7%)の順となっています。

障害等の別にみると、「身体障害者手帳」における最も割合が高い年代は「70歳代」、「愛の手帳」は「20歳代」、「精神障害者保健福祉手帳」と「難病患者福祉手当」、「高次脳機能障害がある」は「50歳代」、「発達障害がある」は「10歳代」及び「20歳代」となっています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
0～9歳	1.7	0.9	6.7	0.7	1.5	0.0	12.1
10歳代	3.0	0.6	18.6	0.7	0.8	0.0	20.7
20歳代	5.3	1.4	21.2	6.9	8.5	0.0	20.7
30歳代	5.9	2.2	12.3	16.8	5.4	5.1	18.1
40歳代	10.7	4.9	20.8	23.4	19.2	17.9	15.5
50歳代	13.0	8.7	11.5	29.3	22.3	25.6	6.9
60歳代	12.6	14.4	4.5	9.9	17.7	17.9	3.4
70歳代	24.3	33.4	3.3	8.2	12.3	20.5	0.9
80歳以上	22.2	32.6	0.4	1.3	9.2	12.8	0.9
無回答	1.3	0.8	0.7	3.0	3.1	0.0	0.9

③地域

問3 あなたがお住まいの地域はどこですか。(1つに○)

「向原」が 14.1%と最も高く、次いで「桜が丘」(13.8%)、「南街」(8.9%)、「清原」(8.1%)、「清水」(6.3%)、「蔵敷」(5.9%)、「奈良橋」(5.3%)、「芋窪」(4.9%)、「狭山」(4.7%)、「立野」(4.5%)、「中央」(3.9%)、「上北台」(3.9%)、「新堀」(3.8%)、「仲原」(3.2%)、「高木」(3.2%)、「湖畔」(2.5%)、「市外」(1.8%)の順となっています。

	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	難病患者 福祉手当	高次脳 機能障害 がある	発達障害 がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
狭山	4.7	5.1	2.2	5.6	3.8	5.1	3.4
清水	6.3	5.4	8.6	8.9	4.6	10.3	7.8
高木	3.2	2.9	4.8	3.0	3.1	5.1	3.4
湖畔	2.5	2.8	0.4	1.3	5.4	2.6	0.0
奈良橋	5.3	4.6	9.3	4.3	6.2	0.0	4.3
蔵敷	5.9	7.0	2.6	4.9	3.8	12.8	3.4
芋窪	4.9	4.5	5.9	6.3	3.8	7.7	7.8
清原	8.1	8.9	7.8	6.6	4.6	10.3	5.2
仲原	3.2	3.2	4.1	3.0	2.3	5.1	2.6
中央	3.9	4.0	4.5	3.6	3.1	5.1	3.4
上北台	3.9	4.3	1.5	4.3	3.8	7.7	3.4
立野	4.5	4.9	4.5	2.6	4.6	5.1	4.3
南街	8.9	9.5	5.9	9.9	6.9	2.6	6.0
向原	14.1	14.1	11.5	16.1	15.4	0.0	10.3
新堀	3.8	3.4	3.0	4.6	7.7	5.1	6.9
桜が丘	13.8	13.8	15.6	10.2	18.5	12.8	21.6
市外	1.8	0.7	7.1	2.3	0.0	2.6	5.2
無回答	1.1	0.7	0.7	2.6	2.3	0.0	0.9

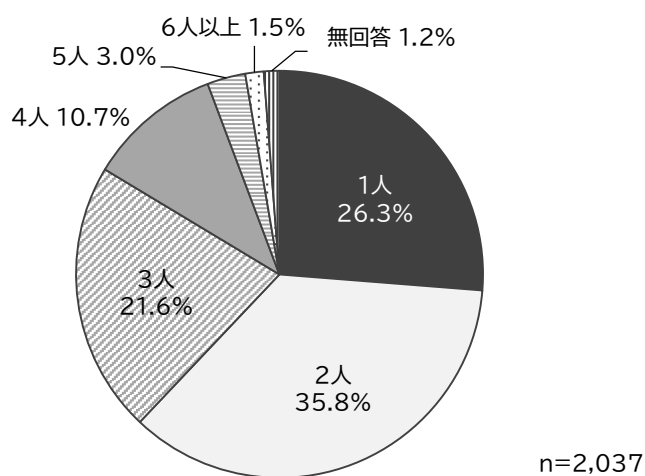
(2) 世帯の状況

①同居人数

問4-1① 現在いっしょに暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。(1つに○)

「2人」が 35.8%と最も高く、次いで「1人」(26.3%)、「3人」(21.6%)、「4人」(10.7%)の順となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“精神障害者保健福祉手帳”では「1人」が 30%前後となっています。



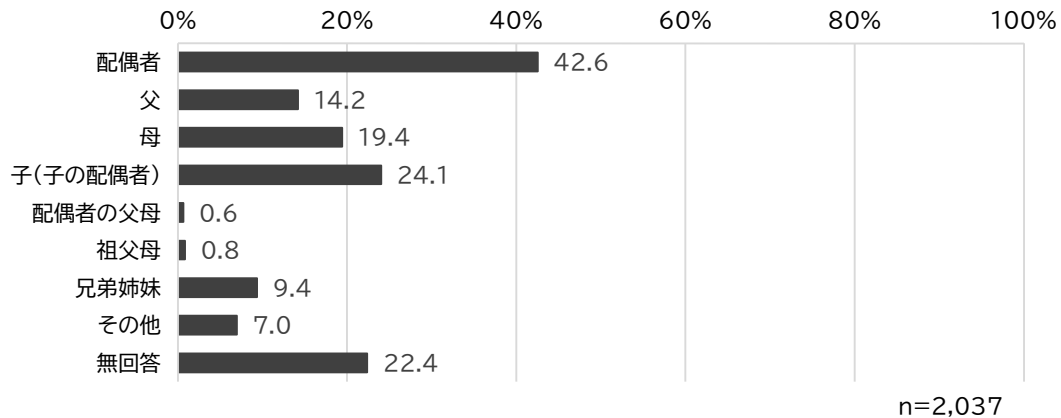
<回答者数>	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
1人	26.3	25.4	29.0	34.9	9.2	25.6	20.7
2人	35.8	42.4	13.0	26.3	36.9	35.9	8.6
3人	21.6	19.4	25.7	24.7	27.7	17.9	31.9
4人	10.7	7.9	20.1	9.2	23.1	12.8	24.1
5人	3.0	2.2	8.9	2.0	1.5	2.6	10.3
6人以上	1.5	1.4	2.6	1.0	0.8	5.1	3.4
無回答	1.2	1.2	0.7	2.0	0.8	0.0	0.9

②同居家族

問4-1② 現在いっしょに暮らしている人は次のどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」が 42.6%と最も高く、次いで「子(子の配偶者)」(24.1%)、「母」(19.4%)、「父」(14.2%)の順となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“発達障害がある”では、「父」や「母」が 45%、「兄弟姉妹」は 30%を超え、他の障害等と大きく世帯構成が異なります。



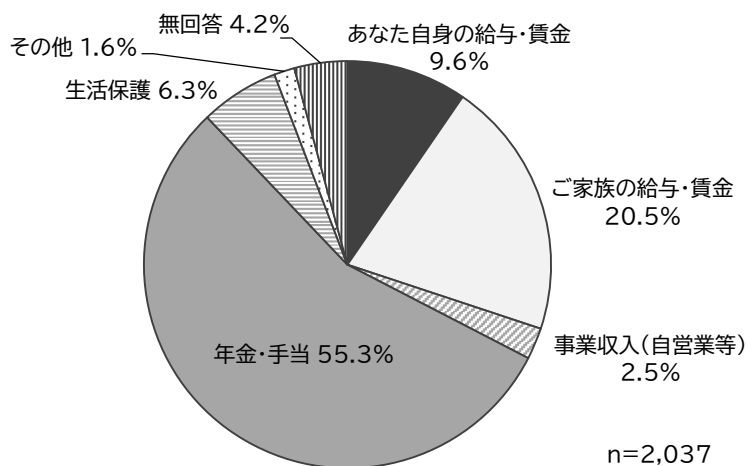
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
配偶者	42.6	52.8	5.2	26.3	53.1	48.7	11.2
父	14.2	6.0	45.4	21.7	16.2	10.3	54.3
母	19.4	8.8	55.0	32.6	23.8	15.4	63.8
子(子の配偶者)	24.1	29.1	4.5	13.8	36.9	28.2	8.6
配偶者の父母	0.6	0.4	1.1	1.0	1.5	0.0	0.9
祖父母	0.8	0.1	4.1	1.0	1.5	0.0	4.3
兄弟姉妹	9.4	4.3	30.5	13.2	9.2	7.7	37.1
その他	7.0	5.5	11.5	10.9	3.8	5.1	5.2
無回答	22.4	23.1	21.2	25.3	10.8	23.1	17.2

③収入

問5 あなたの世帯の主な収入は何ですか。(1つに○)

「年金・手当」が 55.3%と最も高く、次いで「ご家族の給与・賃金」(20.5%)、「あなた自身の給与・賃金」(9.6%)、「生活保護」(6.3%)の順となっています。

障害等の別にもみると、“愛の手帳”、“難病患者福祉手当”、“発達障害がある”では、「ご家族の給与・賃金」が 40%を超えています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	難病患者 福祉手当	高次脳 機能障害 がある	発達障害 がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
あなた自身の給与・賃金	9.6	7.7	10.4	11.8	21.5	7.7	3.4
ご家族の給与・賃金	20.5	13.0	43.1	24.3	41.5	17.9	59.5
事業収入(自営業等)	2.5	2.8	1.9	0.7	4.6	2.6	3.4
年金・手当	55.3	66.1	33.5	38.2	29.2	64.1	26.7
生活保護	6.3	4.9	3.3	16.4	3.1	5.1	1.7
その他	1.6	1.6	0.7	3.0	0.0	0.0	0.9
無回答	4.2	3.7	7.1	5.6	0.0	2.6	4.3

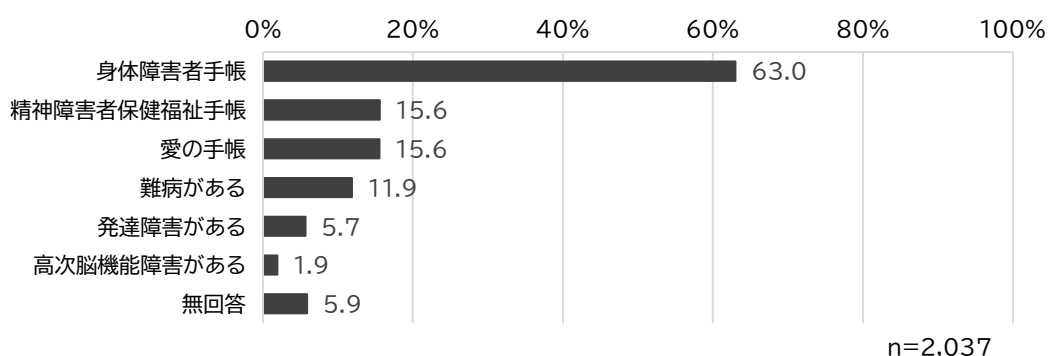
(3) 障害等の状況

問6 あなたは「身体障害者手帳」「愛の手帳」「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちですか。もしくは、「難病」「高次脳機能障害」「発達障害」がありますか。
(あてはまるものすべてに○をし、等級や各部位の等級それぞれについて○をつけてください。)

①手帳所持・手当受給と障害の状況

「身体障害者手帳」が63.0%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」(15.6%)、「愛の手帳」(15.6%)、「難病がある」(11.9%)、「発達障害がある」(5.7%)、「高次脳機能障害がある」(1.9%)の順となっています。

障害等の別にもと、「高次脳機能障害がある」では「身体障害者手帳」が66.7%、「精神障害者保健福祉手帳」は38.5%、「発達障害がある」では、「愛の手帳」が72.4%、「精神障害者保健福祉手帳」は31.0%となっています。



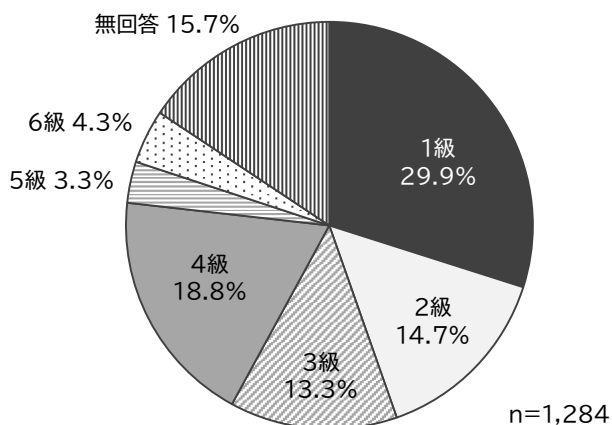
【他の手帳や障害との重複状況】

	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
身体障害者手帳	63.0	92.7	8.6	5.6	5.4	66.7	10.3
愛の手帳	15.6	4.2	95.5	1.3	0.0	5.1	72.4
精神障害者保健福祉手帳	15.6	1.6	4.5	93.1	1.5	38.5	31.0
難病がある	11.9	8.4	2.2	1.3	92.3	7.7	5.2
高次脳機能障害がある	1.9	1.9	0.7	3.6	0.0	100.0	2.6
発達障害がある	5.7	0.6	29.4	9.5	0.0	7.7	100.0
無回答	5.9	7.0	3.0	3.6	6.2	0.0	0.0

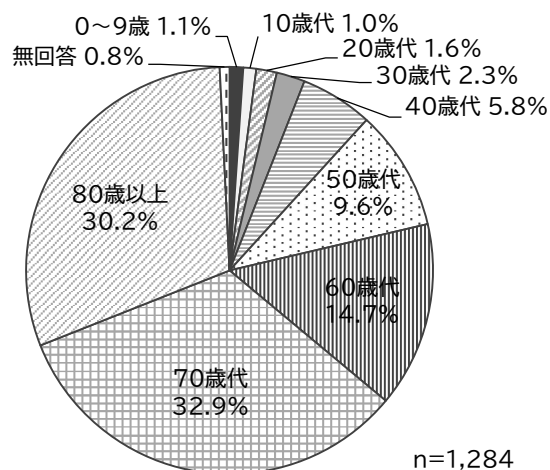
②身体障害者手帳の総合等級

「1級」が 29.9%と最も高く、次いで「4級」(18.8%)、「2級」(14.7%)、「3級」(13.3%)、「6級」(4.3%)、「5級」(3.3%)の順となっています。

【総合等級】



【年齢】



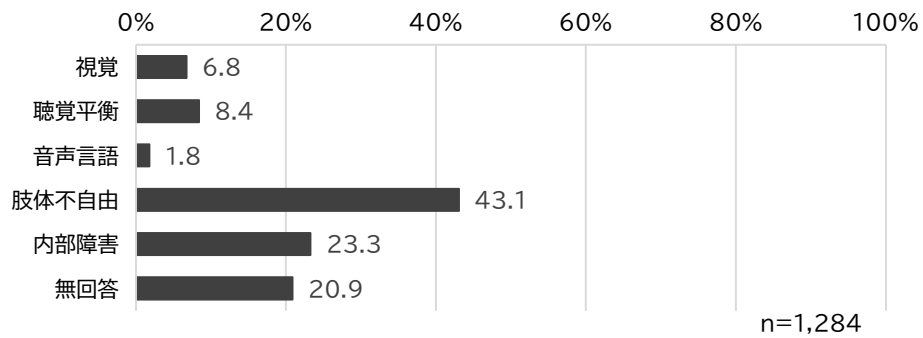
	全体	0~9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
<回答者数>	1,284	14	13	21	29	74	123	189	423	388
1級	29.9	64.3	23.1	38.1	31.0	37.8	34.1	34.4	28.1	25.8
2級	14.7	7.1	23.1	28.6	44.8	16.2	17.9	13.8	15.1	10.1
3級	13.3	14.3	15.4	9.5	6.9	16.2	9.8	10.6	15.4	13.7
4級	18.8	0.0	15.4	19.0	6.9	17.6	8.9	24.3	19.1	20.4
5級	3.3	0.0	15.4	0.0	0.0	4.1	8.1	1.6	4.0	1.8
6級	4.3	7.1	7.7	4.8	0.0	1.4	4.1	2.1	4.3	6.2
無回答	15.7	7.1	0.0	0.0	10.3	6.8	17.1	13.2	13.9	22.2

【他の手帳や障害との重複状況】

<回答者数>	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
		1,284	1,237	23	17	7	26
1級	29.9	30.6	4.3	5.9	57.1	42.3	16.7
2級	14.7	13.9	13.0	76.5	14.3	19.2	25.0
3級	13.3	13.0	39.1	0.0	14.3	15.4	16.7
4級	18.8	19.4	8.7	0.0	0.0	3.8	0.0
5級	3.3	3.2	4.3	0.0	14.3	3.8	8.3
6級	4.3	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	16.7
無回答	15.7	15.6	21.7	17.6	0.0	15.4	16.7

③身体障害の部位

身体障害者手帳を所持している人の障害の部位をみると、「肢体不自由」が 43.1%、「内部障害」は 23.3%、「聴覚平衡」は 8.4%、「視覚」は 6.8%、「音声言語」は 1.8%となっています。



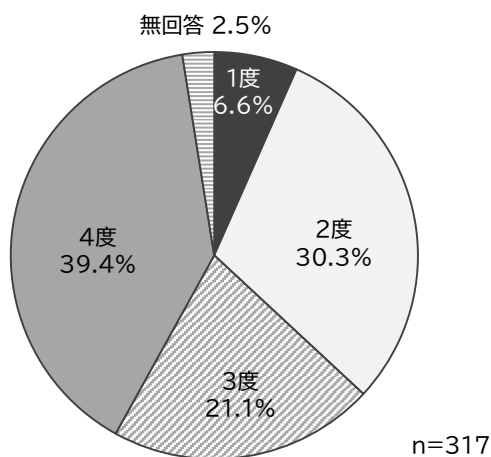
【部位ごとの等級】

	身体障害の部位				
	視覚	聴覚平衡	音声言語	肢体不自由	内部障害
<回答者数>	87	108	23	553	299
1級	28.7	—	—	18.3	68.6
2級	27.6	26.9	—	20.4	2.7
3級	14.9	9.3	87.0	22.4	8.0
4級	10.3	13.0	13.0	30.7	20.7
5級	9.2	0.9	—	7.1	—
6級	9.2	50.0	—	3.4	—

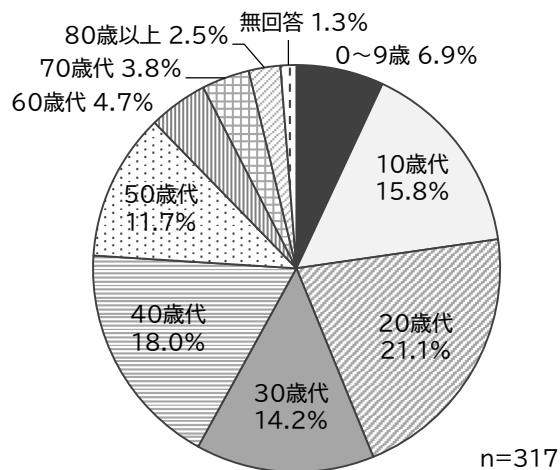
④愛の手帳の程度

「4度」が39.4%と最も高く、次いで「2度」(30.3%)、「3度」(21.1%)、「1度」(6.6%)の順となっています。

【程度】



【年齢】



	全体	0~9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
<回答者数>	317	22	50	67	45	57	37	15	12	8
1度	6.6	9.1	8.0	4.5	4.4	5.3	5.4	6.7	16.7	25.0
2度	30.3	40.9	28.0	31.3	35.6	31.6	24.3	26.7	16.7	12.5
3度	21.1	13.6	10.0	17.9	20.0	24.6	43.2	20.0	16.7	25.0
4度	39.4	31.8	54.0	43.3	37.8	36.8	24.3	46.7	41.7	25.0
無回答	2.5	4.5	0.0	3.0	2.2	1.8	2.7	0.0	8.3	12.5

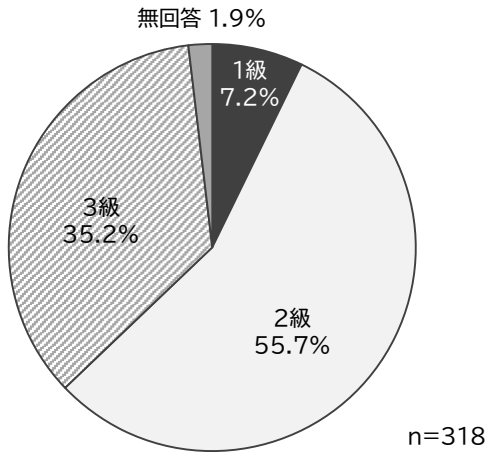
【他の手帳や障害との重複状況】

	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	317	56	257	4	0	2	84
1度	6.6	26.8	2.3	0.0	0.0	0.0	1.2
2度	30.3	39.3	27.6	75.0	0.0	50.0	32.1
3度	21.1	14.3	23.0	0.0	0.0	50.0	16.7
4度	39.4	14.3	45.5	0.0	0.0	0.0	47.6
無回答	2.5	5.4	1.6	25.0	0.0	0.0	2.4

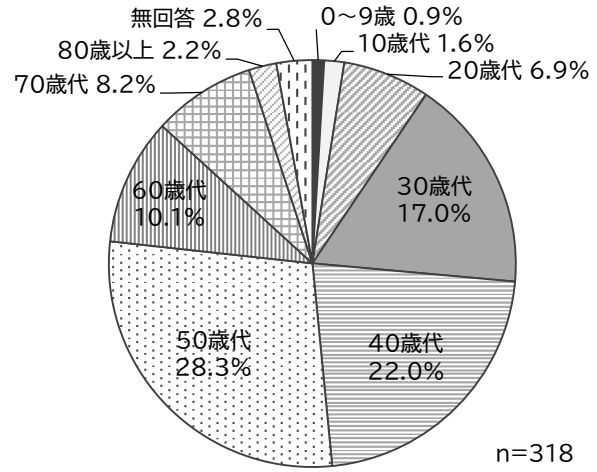
⑤精神障害者保健福祉手帳の等級

「2級」が 55.7%と最も高く、次いで「3級」(35.2%)、「1級」(7.2%)の順となっています。

【程度】



【年齢】



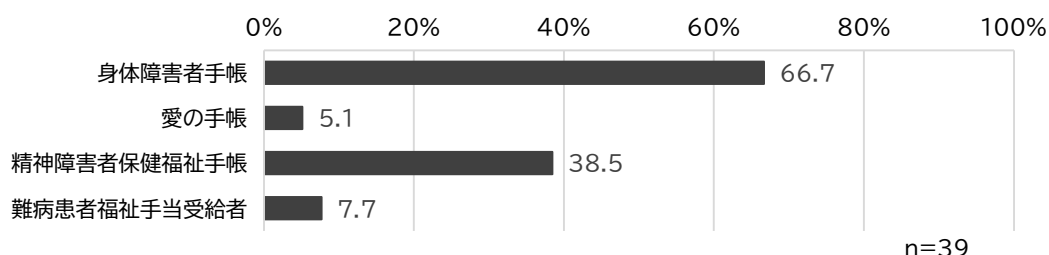
	全体	0~9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
<回答者数>	318	3	5	22	54	70	90	32	26	7
1級	7.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	8.9	9.4	26.9	14.3
2級	55.7	66.7	40.0	45.5	61.1	52.9	56.7	56.3	50.0	71.4
3級	35.2	33.3	60.0	54.5	38.9	37.1	32.2	31.3	23.1	14.3
無回答	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	2.2	3.1	0.0	0.0

【他の手帳や障害との重複状況】

	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	318	21	12	283	2	15	36
1級	7.2	23.8	8.3	6.0	0.0	13.3	0.0
2級	55.7	42.9	50.0	56.5	100.0	60.0	44.4
3級	35.2	28.6	41.7	35.7	0.0	20.0	55.6
無回答	1.9	4.8	0.0	1.8	0.0	6.7	0.0

(4) 高次脳機能障害のようす

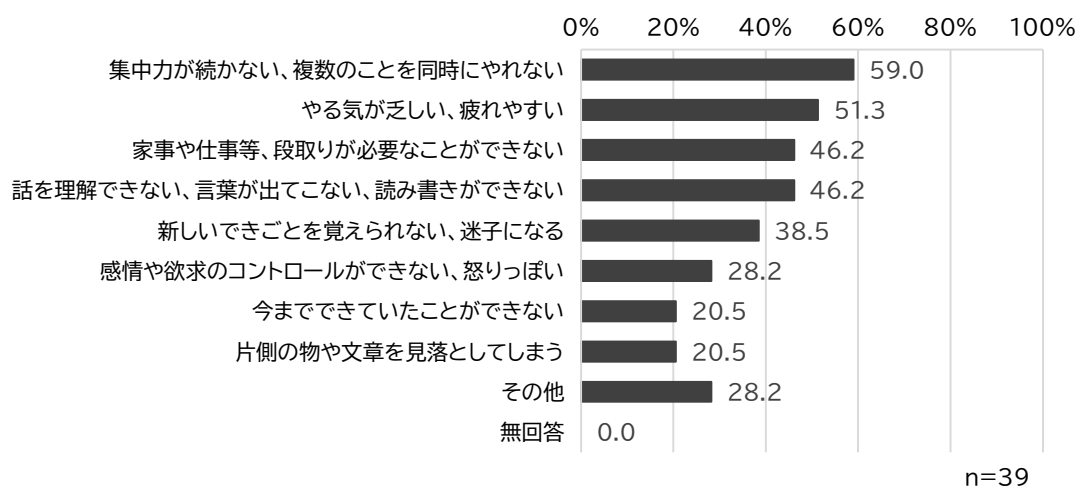
高次脳機能障害があると回答した人の手帳所持や難病患者福祉手当受給の状況は、「身体障害者手帳」が66.7%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」(38.5%)となっています。



① 症状

問6-1① 「高次脳機能障害」による症状として、どのようなものがありますか。
(あてはまるものすべてに○)
※問6で「5. 高次脳機能障害がある」と答えた方

「集中力が続かない、複数のことを同時にやれない」が59.0%と最も高く、次いで「やる気が乏しい、疲れやすい」(51.3%)、「家事や仕事等、段取りが必要なことができない」と「話を理解できない、言葉が出てこない、読み書きができない」が同率で46.2%となっています。

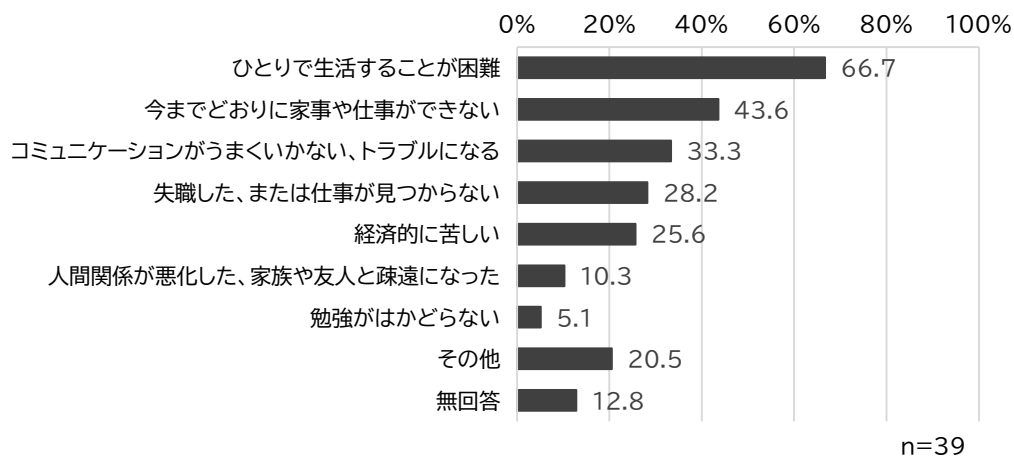


②症状により困っていること

問6-1② 前問のような症状があることで、日常生活の中で困っていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

※問6で「5. 高次脳機能障害がある」と答えた方

「ひとりで生活することが困難」が 66.7%と最も高く、次いで「今までどおりに家事や仕事ができない」(43.6%)、「コミュニケーションがうまくいかない、トラブルになる」(33.3%)、「失職した、または仕事が見つからない」(28.2%)の順となっています。

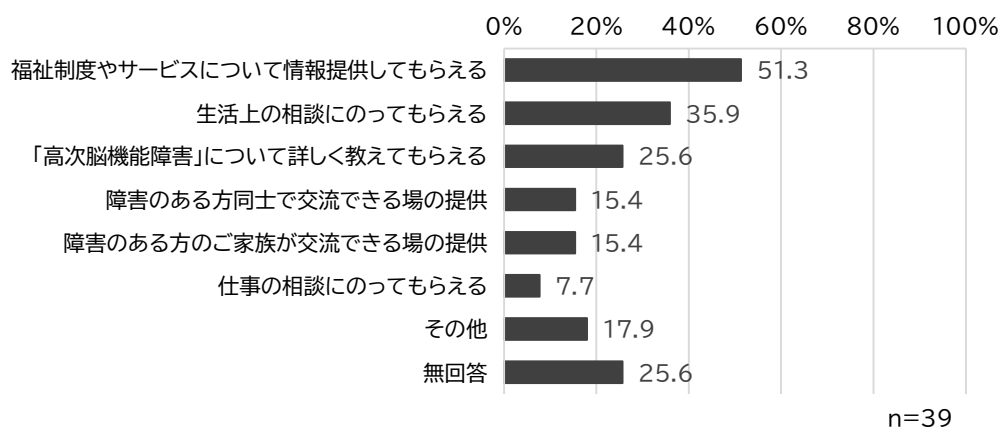


③必要なサポート

問6-1③ 前問のようなことに対し、どのようなサポートがあればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

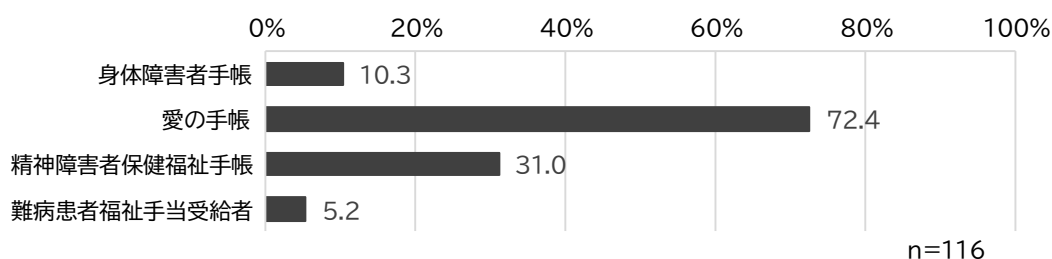
※問6で「5. 高次脳機能障害がある」と答えた方

「福祉制度やサービスについて情報提供してもらえる」が 51.3%と最も高く、次いで「生活上の相談にのってもらえる」(35.9%)、「高次脳機能障害」について詳しく教えてもらえる」(25.6%)、「その他」(17.9%)の順となっています。



(5) 発達障害のようす

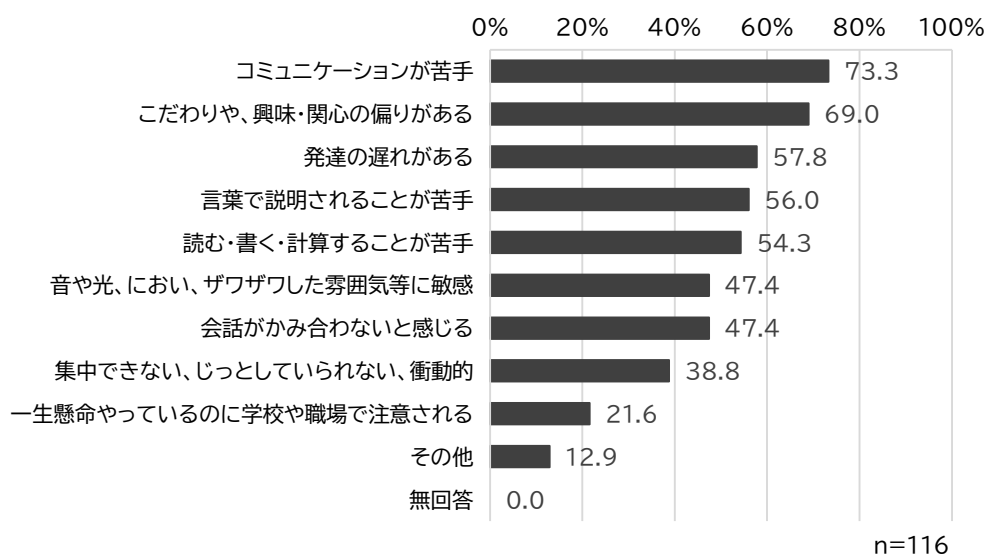
発達障害があると回答した人の手帳所持や難病患者福祉手当受給の状況は、「愛の手帳」が72.4%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」(31.0%)となっています。



①症状

問6-2① 「発達障害」による症状として、どのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)
※問6で「6. 発達障害がある」と答えた方

「コミュニケーションが苦手」が73.3%と最も高く、次いで「こだわりや、興味・関心の偏りがある」(69.0%)、「発達の遅れがある」(57.8%)、「言葉で説明されることが苦手」(56.0%)の順となっています。

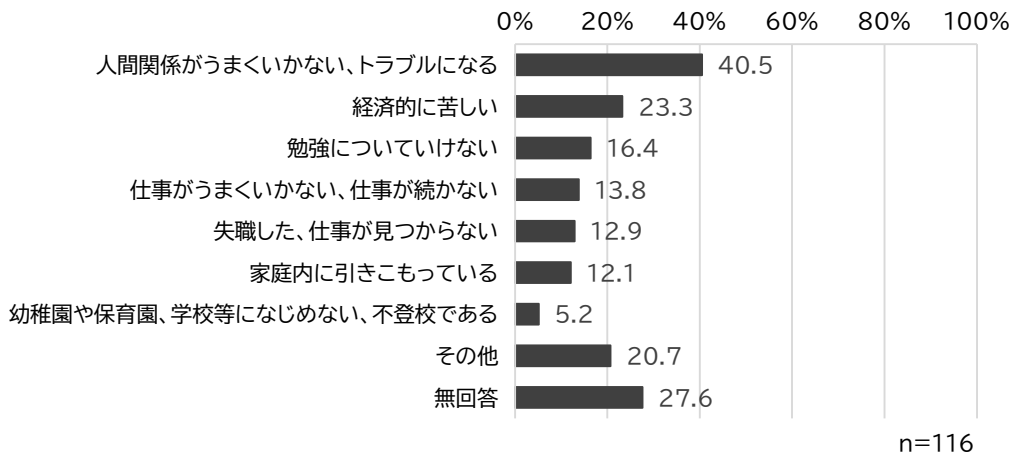


②症状により困っていること

問6-2② 前問のような症状があることで、日常生活の中で困っていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

※問6で「6. 発達障害がある」と答えた方

「人間関係がうまくいかない、トラブルになる」が 40.5%と最も高く、次いで「経済的に苦しい」(23.3%)、「その他」(20.7%)、「勉強についていけない」(16.4%)の順となっています。

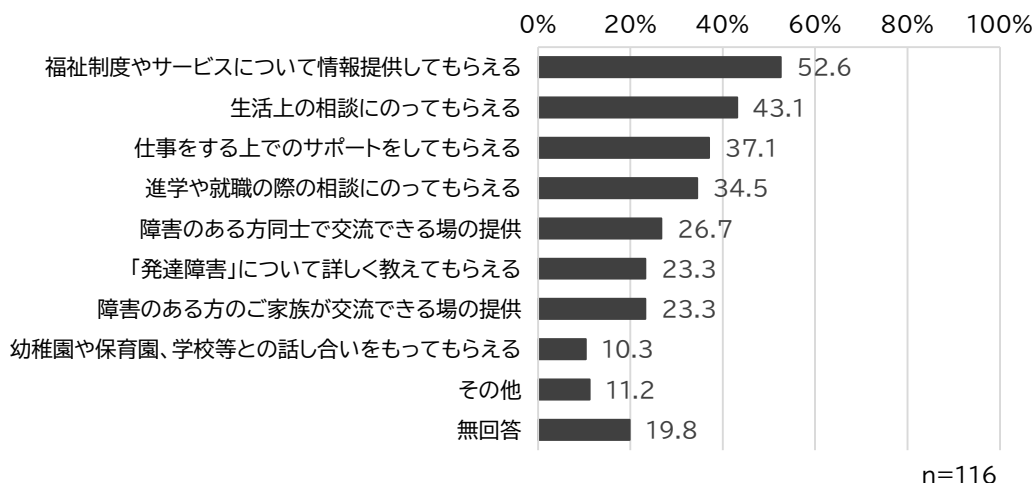


③必要なサポート

問6-2③ 前問のようなことに対し、どのようなサポートがあればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

※問6で「6. 発達障害がある」と答えた方

「福祉制度やサービスについて情報提供してもらえる」が 52.6%と最も高く、次いで「生活上の相談にのってもらえる」(43.1%)、「仕事をする上でのサポートをしてもらえる」(37.1%)、「進学や就職の際の相談にのってもらえる」(34.5%)の順となっています。



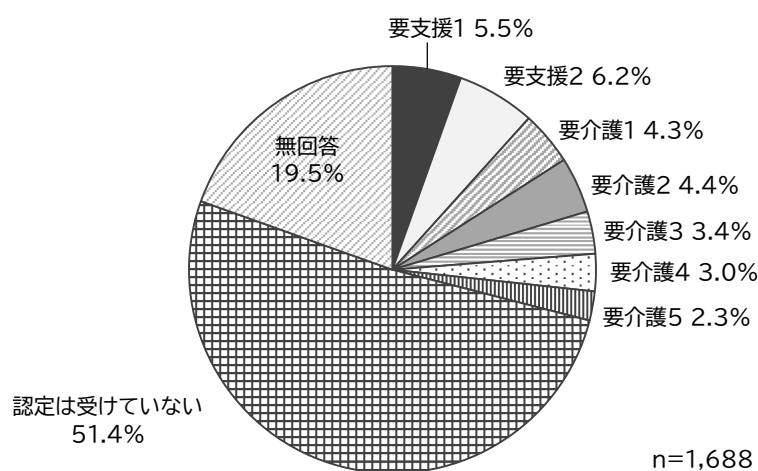
(6) 介護保険制度の要介護認定と介護サービスの利用状況

① 要介護認定の状況

問7 あなたは、令和元年12月1日現在、介護保険の要支援・要介護認定を受けていますか。
(1つだけに○)
※40歳以上の人

「認定は受けていない」が51.4%と最も高く、次いで「要支援2」(6.2%)、「要支援1」(5.5%)、「要介護2」(4.4%)の順となっています。

障害等の別にみると、認定を受けている人は“高次脳機能障害がある”で10%を超えた項目がみられます。

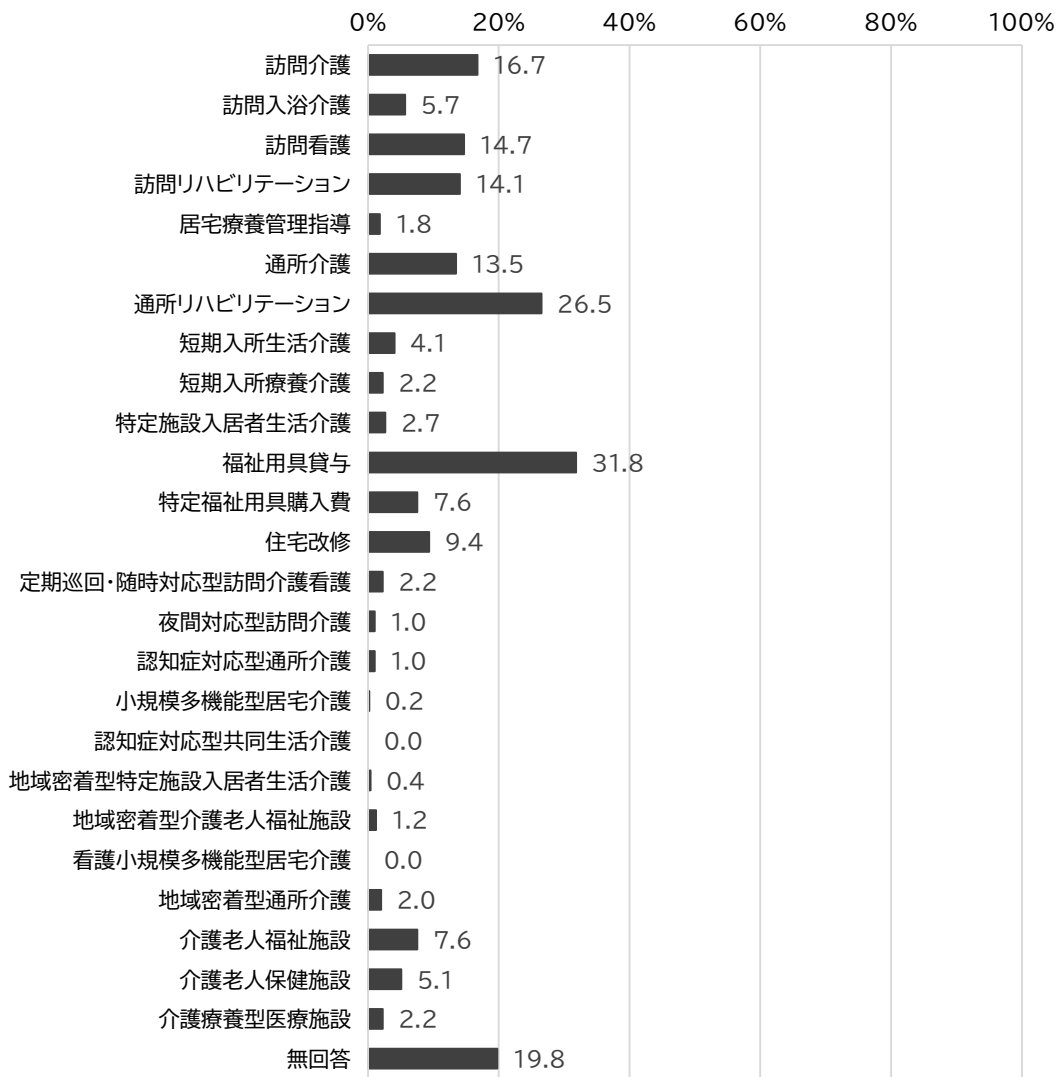


	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	1,688	1,255	109	219	105	37	32
要支援1	5.5	6.6	0.0	2.7	2.9	10.8	0.0
要支援2	6.2	7.8	0.0	1.4	3.8	5.4	0.0
要介護1	4.3	5.2	1.8	1.4	1.9	8.1	0.0
要介護2	4.4	5.3	0.9	1.4	3.8	13.5	0.0
要介護3	3.4	4.2	0.9	1.4	0.0	5.4	0.0
要介護4	3.0	3.7	0.9	0.9	0.0	5.4	0.0
要介護5	2.3	2.7	0.9	1.4	1.0	13.5	0.0
認定は受けていない	51.4	46.5	57.8	66.2	73.3	24.3	71.9
無回答	19.5	17.9	36.7	23.3	13.3	13.5	28.1

②介護サービスの利用状況

問8 現在どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)
 ※問7で「1.」～「7.」とお答えの方
 ※40歳以上の人

「福祉用具貸与」が 31.8%と最も高く、次いで「通所リハビリテーション」(26.5%)、「訪問介護」(16.7%)、「訪問看護」(14.7%)、「訪問リハビリテーション」(14.1%)、「通所介護」(13.5%)の順となっています。



n=490

	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	難病患者 福祉手当	高次脳 機能障害 がある	発達障害 がある
<回答者数>	490	447	6	23	14	23	0
訪問介護	16.7	16.3	16.7	8.7	42.9	4.3	0.0
訪問入浴介護	5.7	5.8	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
訪問看護	14.7	14.1	0.0	21.7	28.6	21.7	0.0
訪問リハビリテーション	14.1	14.8	0.0	0.0	21.4	17.4	0.0
居宅療養管理指導	1.8	1.8	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
通所介護	13.5	14.1	0.0	8.7	7.1	8.7	0.0
通所リハビリテーション	26.5	27.1	16.7	17.4	28.6	39.1	0.0
短期入所生活介護	4.1	4.5	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
短期入所療養介護	2.2	2.5	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
特定施設入居者生活介護	2.7	2.5	16.7	4.3	0.0	4.3	0.0
福祉用具貸与	31.8	33.3	0.0	4.3	42.9	26.1	0.0
特定福祉用具購入費	7.6	7.8	0.0	8.7	0.0	13.0	0.0
住宅改修	9.4	9.6	0.0	0.0	21.4	8.7	0.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2.2	2.2	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0
夜間対応型訪問介護	1.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症対応型通所介護	1.0	0.9	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域密着型特定施設入居者生活介護	0.4	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
地域密着型介護老人福祉施設	1.2	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域密着型通所介護	2.0	1.6	0.0	8.7	7.1	0.0	0.0
介護老人福祉施設	7.6	8.1	0.0	4.3	0.0	17.4	0.0
介護老人保健施設	5.1	5.1	0.0	8.7	0.0	4.3	0.0
介護療養型医療施設	2.2	2.2	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	19.8	18.8	50.0	30.4	21.4	21.7	0.0

2-2 介護・支援の状況について

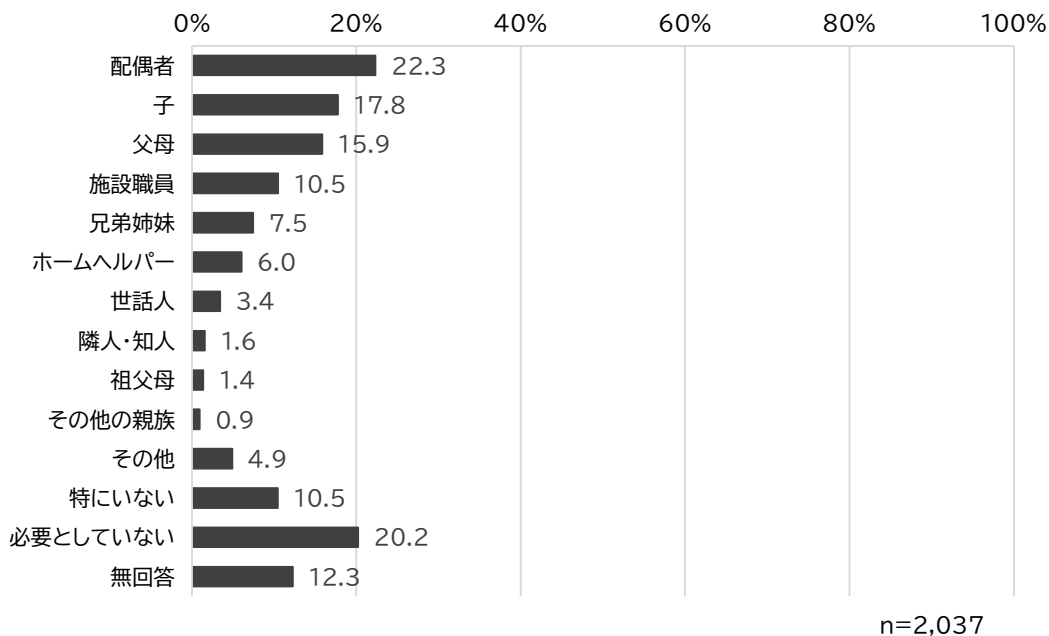
(1) 介護者・支援者の状況

①介護・支援をしている人

問9 あなたの介護者・支援者はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」が 22.3%と最も高く、次いで「必要としていない」(20.2%)、「子」(17.8%)、「父母」(15.9%)の順となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“発達障害がある”では、「父母」が 50%、「施設職員」も 20%を超えています。



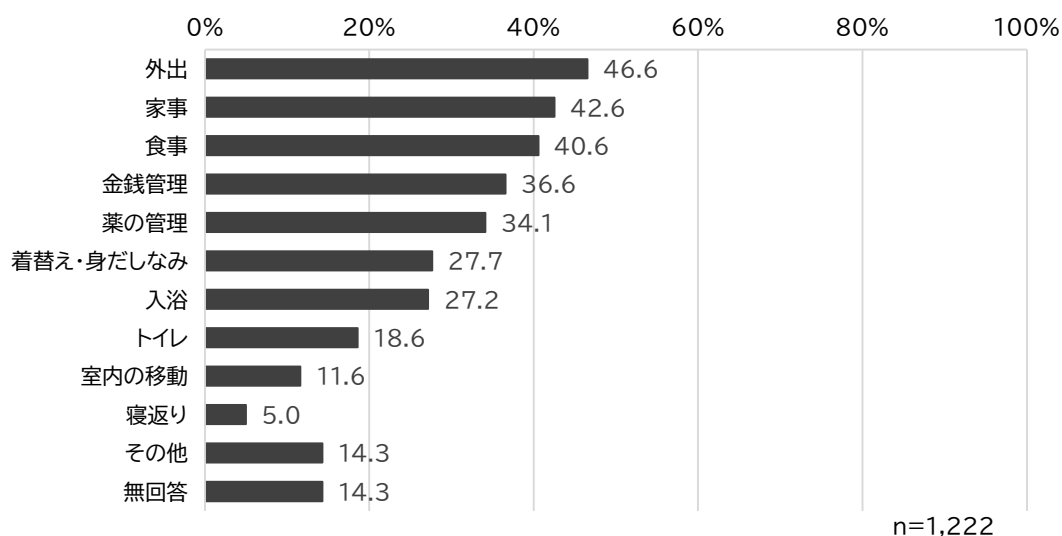
<回答者数>	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
配偶者	22.3	28.0	2.2	17.1	18.5	48.7	2.6
父母	15.9	6.3	54.3	27.0	8.5	15.4	68.1
子	17.8	24.3	1.1	5.9	13.1	28.2	1.7
祖父母	1.4	0.3	7.4	1.0	0.8	0.0	13.8
兄弟姉妹	7.5	5.0	17.8	11.2	2.3	5.1	19.8
その他の親族	0.9	1.0	1.5	0.3	0.0	0.0	1.7
隣人・知人	1.6	1.6	1.9	1.0	1.5	0.0	0.9
ホームヘルパー	6.0	6.4	7.8	4.3	2.3	5.1	6.9
世話人	3.4	0.8	19.3	2.3	0.0	0.0	11.2
施設職員	10.5	7.3	22.3	17.4	2.3	10.3	24.1
その他	4.9	3.6	8.2	9.5	0.8	7.7	9.5
特にいない	10.5	10.6	3.0	16.1	11.5	5.1	5.2
必要としていない	20.2	21.4	6.7	14.5	49.2	5.1	7.8
無回答	12.3	13.3	8.9	11.2	10.8	7.7	4.3

②受けている介護・支援の内容

問10 どのようなことで介護・支援を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)
 ※問9で「1.」～「11.」とお答えの方

「外出」が 46.6%と最も高く、次いで「家事」(42.6%)、「食事」(40.6%)、「金銭管理」(36.6%)の順となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“高次脳機能障害がある”、“発達障害がある”では、「外出」が60%、「食事」、「家事」、「金銭管理」、「薬の管理」は50%、「着替え・身だしなみ」が40%を超えています。



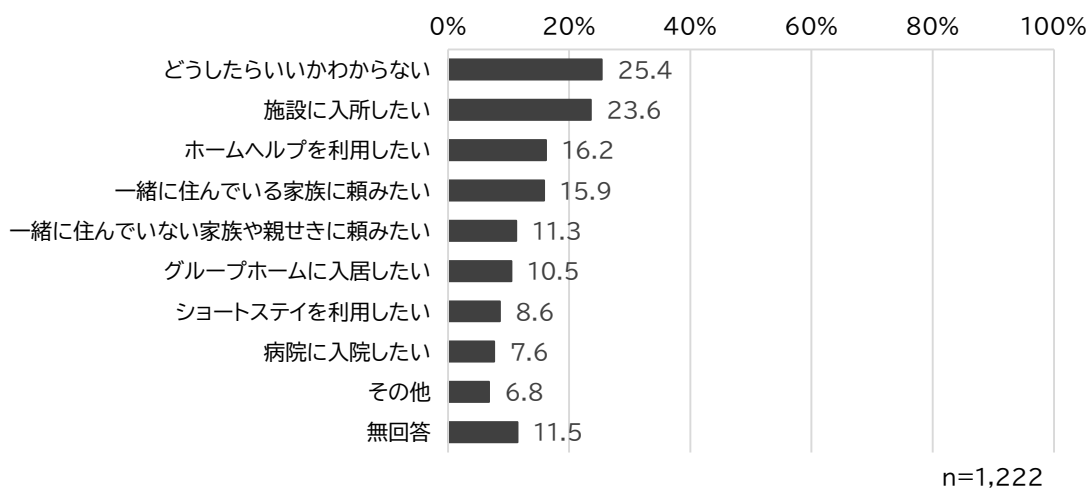
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	1,222	778	221	183	40	32	99
食事	40.6	37.0	59.3	38.8	15.0	68.8	52.5
家事	42.6	40.2	52.9	40.4	40.0	59.4	51.5
トイレ	18.6	20.4	26.2	4.4	5.0	25.0	22.2
着替え・身だしなみ	27.7	27.5	46.2	10.4	7.5	40.6	42.4
入浴	27.2	30.1	34.4	8.7	15.0	37.5	33.3
寝返り	5.0	7.5	0.5	0.5	2.5	9.4	1.0
室内の移動	11.6	16.6	4.1	1.1	5.0	12.5	10.1
外出	46.6	47.8	60.2	27.9	32.5	68.8	62.6
金銭管理	36.6	29.9	70.1	31.1	5.0	62.5	60.6
薬の管理	34.1	30.1	55.7	29.5	15.0	71.9	51.5
その他	14.3	14.8	7.7	20.2	15.0	6.3	12.1
無回答	14.3	15.8	10.4	11.5	20.0	0.0	7.1

③受けている介護・支援が受けられなくなった場合

問 11 介護者・支援者があなたを介護・支援できなくなった場合はどうしたいですか。
 (あてはまるものすべてに○)
 ※問9で「1.」～「11.」とお答えの方

「どうしたらいいかわからない」が25.4%と最も高く、次いで「施設に入所したい」(23.6%)、「ホームヘルプを利用したい」(16.2%)、「一緒に住んでいる家族に頼みたい」(15.9%)の順となっています。

障害等の別にみると、それぞれ最も高いものは、“愛の手帳”が「グループホームに入居したい」(29.9%)、“精神障害者保健福祉手帳”は「どうしたらいいかわからない」(36.1%)、“高次脳機能障害がある”は「施設に入所したい」(46.9%)、“発達障害がある”は「グループホームに入居したい」(31.3%)となっています。



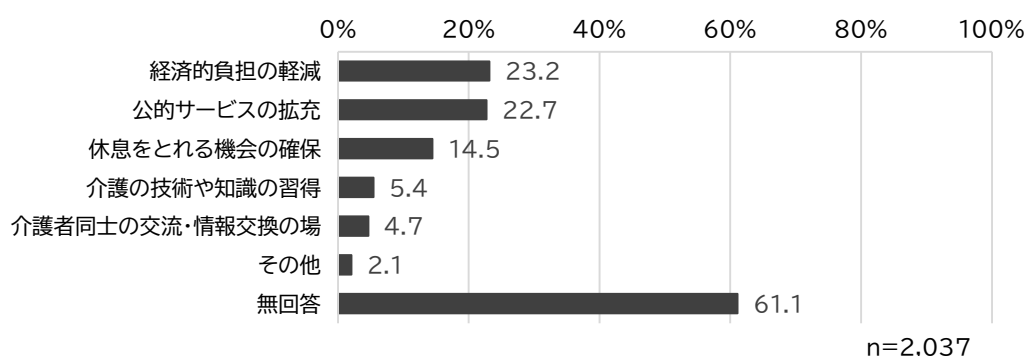
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	1,222	778	221	183	40	32	99
一緒に住んでいる家族に頼みたい	15.9	16.3	16.7	14.2	10.0	9.4	21.2
一緒に住んでいない家族や親せきに頼みたい	11.3	11.7	7.2	12.6	20.0	9.4	8.1
ホームヘルプを利用したい	16.2	17.1	13.6	16.4	12.5	15.6	15.2
ショートステイを利用したい	8.6	9.5	10.9	3.3	2.5	6.3	15.2
施設に入所したい	23.6	27.2	20.8	14.8	7.5	46.9	22.2
グループホームに入居したい	10.5	5.0	29.9	12.6	0.0	3.1	31.3
病院に入院したい	7.6	9.3	1.4	8.2	7.5	18.8	2.0
どうしたらいいかわからない	25.4	22.2	25.8	36.1	35.0	25.0	32.3
その他	6.8	5.0	10.4	8.7	12.5	3.1	8.1
無回答	11.5	12.0	11.3	8.2	17.5	3.1	3.0

(2) 介護・支援している家族に必要な支援

問12 障害者を介護している家族への支援として必要なことはどんなことですか。
(必要と思われるもの2つに○)
※障害者を介護・支援している家族の方

無回答を除くと、「経済的負担の軽減」が23.2%と最も高く、次いで「公的サービスの拡充」(22.7%)、「休息をとれる機会の確保」(14.5%)、「介護の技術や知識の習得」(5.4%)の順となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“高次脳機能障害がある”、“発達障害がある”では、「休息をとれる機会の確保」が20%、「公的サービスの拡充」は40%、「経済的負担の軽減」は30%を超えています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	難病患者 福祉手当	高次脳 機能障害 がある	発達障害 がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
休息をとれる機会の確保	14.5	13.9	23.0	13.2	6.2	23.1	26.7
公的サービスの拡充	22.7	20.7	40.5	20.1	13.1	41.0	47.4
介護の技術や知識の習得	5.4	6.7	3.3	3.3	2.3	12.8	4.3
介護者同士の交流・情報交換の場	4.7	3.2	9.7	8.2	0.8	15.4	12.9
経済的負担の軽減	23.2	21.5	32.7	27.3	10.8	46.2	50.9
その他	2.1	2.0	1.9	3.0	0.8	5.1	4.3
無回答	61.1	62.8	44.2	59.9	81.5	28.2	29.3

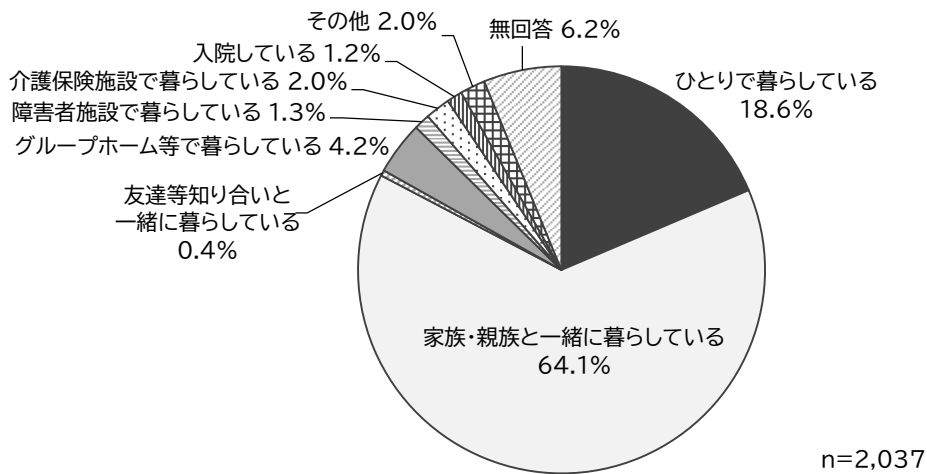
2-3 住まいや生活について

(1) 現在の暮らし方

問13 あなたは、現在、どのように暮らしていますか。(1つだけに○)

「家族・親族と一緒に暮らしている」が64.1%と最も高く、次いで「ひとりで暮らしている」(18.6%)、「グループホーム等で暮らしている」(4.2%)、「介護保険施設で暮らしている」(2.0%)、「その他」(2.0%)の順となっています。

障害等の別にもみると、“精神障害者保健福祉手帳”では、「ひとりで暮らしている」が28.0%、“愛の手帳”は「グループホーム等で暮らしている」が24.9%となっています。



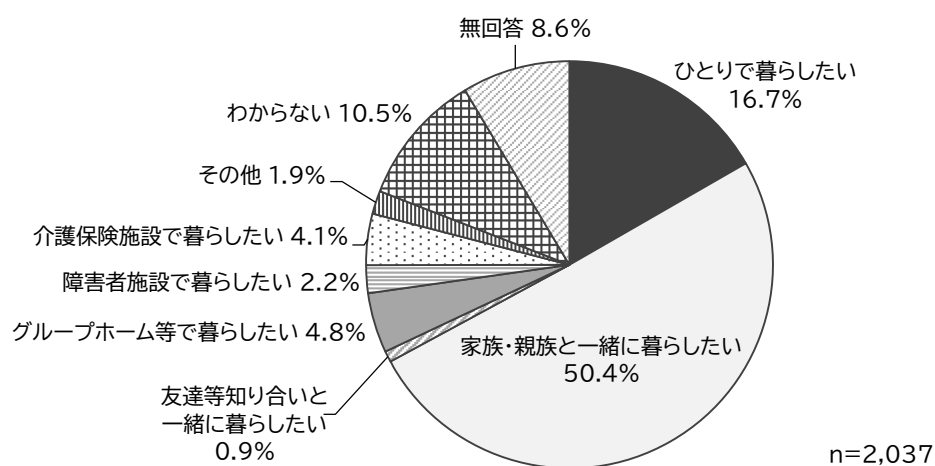
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
ひとりで暮らしている	18.6	20.2	4.1	28.0	10.8	15.4	6.0
家族・親族と一緒に暮らしている	64.1	64.0	59.9	58.9	85.4	59.0	77.6
友達等知り合いと一緒に暮らしている	0.4	0.5	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0
グループホーム等で暮らしている	4.2	1.0	24.9	2.0	0.0	0.0	11.2
障害者施設で暮らしている	1.3	0.9	4.5	0.7	0.0	0.0	2.6
介護保険施設で暮らしている	2.0	2.8	0.4	0.7	0.0	2.6	0.0
入院している	1.2	1.3	0.0	2.3	0.8	10.3	0.0
その他	2.0	2.5	0.7	2.0	0.0	10.3	0.0
無回答	6.2	6.9	5.2	5.3	3.1	2.6	2.6

(2) 今後の暮らし方の意向

問14 あなたは、今後、どのようにして暮らしたいですか。(1つだけに○)

「家族・親族と一緒に暮らしたい」が50.4%と最も高く、次いで「ひとりで暮らしたい」(16.7%)、「わからない」(10.5%)、「グループホーム等で暮らしたい」(4.8%)の順となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“発達障害がある”では、「グループホーム等で暮らしたい」が15%を超えています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
ひとりで暮らしたい	16.7	15.5	11.5	29.3	10.0	17.9	10.3
家族・親族と一緒に暮らしたい	50.4	54.1	30.1	40.5	77.7	51.3	37.9
友達等知り合いと一緒に暮らしたい	0.9	0.7	0.7	2.3	0.0	0.0	0.0
グループホーム等で暮らしたい	4.8	1.6	25.3	2.6	0.0	0.0	17.2
障害者施設で暮らしたい	2.2	1.9	7.1	0.3	0.0	7.7	2.6
介護保険施設で暮らしたい	4.1	5.5	0.7	2.3	0.8	2.6	1.7
その他	1.9	1.9	1.5	2.3	0.8	0.0	0.9
わからない	10.5	10.1	13.4	11.2	6.9	7.7	20.7
無回答	8.6	8.7	9.7	9.2	3.8	12.8	8.6

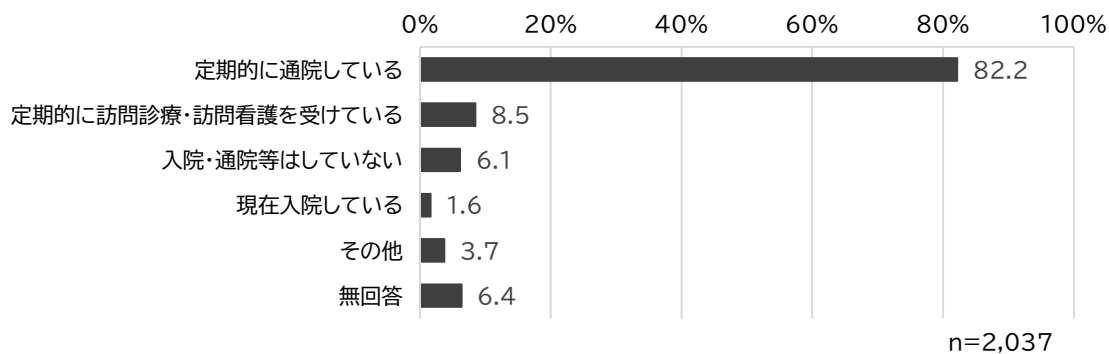
2-4 健康や医療について

(1) 通院の状況

問 15 あなたは医療機関に通院等していますか。(あてはまるものすべてに○)

「定期的に通院している」が82.2%と最も高く、次いで「定期的に訪問診療・訪問看護を受けている」(8.5%)、「入院・通院等はしていない」(6.1%)、「その他」(3.7%)の順となっています。

障害等の別にみると、「定期的に訪問診療・訪問看護を受けている」が“精神障害者保健福祉手帳”では14.1%、“高次脳機能障害がある”は20.5%となっています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
定期的に通院している	82.2	81.4	69.9	91.1	94.6	76.9	84.5
定期的に訪問診療・訪問看護を受けている	8.5	8.4	4.5	14.1	4.6	20.5	6.9
現在入院している	1.6	1.9	0.0	2.3	0.8	7.7	0.9
入院・通院等はしていない	6.1	5.8	15.6	2.0	0.0	5.1	6.9
その他	3.7	4.3	4.1	1.6	1.5	7.7	4.3
無回答	6.4	6.7	8.9	4.3	3.1	7.7	5.2

(2) かかりつけ医の状況

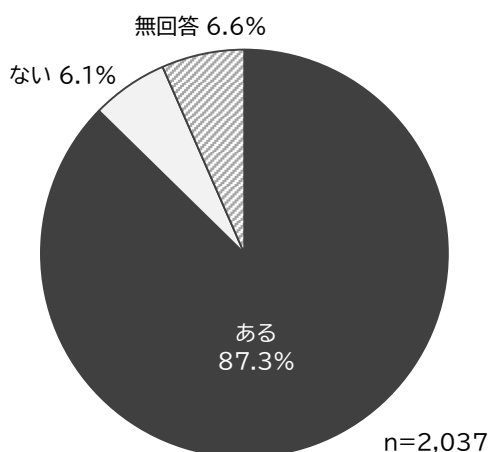
問16 あなたは健康相談や治療をしてくれる身近な医師等(かかりつけ医)がいますか。
 (1つだけに○)
 ※かかりつけの医療機関、歯科医療機関の所在地は、「ある」と回答した人

①医療機関

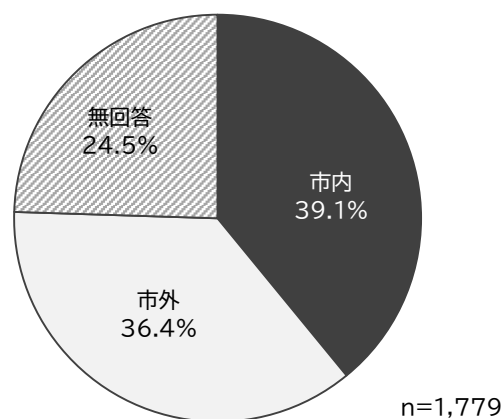
かかりつけの医療機関は、「ある」が 87.3%、「ない」は 6.1%となっています。「ある」場合、その所在地は「市内」が 39.1%、「市外」は 36.4%となっています。

障害等の別にみると、“精神障害者保健福祉手帳”、“難病患者福祉手当”、“発達障害がある”では、「市外」が 50%を超えています。

【かかりつけの医療機関の有無】



【かかりつけの医療機関の所在地】



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
ある	87.3	87.2	88.1	86.5	89.2	87.2	91.4
ない	6.1	5.6	6.3	7.6	6.9	5.1	5.2
無回答	6.6	7.2	5.6	5.9	3.8	7.7	3.4

	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	1,779	1,163	237	263	116	34	106
市内	39.1	42.0	40.9	29.7	26.7	35.3	27.4
市外	36.4	29.7	39.2	54.4	57.8	32.4	58.5
無回答	24.5	28.3	19.8	16.0	15.5	32.4	14.2

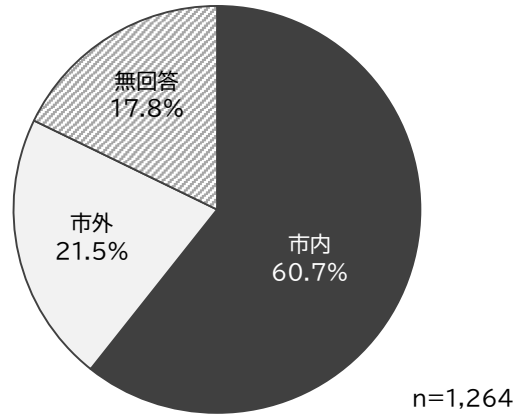
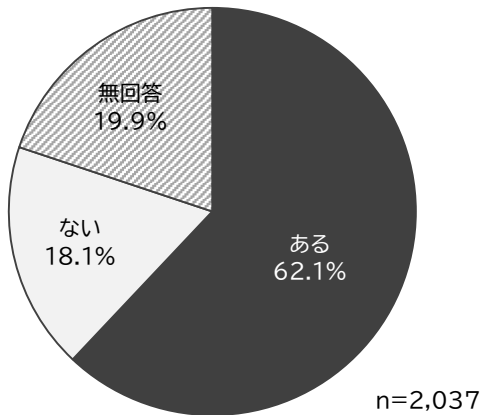
② 歯科医療機関

かかりつけの歯科医療機関は、「ある」が 62.1%、「ない」は 18.1%となっています。「ある」場合、その所在地は「市内」が 60.7%、「市外」は 21.5%となっています。

障害等の別にみると、「愛の手帳」、「発達障害がある」では、「市外」が 30%を超えています。

【かかりつけの歯科医療機関の有無】

【かかりつけの歯科医療機関の所在地】



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
ある	62.1	61.9	66.9	57.2	64.6	61.5	65.5
ない	18.1	16.5	16.7	24.7	21.5	15.4	24.1
無回答	19.9	21.6	16.4	18.1	13.8	23.1	10.3

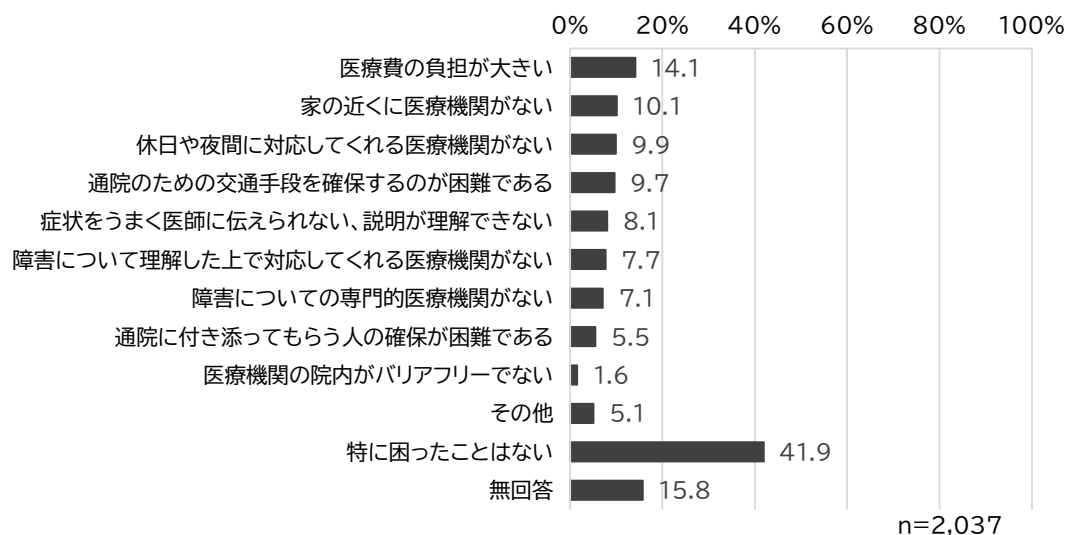
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	1,264	826	180	174	84	24	76
市内	60.7	58.6	52.2	71.3	77.4	66.7	48.7
市外	21.5	20.1	33.9	17.8	16.7	12.5	38.2
無回答	17.8	21.3	13.9	10.9	6.0	20.8	13.2

(3) 医療機関で困っていること

問17 あなたは医療機関について困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「特に困ったことはない」が41.9%と最も高く、次いで「医療費の負担が大きい」(14.1%)、「家の近くに医療機関がない」(10.1%)、「休日や夜間に対応してくれる医療機関がない」(9.9%)の順となっています。

障害等の別にみると、“難病患者福祉手当”では「医療費の負担が大きい」が25%、“高次脳機能障害がある”では「障害について理解した上で対応してくれる医療機関がない」が25%を超えています。「症状をうまく医師に伝えられない、説明が理解できない」は、“愛の手帳”、“高次脳機能障害がある”と“発達障害がある”で20%を超えています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
家の近くに医療機関がない	10.1	7.9	7.8	16.4	23.1	12.8	12.1
障害についての専門的医療機関がない	7.1	5.8	10.0	10.5	6.9	15.4	15.5
障害について理解した上で対応してくれる医療機関がない	7.7	6.3	13.8	9.9	4.6	25.6	19.0
休日や夜間に対応してくれる医療機関がない	9.9	8.3	13.4	15.5	6.2	5.1	18.1
通院のための交通手段を確保するのが困難である	9.7	10.1	5.6	9.9	13.1	17.9	8.6
通院に付き添ってもらう人の確保が困難である	5.5	5.5	5.6	6.3	3.8	10.3	6.0
医療機関の院内がバリアフリーでない	1.6	2.1	0.4	0.7	0.8	0.0	0.0
症状をうまく医師に伝えられない、説明が理解できない	8.1	4.6	20.1	14.1	3.8	23.1	28.4
医療費の負担が大きい	14.1	12.4	11.9	17.4	29.2	23.1	20.7
その他	5.1	4.1	3.7	8.9	9.2	7.7	9.5
特に困ったことはない	41.9	43.6	42.4	36.8	36.2	23.1	24.1
無回答	15.8	18.3	9.3	12.8	10.0	15.4	6.0

2-5 就労・就学について

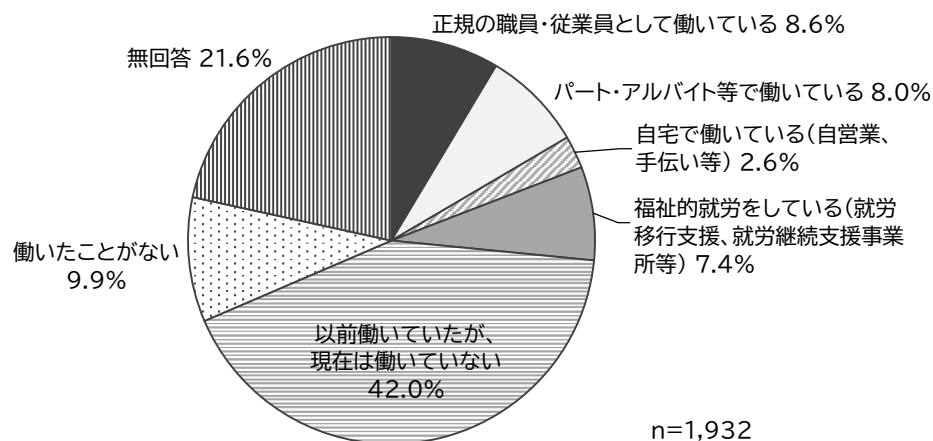
(1) 就労の状況

①現在の就労状況

問 18 あなたは現在、働いていますか。(1つだけに○)
※18歳以上の人

「以前働いていたが、現在は働いていない」が 42.0%と最も高く、次いで「働いたことがない」(9.9%)、「正規の職員・従業員として働いている」(8.6%)、「パート・アルバイト等で働いている」(8.0%)の順となっています。

障害等の別にもみると、“愛の手帳”、“発達障害がある”では、「福祉的就労をしている(就労移行支援、就労継続支援事業所等)」が 25%、「働いたことがない」は 20%を超えています。“難病患者福祉手当”では、「正規の職員・従業員として働いている」が 21.8%、「パート・アルバイト等で働いている」が 20.2%と他の障害等に比べて就業率が高くなっています。



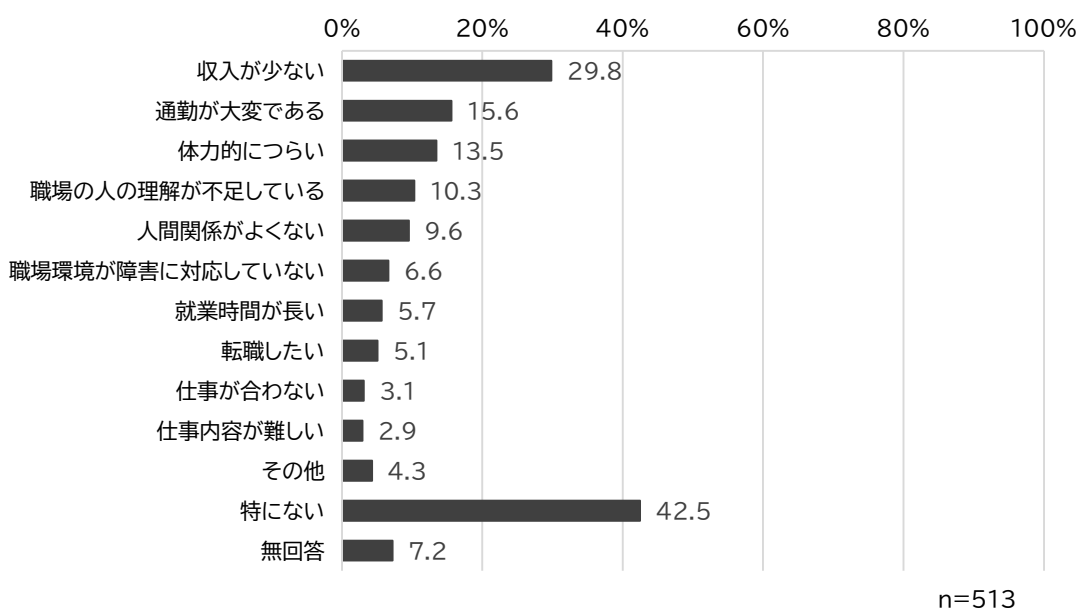
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	1,932	1,304	213	291	124	39	81
正規の職員・従業員として働いている	8.6	6.7	14.6	7.2	21.8	7.7	8.6
パート・アルバイト等で働いている	8.0	5.6	12.2	10.3	20.2	0.0	11.1
自宅で働いている(自営業、手伝い等)	2.6	2.8	0.9	2.7	2.4	2.6	3.7
福祉的就労をしている(就労移行支援、就労継続支援事業所等)	7.4	2.6	34.3	12.4	0.0	10.3	25.9
以前働いていたが、現在は働いていない	42.0	47.5	6.6	45.4	37.1	53.8	16.0
働いたことがない	9.9	8.2	22.1	11.7	2.4	7.7	24.7
無回答	21.6	26.6	9.4	10.3	16.1	17.9	9.9

②仕事をする上で困っていること

問 19 仕事をする上で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)
 ※18歳以上の方(問18で「1.」～「4.」とお答えの方)

「特にない」が 42.5%と最も高く、次いで「収入が少ない」(29.8%)、「通勤が大変である」(15.6%)、「体力的につらい」(13.5%)の順となっています。

障害等の別にもと、「収入が少ない」は“精神障害者保健福祉手帳”と“発達障害がある”で 40%を超えています。



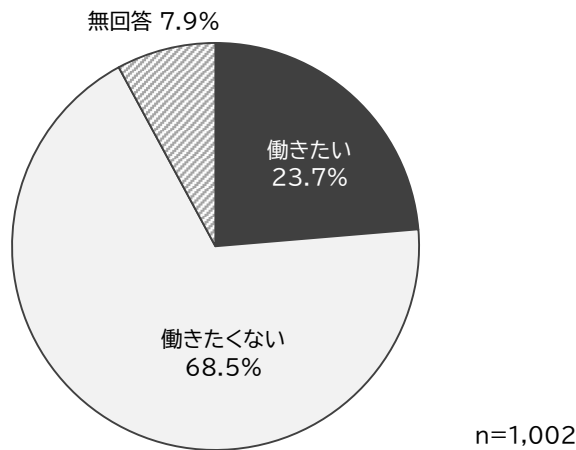
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	513	231	132	95	55	8	40
職場環境が障害に対応していない	6.6	5.2	3.0	13.7	9.1	0.0	10.0
通勤が大変である	15.6	16.0	10.6	21.1	16.4	37.5	12.5
就業時間が長い	5.7	4.3	3.8	10.5	7.3	25.0	5.0
仕事内容が難しい	2.9	0.0	3.8	10.5	0.0	0.0	0.0
職場の人の理解が不足している	10.3	6.1	9.8	23.2	7.3	12.5	12.5
人間関係がよくない	9.6	4.3	13.6	18.9	5.5	12.5	7.5
体力的につらい	13.5	11.7	8.3	20.0	21.8	12.5	7.5
収入が少ない	29.8	28.1	25.8	41.1	27.3	50.0	45.0
仕事が合わない	3.1	2.2	3.0	5.3	3.6	12.5	0.0
転職したい	5.1	5.6	0.8	11.6	1.8	12.5	2.5
その他	4.3	4.8	0.0	10.5	1.8	0.0	7.5
特にない	42.5	46.3	51.5	23.2	38.2	25.0	42.5
無回答	7.2	6.9	8.3	7.4	5.5	0.0	2.5

(2) 今後の就労意向

問 20 あなたは今後働きたいと思っていますか。(1つだけに○)
 ※18歳以上の方(問18で「5.」～「6.」とお答えの方)

「働きたくない」が68.5%、「働きたい」は23.7%となっています。

障害等の別にみると、“精神障害者保健福祉手帳”、“発達障害がある”では、「働きたい」が45%を超えています。



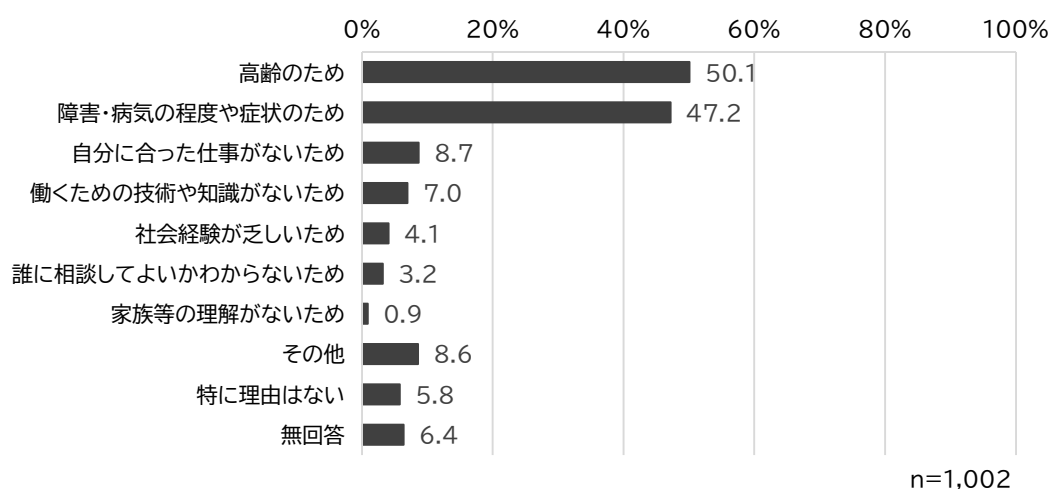
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	1,002	726	61	166	49	24	33
働きたい	23.7	16.5	23.0	54.2	26.5	16.7	45.5
働きたくない	68.5	75.6	67.2	38.0	67.3	75.0	45.5
無回答	7.9	7.9	9.8	7.8	6.1	8.3	9.1

(3) 就労していない理由

問 21 あなたが働いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)
 ※18歳以上の方(問18で「5.」~「6.」とお答えた方)

「高齢のため」が50.1%と最も高く、次いで「障害・病気の程度や症状のため」(47.2%)、「自分に合った仕事がないため」(8.7%)、「その他」(8.6%)の順となっています。

障害等の別にみると、“精神障害者保健福祉手帳”、“高次脳機能障害がある”、“発達障害がある”では、「障害・病気の程度や症状のため」が70%を超えています。“精神障害者保健福祉手帳”では、「自分に合った仕事がないため」や「働くための技術や知識がないため」が20%、“発達障害がある”では「働くための技術や知識がないため」や「社会経験が乏しいため」が35%を超えています。



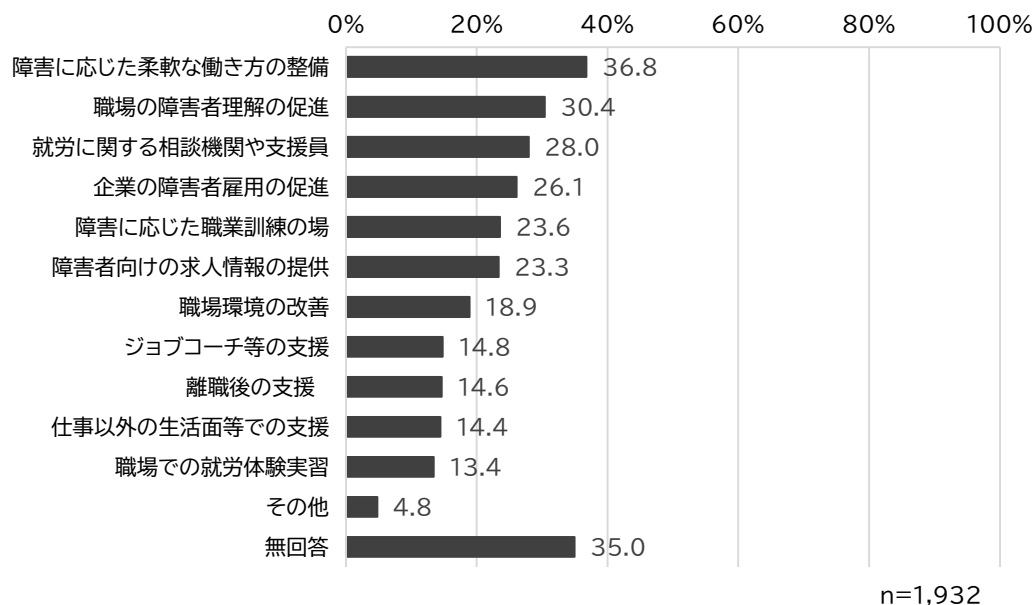
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	1,002	726	61	166	49	24	33
障害・病気の程度や症状のため	47.2	39.8	60.7	72.9	53.1	75.0	75.8
高齢のため	50.1	62.4	9.8	15.7	34.7	37.5	6.1
自分に合った仕事がないため	8.7	5.1	11.5	24.1	6.1	4.2	21.2
働くための技術や知識がないため	7.0	3.2	18.0	20.5	4.1	0.0	39.4
社会経験が乏しいため	4.1	1.0	14.8	14.5	2.0	4.2	39.4
家族等の理解がないため	0.9	0.3	1.6	2.4	4.1	0.0	6.1
誰に相談してよいかわからないため	3.2	1.0	3.3	12.0	6.1	4.2	21.2
その他	8.6	6.7	16.4	14.5	6.1	8.3	12.1
特に理由はない	5.8	6.5	3.3	3.0	8.2	0.0	3.0
無回答	6.4	6.1	11.5	5.4	8.2	4.2	6.1

(4) 障害者が働くために必要なこと

問 22 障害者が働くためにはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)
※18歳以上の方

「障害に応じた柔軟な働き方の整備」が 36.8%と最も高く、次いで「職場の障害者理解の促進」(30.4%)、「就労に関する相談機関や支援員」(28.0%)、「企業の障害者雇用の促進」(26.1%)の順となっています。

障害等の別にみると、“精神障害者保健福祉手帳”、“難病患者福祉手当”では、「障害に応じた柔軟な働き方の整備」が 50%を超えています。“発達障害がある”では、「職場の障害者理解の促進」が 50%を超えています。



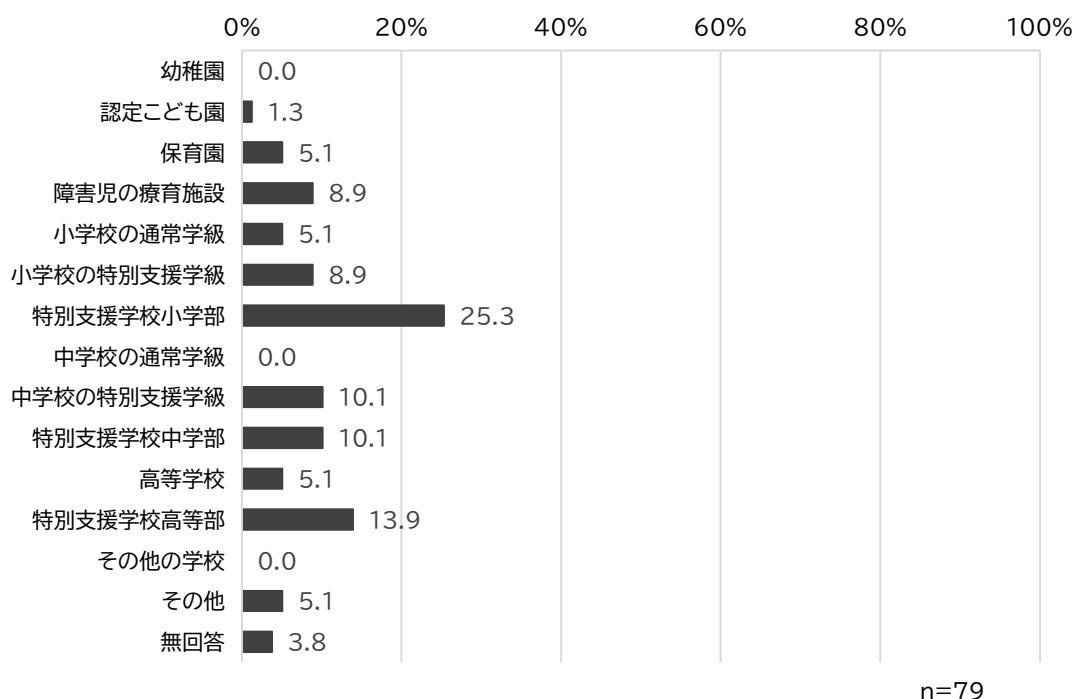
<回答者数>	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	1,932	1,304	213	291	124	39	81
就労に関する相談機関や支援員	28.0	23.0	38.0	41.6	30.6	38.5	50.6
障害に応じた職業訓練の場	23.6	19.9	31.5	33.7	25.0	33.3	48.1
職場での就労体験実習	13.4	10.0	20.7	23.4	13.7	15.4	27.2
障害者向けの求人情報の提供	23.3	19.8	23.0	40.5	21.0	43.6	37.0
企業の障害者雇用の促進	26.1	23.7	20.7	39.9	28.2	25.6	38.3
職場の障害者理解の促進	30.4	25.5	38.5	45.4	33.1	46.2	53.1
職場環境の改善	18.9	16.1	22.1	27.8	21.8	30.8	30.9
ジョブコーチ等の支援	14.8	10.8	24.9	25.4	14.5	17.9	33.3
離職後の支援	14.6	10.2	21.6	28.2	17.7	17.9	34.6
仕事以外の生活面等での支援	14.4	11.3	18.8	24.7	15.3	23.1	28.4
その他	4.8	3.8	4.7	8.9	5.6	5.1	1.2
無回答	35.0	43.0	26.3	12.4	18.5	30.8	17.3

(5) 就学の状況

① 主な通園・通学先

問 23 あなたが主に通園・通学しているところはどこですか。(あてはまるものすべてに○)
 ※18歳未満の方

「特別支援学校小学部」が 25.3%と最も高く、次いで「特別支援学校高等部」(13.9%)、「中学校の特別支援学級」(10.1%)、「特別支援学校中学部」(10.1%)の順となっています。

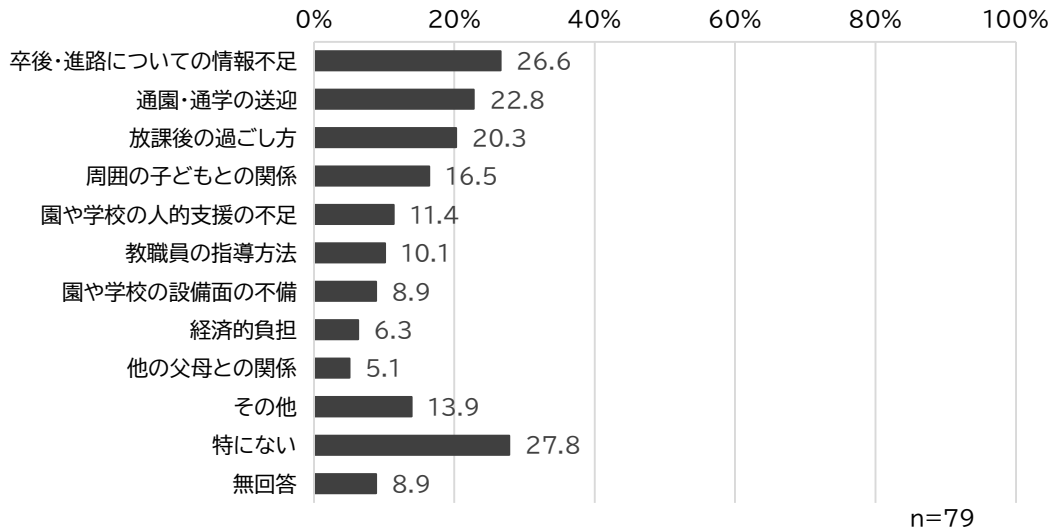


	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	79	19	54	4	2	0	34
幼稚園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認定こども園	1.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保育園	5.1	5.3	3.7	0.0	50.0	0.0	2.9
障害児の療育施設	8.9	21.1	5.6	0.0	0.0	0.0	8.8
小学校の通常学級	5.1	10.5	1.9	0.0	50.0	0.0	0.0
小学校の特別支援学級	8.9	0.0	11.1	25.0	0.0	0.0	17.6
特別支援学校小学部	25.3	36.8	24.1	0.0	0.0	0.0	23.5
中学校の通常学級	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中学校の特別支援学級	10.1	0.0	13.0	25.0	0.0	0.0	14.7
特別支援学校中学部	10.1	5.3	13.0	0.0	0.0	0.0	5.9
高等学校	5.1	10.5	3.7	0.0	0.0	0.0	2.9
特別支援学校高等部	13.9	0.0	20.4	0.0	0.0	0.0	14.7
その他の学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.1	10.5	1.9	25.0	0.0	0.0	8.8
無回答	3.8	0.0	3.7	25.0	0.0	0.0	2.9

②通園・通学で困っていること、心配なこと

問 24 通園・通学において困っていること、心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)
※18歳未満の方

「特にない」が 27.8%と最も高く、次いで「卒後・進路についての情報不足」(26.6%)、「通園・通学の送迎」(22.8%)、「放課後の過ごし方」(20.3%)の順となっています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	79	19	54	4	2	0	34
通園・通学の送迎	22.8	21.1	24.1	25.0	0.0	0.0	32.4
園や学校の設備面の不備	8.9	15.8	7.4	0.0	0.0	0.0	2.9
園や学校の人的支援の不足	11.4	10.5	13.0	0.0	0.0	0.0	14.7
周囲の子どもとの関係	16.5	15.8	14.8	50.0	0.0	0.0	23.5
教職員の指導方法	10.1	15.8	9.3	0.0	0.0	0.0	8.8
他の父母との関係	5.1	5.3	5.6	0.0	0.0	0.0	5.9
放課後の過ごし方	20.3	15.8	22.2	25.0	0.0	0.0	29.4
卒後・進路についての情報不足	26.6	21.1	25.9	75.0	0.0	0.0	32.4
経済的負担	6.3	15.8	3.7	0.0	0.0	0.0	2.9
その他	13.9	0.0	20.4	0.0	0.0	0.0	14.7
特にない	27.8	26.3	27.8	0.0	100.0	0.0	20.6
無回答	8.9	10.5	7.4	25.0	0.0	0.0	8.8

2-6 外出・社会参加について

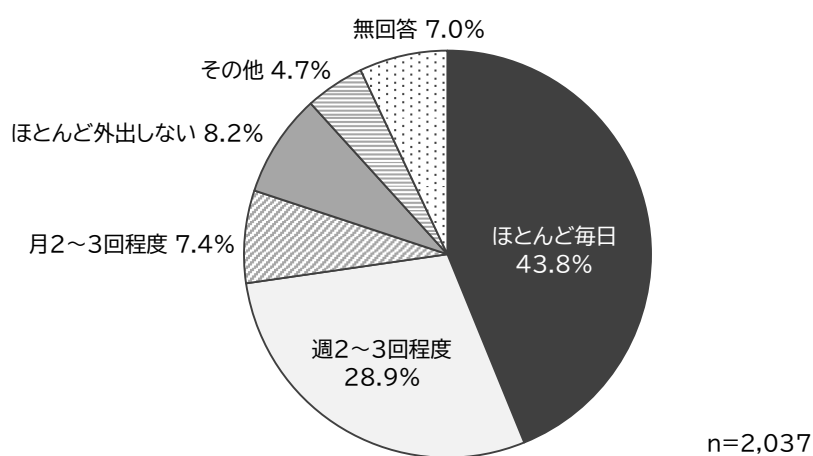
(1) 外出の状況

① 外出の頻度

問 25 あなたの外出回数はどれくらいですか。(1つだけに○)

「ほとんど毎日」が 43.8%と最も高く、次いで「週2～3回程度」(28.9%)、「ほとんど外出しない」(8.2%)、「月2～3回程度」(7.4%)の順となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“発達障害がある”では、「ほとんど毎日」が 65%を超えています。



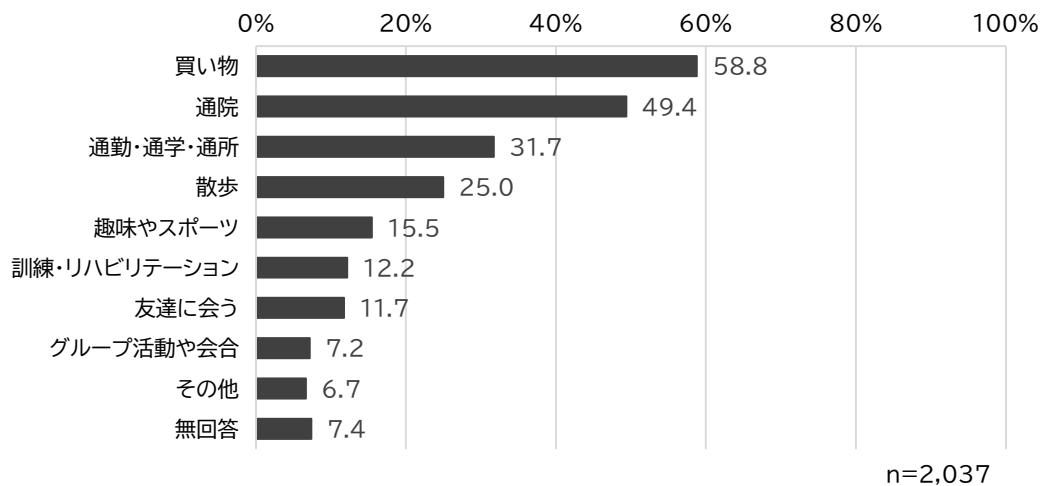
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	難病患者 福祉手当	高次脳 機能障害 がある	発達障害 がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
ほとんど毎日	43.8	37.0	69.5	44.7	59.2	41.0	65.5
週2～3回程度	28.9	32.5	12.6	26.3	30.8	15.4	16.4
月2～3回程度	7.4	8.2	4.8	8.2	2.3	2.6	3.4
ほとんど外出しない	8.2	9.1	4.5	9.5	3.1	10.3	2.6
その他	4.7	4.6	3.7	7.9	0.8	20.5	5.2
無回答	7.0	8.6	4.8	3.3	3.8	10.3	6.9

②外出の目的

問 26 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(多い目的3つに○)

「買い物」が 58.8%と最も高く、次いで「通院」(49.4%)、「通勤・通学・通所」(31.7%)、「散歩」(25.0%)の順となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“発達障害がある”では、「通勤・通学・通所」が 70%を超えています。“身体障害者手帳”、“精神障害者保健福祉手帳”、“難病患者福祉手当”、“高次脳機能障害がある”では、「通院」が 50%を超えています。



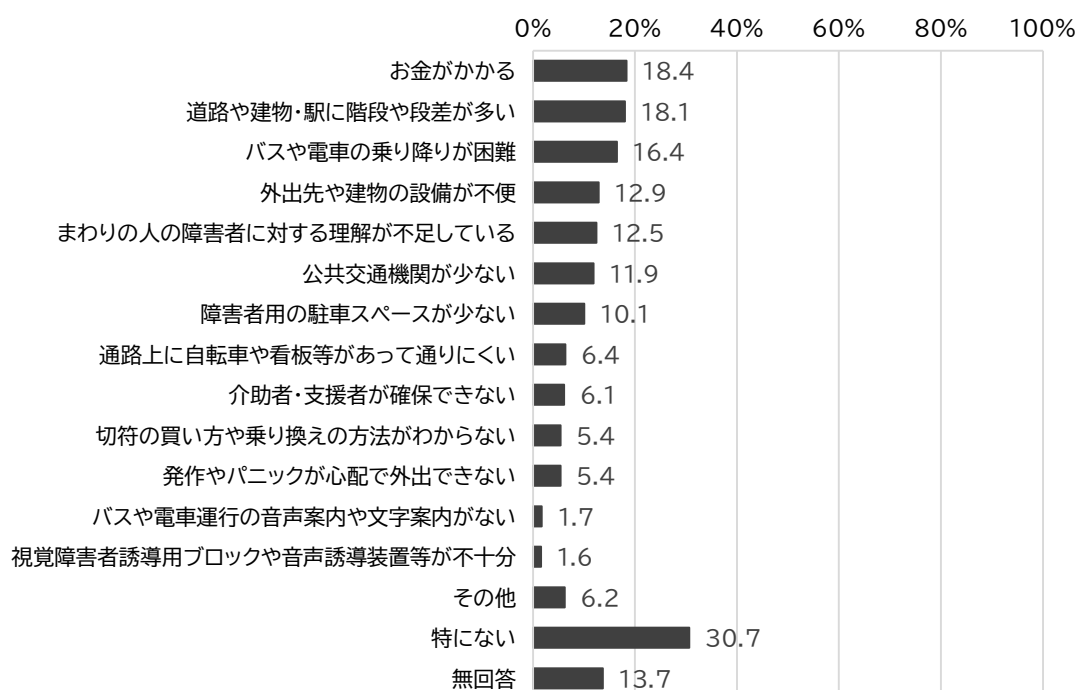
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
通勤・通学・通所	31.7	20.2	75.8	37.8	43.8	23.1	72.4
訓練・リハビリテーション	12.2	15.3	5.2	6.6	7.7	23.1	10.3
通院	49.4	51.0	29.4	59.5	50.8	53.8	36.2
買い物	58.8	55.1	58.7	66.8	78.5	38.5	60.3
趣味やスポーツ	15.5	14.5	22.3	12.2	19.2	5.1	21.6
グループ活動や会合	7.2	7.9	9.3	3.0	4.6	2.6	6.9
散歩	25.0	25.5	27.1	20.1	26.9	28.2	28.4
友達に会う	11.7	11.8	9.3	9.9	20.8	0.0	6.0
その他	6.7	6.8	5.6	8.2	3.8	10.3	7.8
無回答	7.4	8.7	5.6	5.9	1.5	15.4	5.2

③外出の際、困っていること

問 27 あなたが外出の際、困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「特にない」が 30.7%と最も高く、次いで「お金がかかる」(18.4%)、「道路や建物・駅に階段や段差が多い」(18.1%)、「バスや電車の乗り降りが困難」(16.4%)の順となっています。

障害等の別にみると、「特にない」を除きそれぞれ最も高いものは、“身体障害者手帳”が「道路や建物・駅に階段や段差が多い」、「愛の手帳」は「まわりの人の障害者に対する理解が不足している」、「精神障害者保健福祉手帳」と“難病患者福祉手当”は「お金がかかる」、「高次脳機能障害がある”は「外出先や建物の設備が不便」、「発達障害がある”は「まわりの人の障害者に対する理解が不足している」となっています。



n=2,037

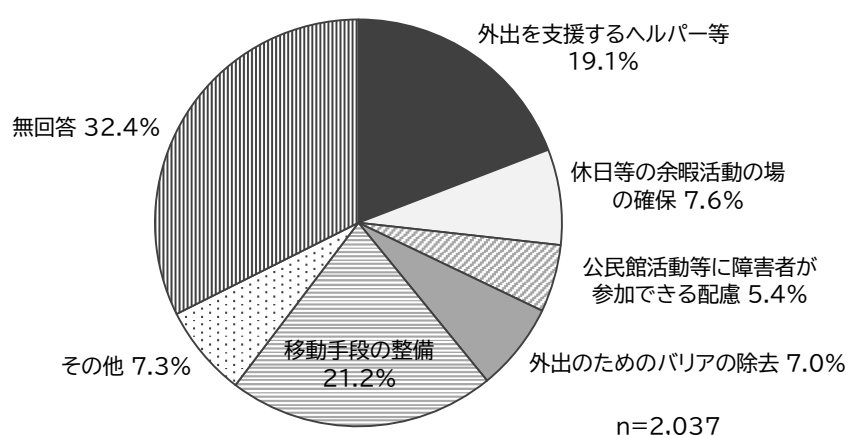
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	難病患者 福祉手当	高次脳 機能障害 がある	発達障害 がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
公共交通機関が少ない	11.9	12.1	8.6	12.5	15.4	10.3	13.8
バスや電車の乗り降りが困難	16.4	20.8	8.2	7.6	10.0	30.8	9.5
道路や建物・駅に階段や段差が多い	18.1	23.5	4.8	6.3	16.9	28.2	5.2
外出先や建物の設備が不便	12.9	16.5	7.4	3.3	9.2	33.3	11.2
バスや電車運行の音声案内や文字案内がない	1.7	1.9	1.5	1.0	1.5	5.1	1.7
視覚障害者誘導用ブロックや音声誘導装置等が不十分	1.6	2.1	0.7	0.0	1.5	0.0	0.0
障害者用の駐車スペースが少ない	10.1	13.6	4.1	1.6	5.4	17.9	7.8
通路上に自転車や看板等があって通りにくい	6.4	8.0	2.2	2.6	6.9	2.6	2.6
介助者・支援者が確保できない	6.1	5.5	14.9	3.0	2.3	10.3	17.2
お金がかかる	18.4	14.0	17.8	36.2	22.3	20.5	24.1
発作やパニックが心配で外出できない	5.4	3.1	4.1	17.8	3.1	12.8	12.9
まわりの人の障害者に対する理解が不足している	12.5	9.3	24.9	16.8	9.2	17.9	33.6
切符の買い方や乗り換えの方法がわからない	5.4	3.7	16.0	5.3	1.5	20.5	16.4
その他	6.2	5.8	4.1	9.5	6.9	7.7	10.3
特にない	30.7	28.3	37.2	27.0	50.0	17.9	24.1
無回答	13.7	16.4	9.3	9.9	3.8	20.5	6.0

(2) 社会参加に必要な支援

問 28 障害者の社会参加のために最も必要と思う支援は何ですか。(1つだけに○)

無回答を除くと、「移動手段の整備」が 21.2%と最も高く、次いで「外出を支援するヘルパー等」(19.1%)、「休日等の余暇活動の場の確保」(7.6%)、「その他」(7.3%)の順となっています。

障害等の別にもみると、“愛の手帳”と“発達障害がある”では、「外出を支援するヘルパー等」が 30%前後、「休日等の余暇活動の場の確保」は 20%前後となっています。“難病患者福祉手当”と“高次脳機能障害がある”では、「移動手段の整備」が 30%前後となっています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
外出を支援するヘルパー等	19.1	15.8	33.1	19.1	24.6	28.2	28.4
休日等の余暇活動の場の確保	7.6	4.0	19.3	13.2	6.9	2.6	21.6
公民館活動等に障害者が参加できる配慮	5.4	5.6	2.6	6.6	5.4	0.0	1.7
外出のためのバリアの除去	7.0	7.6	3.0	6.9	10.0	10.3	4.3
移動手段の整備	21.2	24.5	6.3	16.8	28.5	30.8	10.3
その他	7.3	5.4	7.8	15.5	6.2	0.0	10.3
無回答	32.4	37.0	27.9	22.0	18.5	28.2	23.3

2-7 障害福祉サービスの利用について

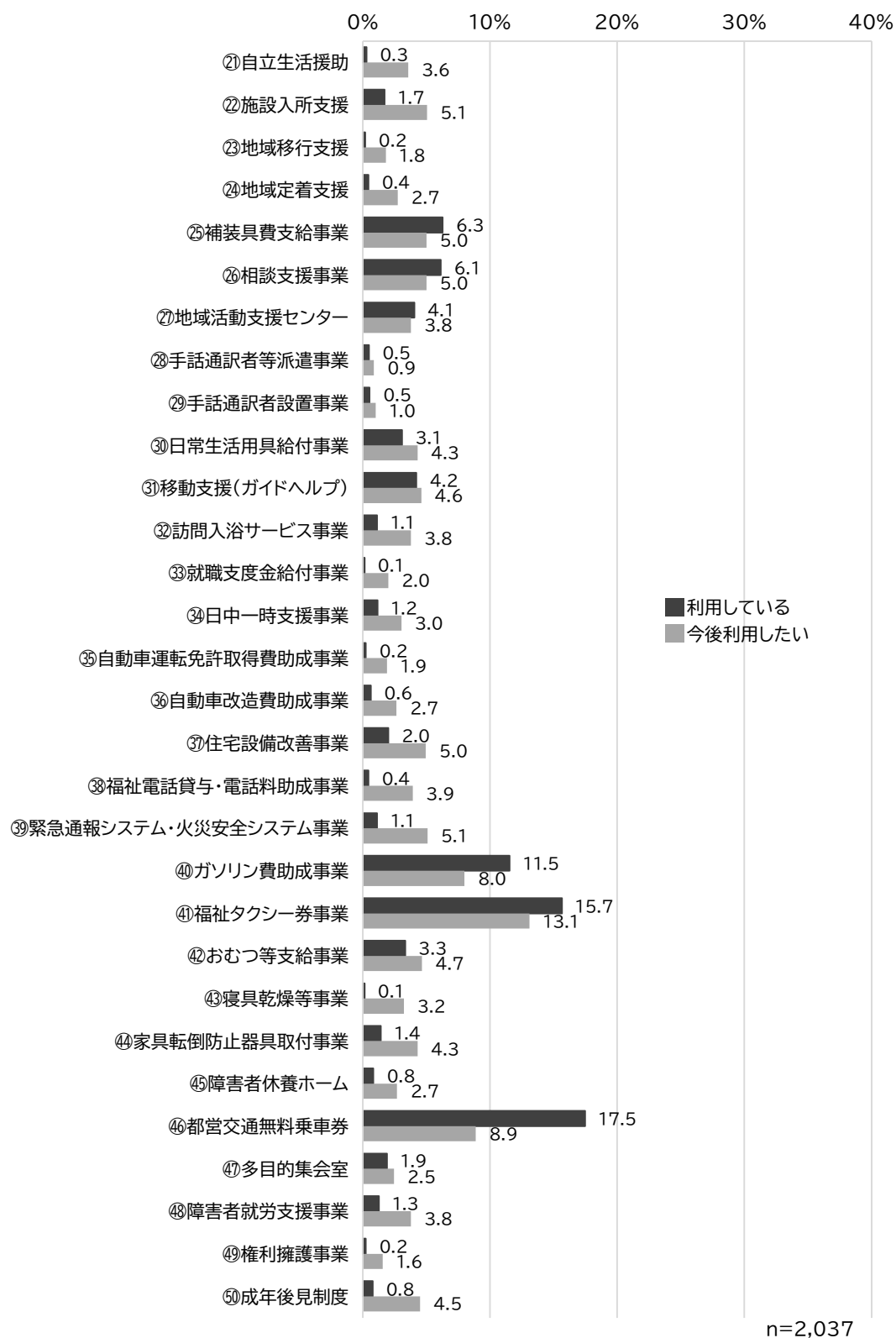
問 29 障害福祉サービスの利用について、利用している場合は、「利用している」に○をして、評価欄のいずれかに○をしてください。
 今後利用したいサービスがあれば、「今後利用したい」に○をしてください。
 (現在利用していて、今後も利用したい場合も○をしてください。)

(1) 利用状況と今後の利用意向

利用状況は、「④⑥都営交通無料乗車券」が 17.5%で最も高く、次いで「④福祉タクシー券事業」(15.7%)、「④ガソリン費助成事業」(11.5%)、「①居宅介護(身体介護、家事援助、通院介助)」(7.4%)の順となっています。

今後の利用意向で、利用状況を大きく上回っているのは「①居宅介護(身体介護、家事援助、通院介助)」の 12.3%となっています。





【利用している障害福祉サービス】

	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	難病患者 福祉手当	高次脳 機能障害 がある	発達障害 がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
①居宅介護(身体介護、家事援助、通院介助)	7.4	8.6	4.5	6.6	3.1	12.8	4.3
②重度訪問介護	0.9	1.0	0.0	1.0	1.5	0.0	0.9
③同行援護	1.4	1.4	2.2	0.7	1.5	0.0	1.7
④行動援護	1.0	0.7	4.1	0.3	0.0	0.0	4.3
⑤療養介護	0.8	0.7	1.5	0.3	0.8	0.0	0.9
⑥生活介護	4.2	3.3	12.6	2.3	0.8	2.6	12.9
⑦就労移行支援	1.3	0.5	2.6	4.3	0.0	0.0	0.9
⑧就労継続支援A型	0.7	0.3	2.2	1.3	0.0	0.0	1.7
⑨就労継続支援B型	6.3	2.1	20.4	14.8	0.0	12.8	14.7
⑩就労定着支援	0.8	0.1	3.0	2.0	0.0	0.0	1.7
⑪自立訓練(機能訓練)	3.0	4.2	1.5	0.0	0.8	7.7	1.7
⑫自立訓練(生活訓練)	1.4	1.5	0.7	1.6	0.8	0.0	0.9
⑬宿泊型自立訓練	0.3	0.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
⑭児童発達支援	0.5	0.4	1.9	0.0	0.0	0.0	4.3
⑮医療型児童発達支援	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑯居宅訪問型児童発達支援	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑰放課後等デイサービス	2.7	1.0	14.1	0.7	0.0	0.0	19.8
⑱保育所等訪問支援	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑲短期入所(ショートステイ)	4.1	4.2	8.9	1.3	0.0	5.1	11.2
⑳共同生活援助(グループホーム)	4.2	1.1	24.5	1.3	0.0	0.0	10.3
㉑自立生活援助	0.3	0.2	0.4	0.7	0.0	2.6	0.0
㉒施設入所支援	1.7	1.7	3.3	1.0	0.0	0.0	0.9
㉓地域移行支援	0.2	0.1	0.7	0.3	0.0	0.0	0.9
㉔地域定着支援	0.4	0.5	0.0	0.3	0.8	0.0	0.0
㉕補装具費支給事業	6.3	8.6	4.1	0.0	1.5	15.4	3.4
㉖相談支援事業	6.1	2.8	11.5	17.8	1.5	7.7	13.8
㉗地域活動支援センター	4.1	2.1	5.2	12.8	1.5	2.6	4.3
㉘手話通訳者等派遣事業	0.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
㉙手話通訳者設置事業	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
㉚日常生活用具給付事業	3.1	4.4	1.1	0.0	0.8	2.6	1.7
㉛移動支援(ガイドヘルプ)	4.2	1.9	21.6	1.0	0.0	5.1	17.2
㉜訪問入浴サービス事業	1.1	1.5	0.0	0.7	0.8	0.0	0.0
㉝就職支度金給付事業	0.1	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
㉞日中一時支援事業	1.2	0.3	6.7	0.7	0.0	0.0	9.5
㉟自動車運転免許取得費助成事業	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
㊱自動車改造費助成事業	0.6	1.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0
㊲住宅設備改善事業	2.0	3.0	0.4	0.0	0.0	2.6	0.0
㊳福祉電話貸与・電話料助成事業	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0
㊴緊急通報システム・火災安全システム事業	1.1	1.4	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
㊵ガソリン費助成事業	11.5	14.8	13.4	0.0	0.8	12.8	14.7
㊶福祉タクシー券事業	15.7	21.1	12.3	0.0	3.1	15.4	8.6
㊷おむつ等支給事業	3.3	4.0	5.2	0.3	0.0	0.0	5.2
㊸寝具乾燥等事業	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
㊹家具転倒防止器具取付事業	1.4	2.1	0.0	0.3	0.0	5.1	0.0
㊺障害者休養ホーム	0.8	1.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0
㊻都営交通無料乗車券	17.5	17.2	25.3	17.4	4.6	12.8	25.0
㊼多目的集会室	1.9	1.7	4.5	1.3	0.0	0.0	2.6
㊽障害者就労支援事業	1.3	0.8	3.0	2.3	0.0	0.0	2.6
㊾権利擁護事業	0.2	0.1	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
㊿成年後見制度	0.8	0.3	4.1	0.3	0.0	0.0	2.6

【今後、利用したい障害福祉サービス】

	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	難病患者 福祉手当	高次脳 機能障害 がある	発達障害 がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
①居宅介護(身体介護、家事援助、通院介助)	12.3	14.5	7.4	9.2	7.7	20.5	11.2
②重度訪問介護	2.9	3.4	1.9	2.3	1.5	7.7	1.7
③同行援護	5.0	5.3	5.9	3.3	3.8	15.4	3.4
④行動援護	3.3	2.8	8.2	2.0	2.3	5.1	6.9
⑤療養介護	3.4	3.7	3.0	3.0	2.3	10.3	3.4
⑥生活介護	7.2	7.1	8.6	7.9	3.8	12.8	12.1
⑦就労移行支援	2.9	1.8	5.2	5.9	2.3	7.7	8.6
⑧就労継続支援A型	2.2	1.0	5.2	4.9	0.8	2.6	6.9
⑨就労継続支援B型	3.7	1.3	11.9	7.9	0.8	7.7	12.9
⑩就労定着支援	2.6	1.4	5.9	5.3	0.8	5.1	6.9
⑪自立訓練(機能訓練)	3.9	4.6	3.0	3.0	1.5	15.4	2.6
⑫自立訓練(生活訓練)	3.5	3.3	5.2	4.3	0.8	10.3	4.3
⑬宿泊型自立訓練	1.8	1.0	5.6	1.6	1.5	2.6	4.3
⑭児童発達支援	0.8	0.6	2.6	0.3	0.8	2.6	1.7
⑮医療型児童発達支援	0.7	0.5	1.9	0.3	0.8	2.6	0.9
⑯居宅訪問型児童発達支援	0.7	0.6	1.9	0.3	0.8	2.6	0.9
⑰放課後等デイサービス	2.3	1.3	9.3	1.0	0.8	2.6	12.9
⑱保育所等訪問支援	0.7	0.5	2.2	0.0	0.8	2.6	0.9
⑲短期入所(ショートステイ)	6.0	5.0	14.5	4.9	1.5	12.8	18.1
⑳共同生活援助(グループホーム)	4.5	2.4	16.7	4.6	0.8	2.6	16.4
㉑自立生活援助	3.6	2.3	7.4	6.3	2.3	7.7	6.9
㉒施設入所支援	5.1	5.2	4.8	5.3	3.8	23.1	5.2
㉓地域移行支援	1.8	1.6	2.6	2.3	1.5	7.7	3.4
㉔地域定着支援	2.7	2.5	3.3	2.6	3.8	2.6	0.9
㉕補装具費支給事業	5.0	6.3	3.7	2.0	1.5	10.3	4.3
㉖相談支援事業	5.0	4.3	5.9	8.2	3.1	7.7	6.9
㉗地域活動支援センター	3.8	3.2	3.0	7.2	3.1	7.7	3.4
㉘手話通訳者等派遣事業	0.9	1.0	1.1	0.0	0.8	2.6	0.0
㉙手話通訳者設置事業	1.0	1.3	1.1	0.0	0.8	2.6	0.0
㉚日常生活用具給付事業	4.3	5.2	2.6	2.6	2.3	7.7	1.7
㉛移動支援(ガイドヘルプ)	4.6	3.3	15.2	1.6	3.1	10.3	13.8
㉜訪問入浴サービス事業	3.8	4.6	2.2	2.3	1.5	7.7	0.9
㉝就職支度金給付事業	2.0	1.0	3.0	4.9	3.1	2.6	4.3
㉞日中一時支援事業	3.0	2.3	7.4	3.3	0.8	15.4	10.3
㉟自動車運転免許取得費助成事業	1.9	1.6	4.5	1.6	0.8	2.6	0.9
㊱自動車改造費助成事業	2.7	3.4	1.9	1.0	0.8	2.6	1.7
㊲住宅設備改善事業	5.0	6.3	3.0	2.0	2.3	7.7	2.6
㊳福祉電話貸与・電話料助成事業	3.9	3.8	4.1	4.6	3.1	5.1	6.0
㊴緊急通報システム・火災安全システム事業	5.1	5.3	5.2	3.9	5.4	12.8	6.0
㊵ガソリン費助成事業	8.0	7.5	8.9	8.9	9.2	20.5	15.5
㊶福祉タクシー券事業	13.1	14.4	7.4	12.5	13.1	25.6	8.6
㊷おむつ等支給事業	4.7	5.4	3.0	3.0	4.6	10.3	3.4
㊸寝具乾燥等事業	3.2	3.5	1.9	3.9	1.5	7.7	3.4
㊹家具転倒防止器具取付事業	4.3	5.2	2.2	3.3	2.3	5.1	1.7
㊺障害者休養ホーム	2.7	2.8	3.0	3.0	0.8	7.7	2.6
㊻都営交通無料乗車券	8.9	7.5	11.5	11.5	11.5	7.7	12.9
㊼多目的集会室	2.5	2.2	4.1	2.3	2.3	2.6	3.4
㊽障害者就労支援事業	3.8	2.2	7.1	8.6	2.3	7.7	9.5
㊾権利擁護事業	1.6	1.0	3.0	2.6	1.5	2.6	6.0
㊿成年後見制度	4.5	2.4	15.2	5.3	2.3	10.3	21.6

(2) 利用者における評価

「非常に満足」と「やや満足」を合わせて、満足度が60%を超えているサービスは、「①居宅介護(身体介護、家事援助、通院介助)」、「⑥生活介護」、「⑪自立訓練(機能訓練)」、「⑰放課後等デイサービス」、「⑳おむつ等支給事業」となっています。



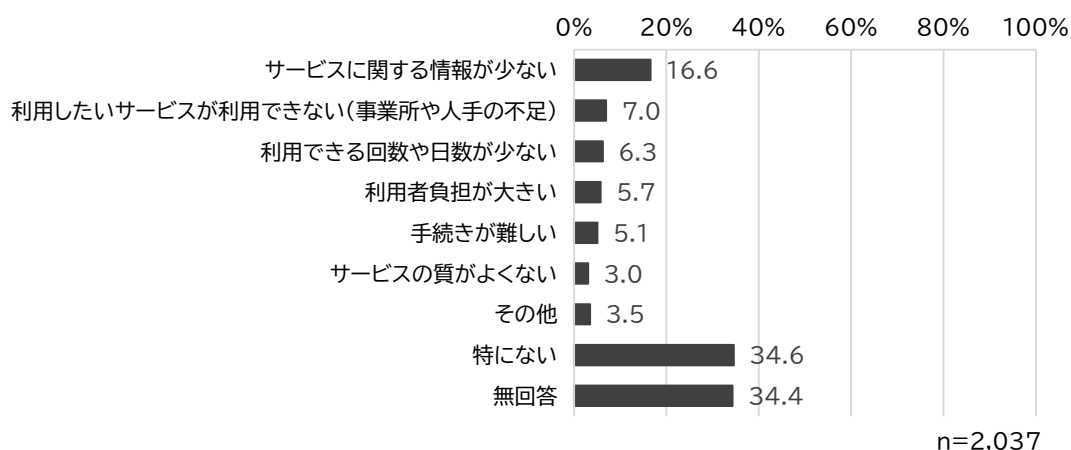


(3) サービス利用に関して困っていること

問 30 サービス利用に関して困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「特にない」が 34.6%と最も高く、次いで「サービスに関する情報が少ない」(16.6%)、「利用したいサービスが利用できない(事業所や人手の不足)」(7.0%)、「利用できる回数や日数が少ない」(6.3%)の順となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“高次脳機能障害がある”、“発達障害がある”では、「利用したいサービスが利用できない(事業所や人手の不足)」が 15%を超えています。「サービスに関する情報が少ない」は、“精神障害者保健福祉手帳”、“発達障害がある”、“高次脳機能障害がある”で 20%を超えています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
利用したいサービスが利用できない(事業所や人手の不足)	7.0	5.2	19.3	5.9	2.3	15.4	27.6
利用できる回数や日数が少ない	6.3	5.6	11.9	5.3	3.8	17.9	15.5
サービスの質がよくない	3.0	2.6	3.0	5.6	1.5	0.0	3.4
利用者負担が大きい	5.7	6.1	5.2	5.3	3.8	12.8	7.8
手続きが難しい	5.1	3.9	6.7	7.9	6.9	7.7	13.8
サービスに関する情報が少ない	16.6	14.8	17.5	24.7	13.8	28.2	33.6
その他	3.5	2.6	5.2	5.6	3.8	5.1	9.5
特にない	34.6	31.9	39.8	36.8	46.9	10.3	25.0
無回答	34.4	40.4	17.5	23.4	33.1	35.9	13.8

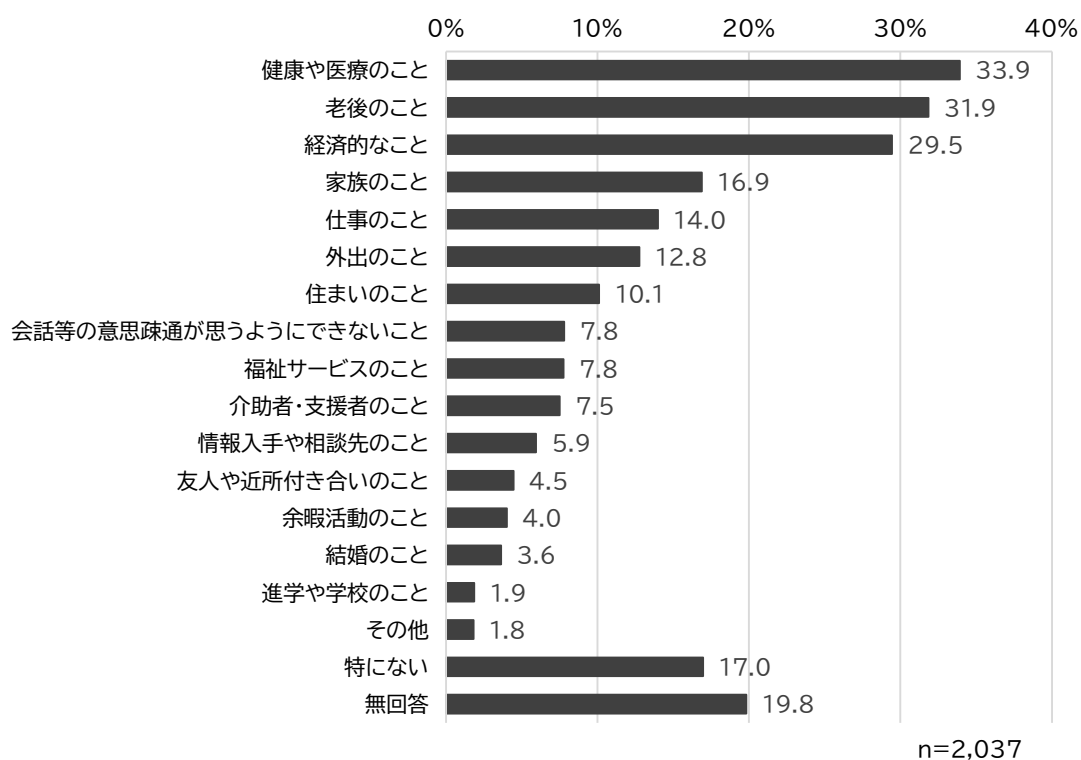
2-8 福祉や生活に関する相談・情報入手について

(1) 生活で困っていること

問 31 あなたは、現在の生活で困ったり、不安に思っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「健康や医療のこと」が 33.9%と最も高く、次いで「老後のこと」(31.9%)、「経済的なこと」(29.5%)、「特にない」(17.0%)の順となっています。

障害等の別にみると、“精神障害者保健福祉手帳”、“難病患者福祉手当”、“高次脳機能障害がある”、“発達障害がある”では、「経済的なこと」が 40%を超えています。「健康や医療のこと」は、“精神障害者保健福祉手帳”、“難病患者福祉手当”、“高次脳機能障害がある”で 45%を超えています。「会話等の意思疎通が思うようにできないこと」は、“愛の手帳”、“高次脳機能障害がある”、“発達障害がある”で 20%を超えています。



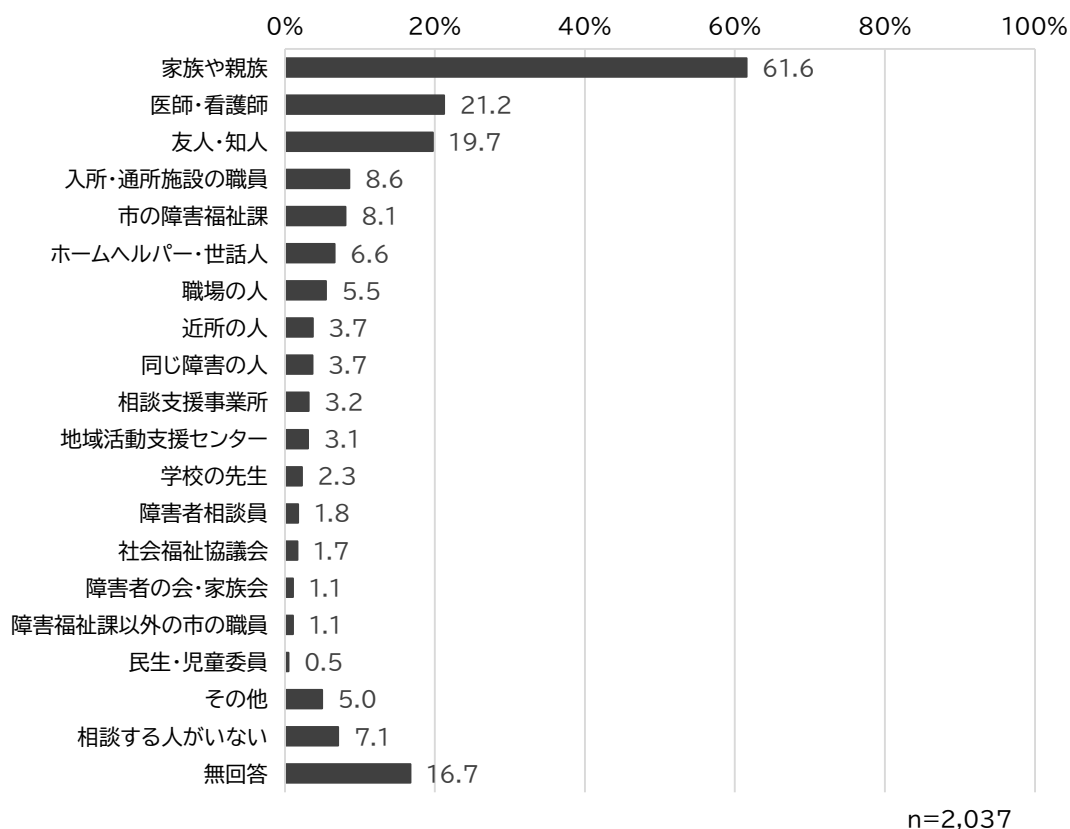
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	難病患者 福祉手当	高次脳 機能障害 がある	発達障害 がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
仕事のこと	14.0	6.9	19.3	37.5	20.8	10.3	32.8
経済的なこと	29.5	23.8	22.3	56.3	40.0	43.6	43.1
健康や医療のこと	33.9	31.1	22.7	47.7	53.8	53.8	32.8
住まいのこと	10.1	7.2	7.8	24.0	12.3	7.7	17.2
外出のこと	12.8	11.1	13.0	21.4	9.2	28.2	23.3
家族のこと	16.9	13.7	14.9	32.2	17.7	17.9	19.0
余暇活動のこと	4.0	1.4	11.9	9.9	0.8	0.0	19.0
介助者・支援者のこと	7.5	7.3	11.2	7.2	3.1	20.5	15.5
福祉サービスのこと	7.8	6.9	8.6	10.5	8.5	15.4	15.5
情報入手や相談先のこと	5.9	4.1	7.1	11.8	8.5	0.0	15.5
進学や学校のこと	1.9	0.7	7.4	2.3	1.5	0.0	14.7
結婚のこと	3.6	1.0	5.6	12.2	6.9	0.0	9.5
老後のこと	31.9	27.7	33.8	44.7	40.8	48.7	38.8
友人や近所付き合いのこと	4.5	1.6	5.9	16.1	3.1	2.6	12.9
会話等の意思疎通が思うようにできないこと	7.8	5.1	21.9	10.2	0.8	28.2	25.9
その他	1.8	1.3	2.2	3.9	0.8	0.0	3.4
特になし	17.0	18.4	19.0	8.2	18.5	7.7	8.6
無回答	19.8	25.2	11.2	8.6	9.2	7.7	6.0

(2) 困っていることの相談先

問32 あなたが困ったり不安を感じた時に、誰(どこ)に相談していますか。
(よく相談している人や場所に○)

「家族や親族」が61.6%と最も高く、次いで「医師・看護師」(21.2%)、「友人・知人」(19.7%)、「入所・通所施設の職員」(8.6%)の順となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“発達障害がある”では、「入所・通所施設の職員」が20%前後となっています。“愛の手帳”では「ホームヘルパー・世話人」が21.9%、“精神障害者保健福祉手帳”では「医師・看護師」が39.5%となっています。“精神障害者保健福祉手帳”、“難病患者福祉手当”では「相談する人がいない」が10%を超えています。



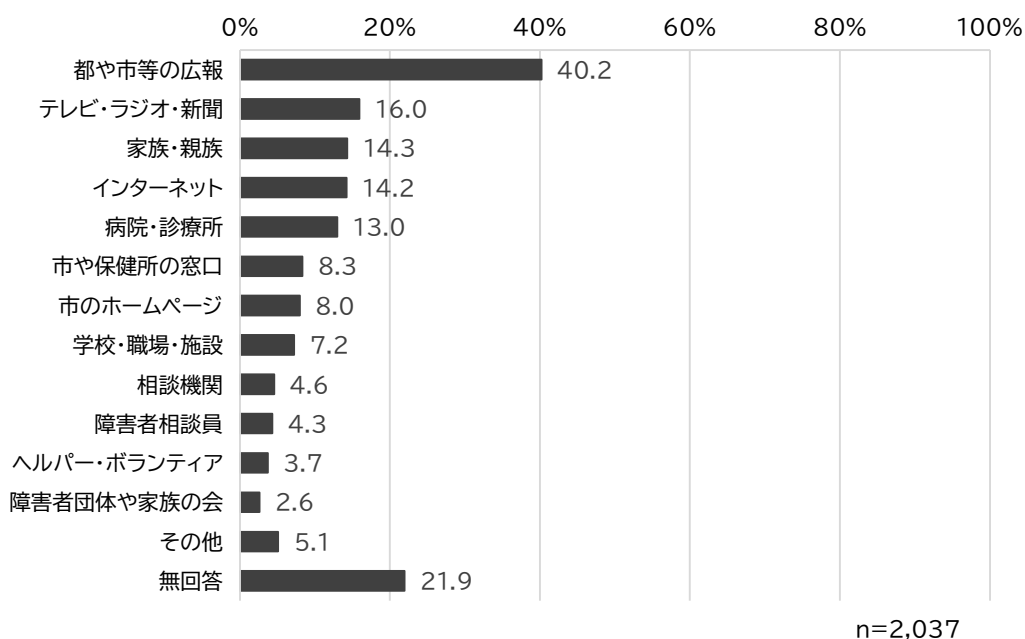
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	難病患者 福祉手当	高次脳 機能障害 がある	発達障害 がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
家族や親族	61.6	61.4	59.9	60.9	68.5	69.2	68.1
友人・知人	19.7	20.4	10.4	19.7	32.3	10.3	12.9
近所の人	3.7	4.9	1.5	1.3	1.5	0.0	0.0
職場の人	5.5	2.7	16.4	5.6	11.5	5.1	8.6
同じ障害の人	3.7	3.5	2.6	5.6	3.1	7.7	4.3
障害者の会・家族会	1.1	0.8	3.3	0.7	0.0	2.6	3.4
ホームヘルパー・世話人	6.6	4.7	21.9	3.6	1.5	7.7	10.3
入所・通所施設の職員	8.6	6.4	19.7	11.8	0.8	5.1	25.9
学校の先生	2.3	0.5	12.3	2.0	0.0	0.0	18.1
医師・看護師	21.2	18.7	9.7	39.5	27.7	20.5	28.4
民生・児童委員	0.5	0.5	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0
障害者相談員	1.8	1.3	1.9	3.9	0.8	0.0	2.6
市の障害福祉課	8.1	8.2	7.4	9.9	3.8	15.4	6.0
障害福祉課以外の市の職員	1.1	0.8	1.5	2.3	0.0	0.0	2.6
相談支援事業所	3.2	1.5	12.6	3.6	0.0	0.0	9.5
地域活動支援センター	3.1	2.5	2.6	7.2	0.8	2.6	0.9
社会福祉協議会	1.7	1.4	1.5	3.0	1.5	5.1	0.9
その他	5.0	3.7	6.7	9.9	3.1	2.6	9.5
相談する人がいない	7.1	5.2	4.8	14.8	13.1	5.1	9.5
無回答	16.7	21.1	8.6	7.6	10.8	10.3	6.9

(3) 福祉関連の情報の入手先

問33 あなたは、福祉関連の情報を主にどこから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

「都や市等の広報」が40.2%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞」(16.0%)、「家族・親族」(14.3%)、「インターネット」(14.2%)の順となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“発達障害がある”では、「学校・職場・施設」が25%を超えています。“高次脳機能障害”では「家族・親族」が30.8%、“発達障害がある”では「インターネット」が29.3%となっています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
都や市等の広報	40.2	45.7	24.5	29.9	40.0	38.5	25.0
学校・職場・施設	7.2	3.0	27.5	9.9	2.3	2.6	32.8
テレビ・ラジオ・新聞	16.0	19.1	7.1	9.2	17.7	12.8	9.5
インターネット	14.2	11.2	11.2	24.7	27.7	2.6	29.3
市のホームページ	8.0	8.5	4.5	7.2	11.5	10.3	6.0
病院・診療所	13.0	12.6	4.8	19.1	20.0	17.9	13.8
障害者団体や家族の会	2.6	2.2	8.2	0.3	0.0	5.1	8.6
家族・親族	14.3	13.7	20.8	13.8	8.5	30.8	24.1
市や保健所の窓口	8.3	7.9	5.9	11.2	10.8	10.3	7.8
障害者相談員	4.3	2.6	13.4	5.3	0.8	5.1	9.5
相談機関	4.6	2.9	10.0	8.9	0.0	2.6	12.1
ヘルパー・ボランティア	3.7	4.0	4.8	2.0	2.3	2.6	3.4
その他	5.1	3.7	9.7	7.9	3.8	10.3	8.6
無回答	21.9	24.1	20.8	15.5	17.7	20.5	14.7

2-9 災害時の避難・対策等について

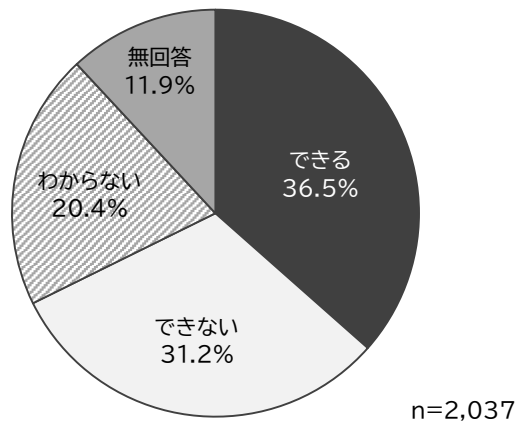
(1) 災害時の状況

① 避難の状況

問 34 あなたは、火事や地震、風水害等の災害時にひとりで避難できますか。(1つだけに○)

「できる」が 36.5%、「できない」は 31.2%、「わからない」は 20.4%となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“高次脳機能障害がある”、“発達障害がある”では、「できない」が 45%を超えています。



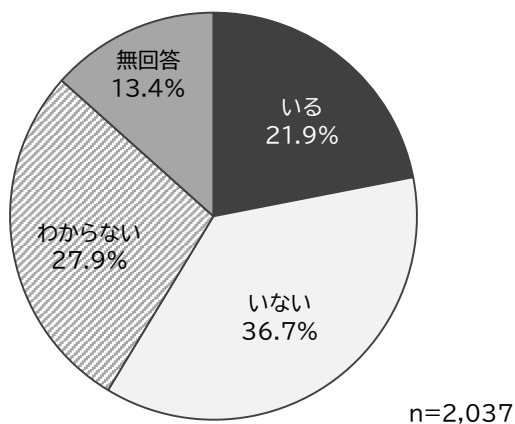
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	難病患者 福祉手当	高次脳 機能障害 がある	発達障害 がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
できる	36.5	35.6	21.2	43.1	62.3	10.3	25.9
できない	31.2	32.7	49.4	17.1	10.8	59.0	47.4
わからない	20.4	16.9	23.4	32.6	20.8	15.4	25.0
無回答	11.9	14.8	5.9	7.2	6.2	15.4	1.7

②助けてくれる人の有無

問 35 家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。
(1つだけに○)

「いない」が 36.7%、「わからない」は 27.9%、「いる」は 21.9%となっています。

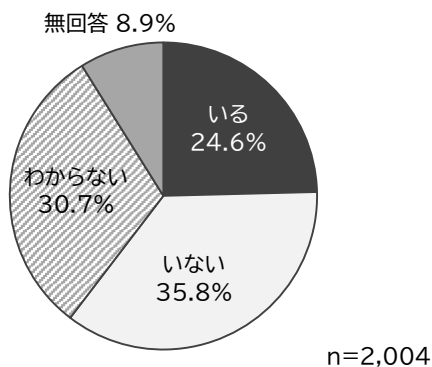
障害等の別にみると、“精神障害者保健福祉手帳”、“発達障害がある”では、「いない」が 45%を超えています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
いる	21.9	22.3	25.7	16.1	23.8	10.3	17.2
いない	36.7	33.7	35.3	52.0	35.4	41.0	48.3
わからない	27.9	27.9	30.1	23.4	34.6	35.9	30.2
無回答	13.4	16.1	8.9	8.6	6.2	12.8	4.3

《前回調査》

問 36 家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。
(単数回答)

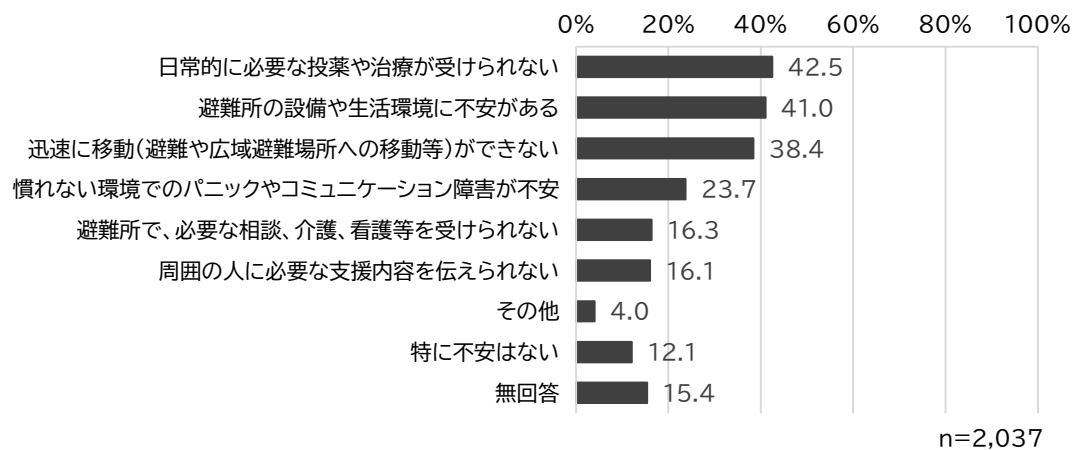


(2) 災害時に困ること

問 36 火事や地震、風水害等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「日常的に必要な投薬や治療が受けられない」が 42.5%と最も高く、次いで「避難所の設備や生活環境に不安がある」(41.0%)、「迅速に移動(避難や広域避難場所への移動等)ができない」(38.4%)、「慣れない環境でのパニックやコミュニケーション障害が不安」(23.7%)の順となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“高次脳機能障害がある”、“発達障害がある”では、「周囲の人に必要な支援内容を伝えられない」が 40%を超えています。“愛の手帳”、“精神障害者保健福祉手帳”、“発達障害がある”では、「慣れない環境でのパニックやコミュニケーション障害が不安」が 45%を超えています。「迅速に移動(避難や広域避難場所への移動等)ができない」は、“高次脳機能障害がある”で 66.7%となっています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
日常的に必要な投薬や治療が受けられない	42.5	40.1	30.1	58.2	56.2	53.8	39.7
迅速に移動(避難や広域避難場所への移動等)ができない	38.4	43.7	35.3	25.7	20.0	66.7	40.5
周囲の人に必要な支援内容を伝えられない	16.1	10.9	42.8	20.1	4.6	41.0	50.9
避難所の設備や生活環境に不安がある	41.0	39.2	43.5	46.7	41.5	41.0	53.4
避難所で、必要な相談、介護、看護等を受けられない	16.3	14.4	20.8	22.7	12.3	28.2	26.7
慣れない環境でのパニックやコミュニケーション障害が不安	23.7	13.9	46.8	50.0	15.4	28.2	63.8
その他	4.0	3.7	3.3	4.6	6.9	2.6	6.0
特に不安はない	12.1	12.4	13.0	7.9	16.9	5.1	8.6
無回答	15.4	18.8	9.3	9.2	7.7	15.4	0.0

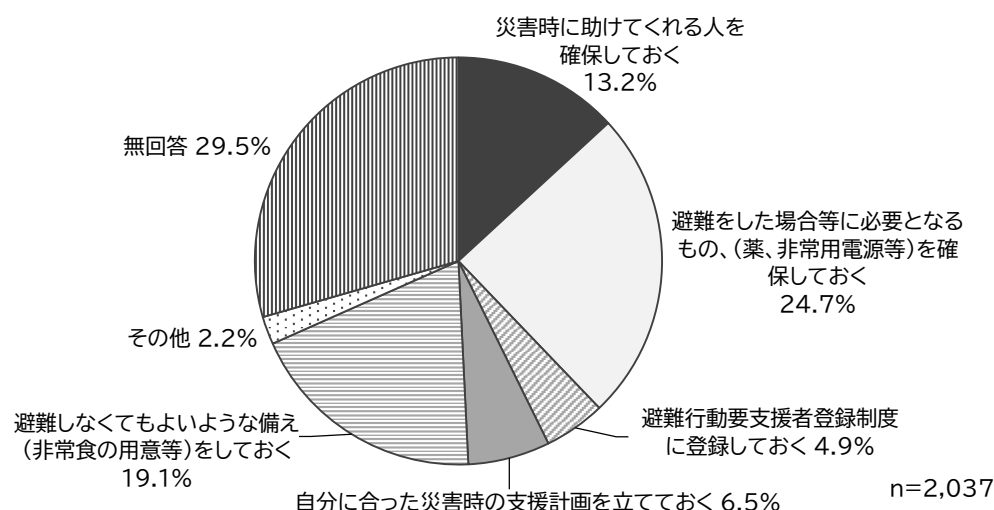
(3) 災害時への備え

① 必要だと思う備え

問37 あなたは、災害に対してどのような備えをしておくことが最も必要だと思いますか。
(1つだけに○)

無回答を除くと、「避難をした場合等に必要となるもの、(薬、非常用電源等)を確保しておく」が24.7%と最も高く、次いで「避難しなくてもよいような備え(非常食の用意等)をしておく」(19.1%)、「災害時に助けてくれる人を確保しておく」(13.2%)、「自分に合った災害時の支援計画を立てておく」(6.5%)の順となっています。

障害等の別にみると、“難病患者福祉手当”では「避難をした場合等に必要となるもの、(薬、非常用電源等)を確保しておく」が45.4%、「発達障害がある”では「避難しなくてもよいような備え(非常食の用意等)をしておく」が31.0%となっています。



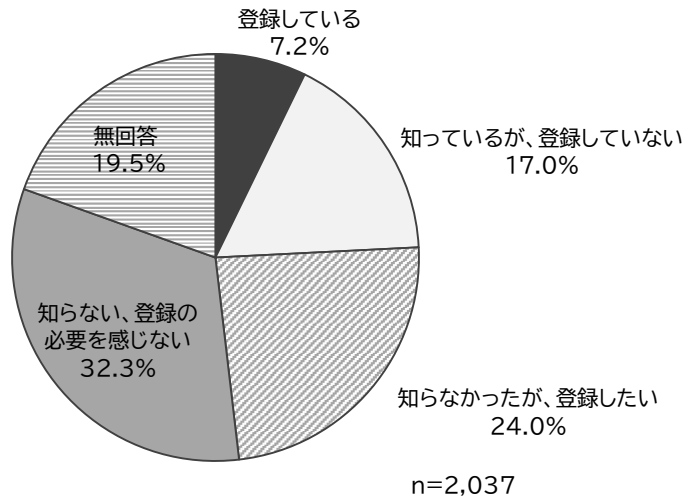
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
災害時に助けてくれる人を確保しておく	13.2	12.7	23.8	9.5	3.8	28.2	19.0
避難をした場合等に必要となるもの、(薬、非常用電源等)を確保しておく	24.7	22.7	13.8	34.2	45.4	7.7	19.0
避難行動要支援者登録制度に登録しておく	4.9	5.4	4.1	4.3	2.3	5.1	6.0
自分に合った災害時の支援計画を立てておく	6.5	6.3	7.4	6.9	6.2	5.1	7.8
避難しなくてもよいような備え(非常食の用意等)をしておく	19.1	18.6	24.5	16.4	19.2	23.1	31.0
その他	2.2	1.9	2.2	3.9	1.5	2.6	1.7
無回答	29.5	32.4	24.2	24.7	21.5	28.2	15.5

②避難行動要支援者登録制度への登録

問 38 あなたは、「避難行動要支援者登録制度」に登録していますか。(1つだけに○)

「知らない、登録の必要を感じない」が 32.3%と最も高く、次いで「知らなかったが、登録したい」(24.0%)、「知っているが、登録していない」(17.0%)、「登録している」(7.2%)の順となっています。

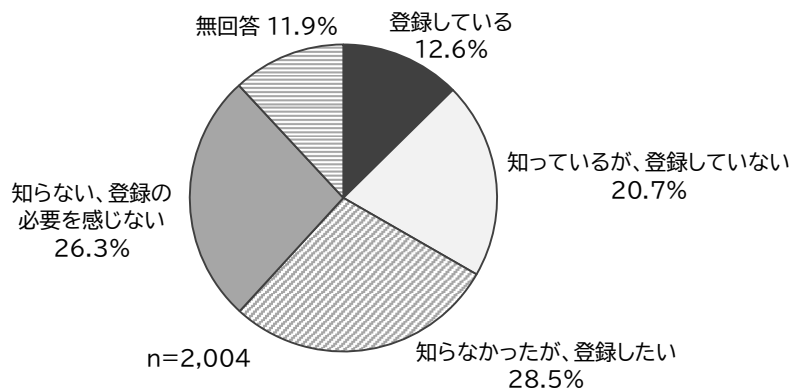
障害等の別にみると、“難病患者福祉手当”では「知らない、登録の必要を感じない」が 62.3%、“高次脳機能障害がある”では「知らなかったが、登録したい」が 41.0%となっています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
登録している	7.2	7.8	8.9	5.3	2.3	10.3	10.3
知っているが、登録していない	17.0	17.1	21.2	16.1	9.2	20.5	17.2
知らなかったが、登録したい	24.0	24.0	27.1	23.7	17.7	41.0	30.2
知らない、登録の必要を感じない	32.3	26.5	32.3	44.7	62.3	12.8	35.3
無回答	19.5	24.6	10.4	10.2	8.5	15.4	6.9

《前回調査》

問 39 あなたは、「災害時要支援者名簿」に登録していますか。(単数回答)

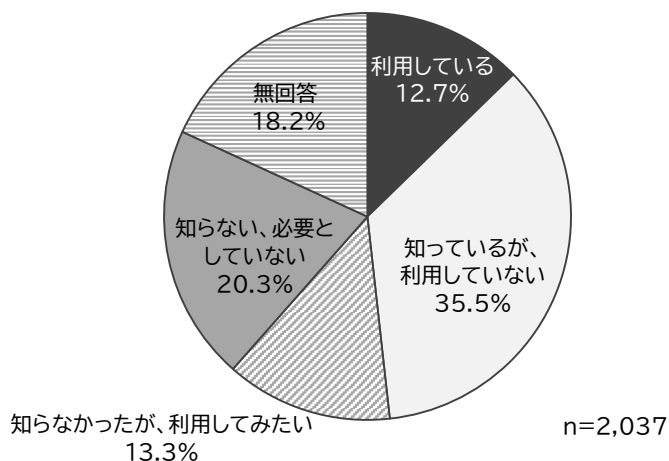


③ヘルプカードの利用

問 39 あなたは、「ヘルプカード」を利用していますか。(1つだけに○)

「知っているが、利用していない」が 35.5%と最も高く、次いで「知らない、必要としていない」(20.3%)、「知らなかったが、利用してみたい」(13.3%)、「利用している」(12.7%)の順となっています。

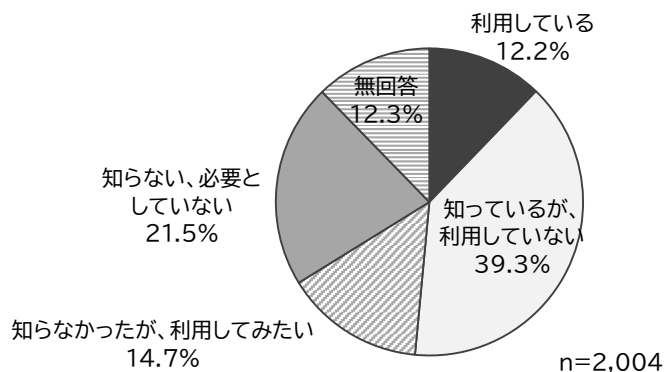
障害等の別にみると、「愛の手帳」、「発達障害がある」では、「利用している」が 30%を超えています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
利用している	12.7	9.6	31.2	11.5	9.2	17.9	30.2
知っているが、利用していない	35.5	34.1	38.3	39.1	36.2	41.0	34.5
知らなかったが、利用してみたい	13.3	14.5	8.9	14.1	7.7	17.9	15.5
知らない、必要としていない	20.3	18.6	14.9	25.7	36.9	7.7	14.7
無回答	18.2	23.2	6.7	9.5	10.0	15.4	5.2

《前回調査》

問 40 あなたは、「ヘルプカード」を利用していますか。(単数回答)



2-10 障害者の権利擁護・理解促進について

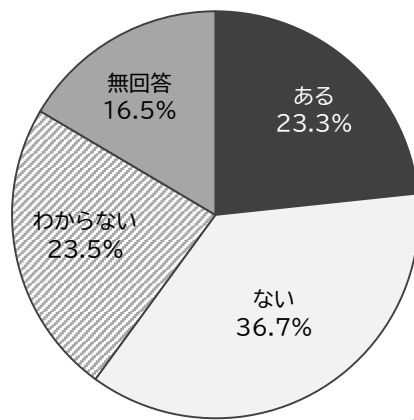
(1) 差別・偏見や疎外感

① 差別・偏見や疎外感を感じること

問 40 あなたは日常生活で、障害者への差別・偏見や疎外感を感じることはありますか。(1つに○)

「ない」が 36.7%、「わからない」は 23.5%、「ある」は 23.3%となっています。

障害等の別にみると、“愛の手帳”、“精神障害者保健福祉手帳”、“発達障害がある”では、「ある」が 35%を超えています。

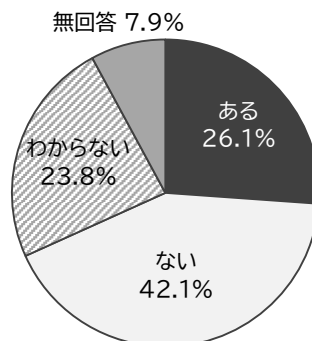


n=2,037

	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
ある	23.3	16.1	36.4	41.4	27.7	17.9	46.6
ない	36.7	43.6	21.6	23.0	29.2	30.8	8.6
わからない	23.5	18.7	36.4	28.9	32.3	38.5	42.2
無回答	16.5	21.5	5.6	6.6	10.8	12.8	2.6

《前回調査》

問 41 あなたは日常生活で、障害者への差別・偏見や疎外感を感じることはありますか。(単数回答)



n=2,004

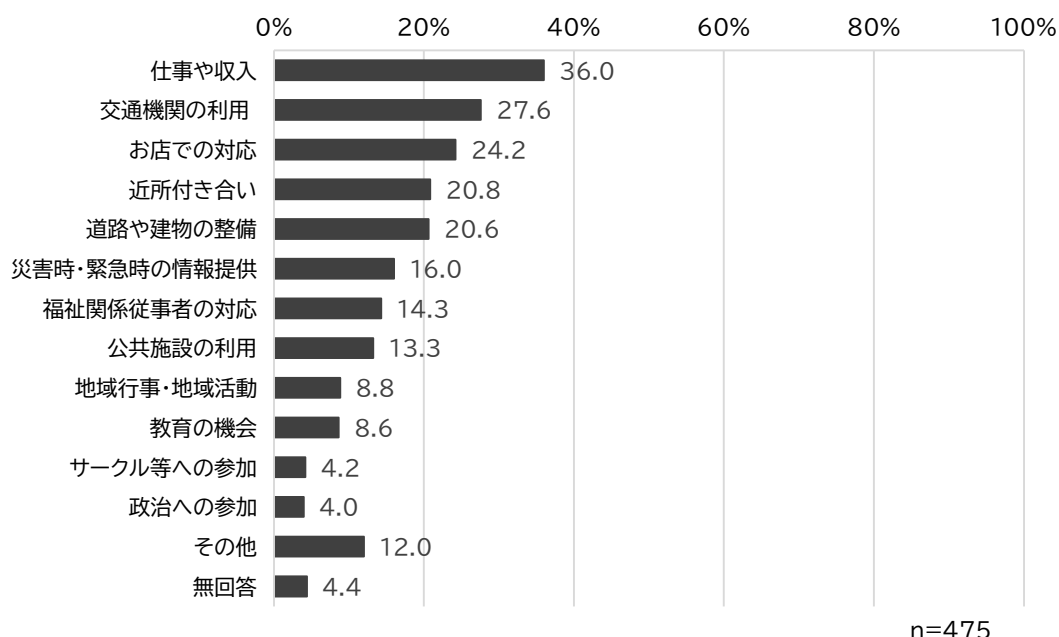
②差別・偏見や疎外感を感じる場面

問 41 どのようなところに、差別・偏見や疎外感を感じますか。
(あてはまるものすべてに○)

※差別・偏見や疎外感を感じたことが「ある」と回答した人

無回答を除くと、「仕事や収入」が36.0%と最も高く、次いで「交通機関の利用」(27.6%)、「お店での対応」(24.2%)、「近所付き合い」(20.8%)、「道路や建物の整備」(20.6%)の順となっています。

障害等の別にみると、“精神障害者保健福祉手帳”、“発達障害がある”では、「仕事や収入」が45%を超えています。



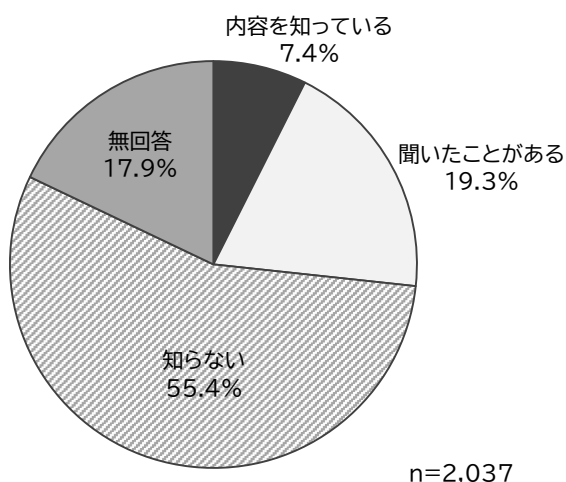
	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	475	215	98	126	36	7	54
教育の機会	8.6	5.6	18.4	5.6	11.1	0.0	18.5
仕事や収入	36.0	27.9	30.6	54.8	33.3	28.6	46.3
サークル等への参加	4.2	5.6	1.0	5.6	0.0	0.0	1.9
地域行事・地域活動	8.8	8.8	10.2	8.7	5.6	0.0	11.1
近所付き合い	20.8	16.3	21.4	29.4	16.7	14.3	29.6
お店での対応	24.2	20.5	39.8	15.9	33.3	28.6	38.9
道路や建物の整備	20.6	37.2	6.1	4.0	19.4	42.9	7.4
交通機関の利用	27.6	40.5	21.4	11.9	22.2	42.9	18.5
福祉関係従事者の対応	14.3	13.0	10.2	19.0	16.7	71.4	16.7
災害時・緊急時の情報提供	16.0	21.9	16.3	7.1	11.1	42.9	11.1
政治への参加	4.0	3.7	4.1	4.8	2.8	0.0	5.6
公共施設の利用	13.3	13.5	16.3	11.9	8.3	14.3	18.5
その他	12.0	9.3	14.3	14.3	13.9	28.6	16.7
無回答	4.4	3.3	4.1	6.3	5.6	0.0	1.9

(2) 障害者差別解消法の認知状況

問 42 あなたは平成 28 年4月から施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」を知っていますか。(1つに○)

「知らない」が 55.4%、「聞いたことがある」は 19.3%、「内容を知っている」は 7.4%となっています。

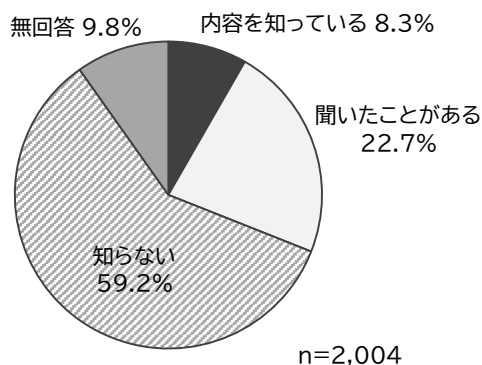
障害等の別にみると、「精神障害者保健福祉手帳」、「難病患者福祉手当」、「高次脳機能障害がある」では、「知らない」が 65%を超えています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
内容を知っている	7.4	7.1	8.9	8.6	4.6	0.0	12.9
聞いたことがある	19.3	19.0	24.5	16.1	19.2	10.3	27.6
知らない	55.4	51.1	58.7	66.1	66.9	69.2	54.3
無回答	17.9	22.8	7.8	9.2	9.2	20.5	5.2

《前回調査》

問 43 あなたは平成 28 年4月から施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」を知っていますか。(単数回答)

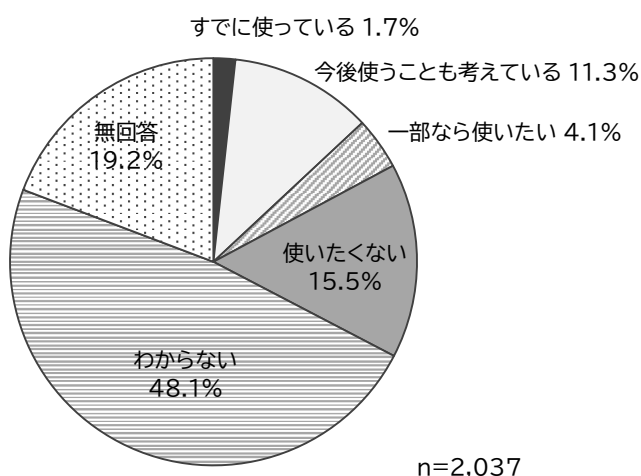


(3) 成年後見制度の利用

問43 あなたは、「成年後見制度」を使うことについて、どう思いますか。(1つに○)

「わからない」が 48.1%と最も高く、次いで「使いたくない」(15.5%)、「今後使うことも考えている」(11.3%)、「一部なら使いたい」(4.1%)の順となっています。

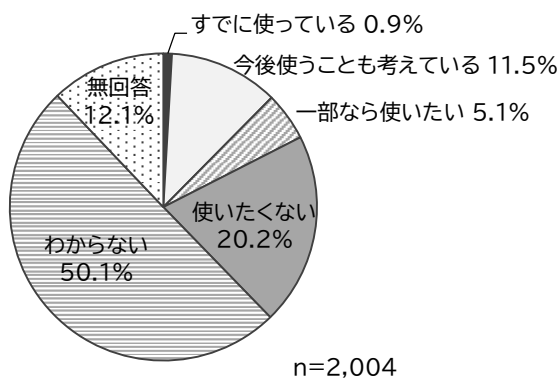
障害等の別にみると、“愛の手帳”、“発達障害がある”では、「今後使うことも考えている」が 25%を超えています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
すでに使っている	1.7	0.8	6.3	2.3	0.0	5.1	5.2
今後使うことも考えている	11.3	8.0	28.6	12.2	7.7	17.9	29.3
一部なら使いたい	4.1	3.6	3.7	6.6	4.6	5.1	3.4
使いたくない	15.5	17.2	7.8	15.8	12.3	15.4	6.0
わからない	48.1	45.4	45.7	54.3	66.9	43.6	50.9
無回答	19.2	25.0	7.8	8.9	8.5	12.8	5.2

《前回調査》

問44 あなたは、「成年後見制度」を使うことについて、どう思いますか。(単数回答)

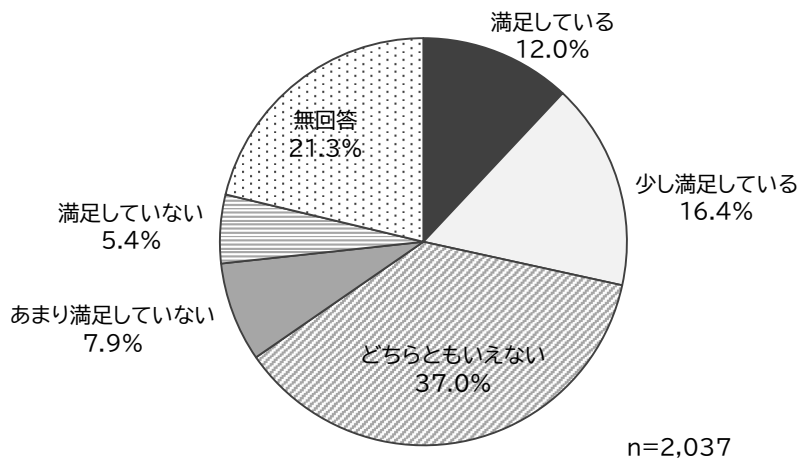


2-11 今後の障害者施策について

(1) 東大和市の障害者福祉施策について

問 44 東大和市の障害者福祉施策について、どうお考えですか。(1つだけに○)

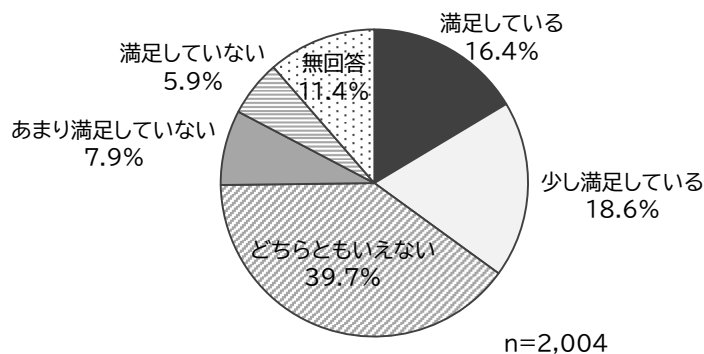
「どちらともいえない」が 37.0%と最も高く、次いで「少し満足している」(16.4%)、「満足している」(12.0%)、「あまり満足していない」(7.9%)の順となっています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
満足している	12.0	11.2	13.4	16.8	5.4	5.1	7.8
少し満足している	16.4	16.8	14.1	15.5	20.0	15.4	14.7
どちらともいえない	37.0	34.0	43.1	38.2	52.3	33.3	44.8
あまり満足していない	7.9	7.0	8.6	12.5	5.4	12.8	11.2
満足していない	5.4	3.8	9.7	8.6	6.2	12.8	14.7
無回答	21.3	27.2	11.2	8.6	10.8	20.5	6.9

《前回調査》

問 45 東大和市の障害者福祉施策について、どうお考えですか。(単数回答)



(2) 重要だと思ふ施策

問 45 障害者が地域で自立して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(重要だと思ふこと5つに○)

「障害への理解促進」が40.1%と最も高く、次いで「保健・医療の充実」(32.5%)、「経済的支援の充実」(29.3%)、「医療費助成制度の充実」(23.7%)の順となっています。

障害等の別にみると、“精神障害者保健福祉手帳”、“発達障害がある”では、「障害者の理解促進」が55%、「雇用・就労支援の充実」は35%を超えています。“難病患者福祉手当”、“高次脳機能障害がある”では「医療費助成制度の充実」が40%、“精神障害者保健福祉手帳”、“難病患者福祉手当”、“高次脳機能障害がある”では、「経済的支援の充実」が40%を超えています。「相談支援体制の充実」は、“精神障害者保健福祉手帳”、“発達障害がある”では25%前後となっています。

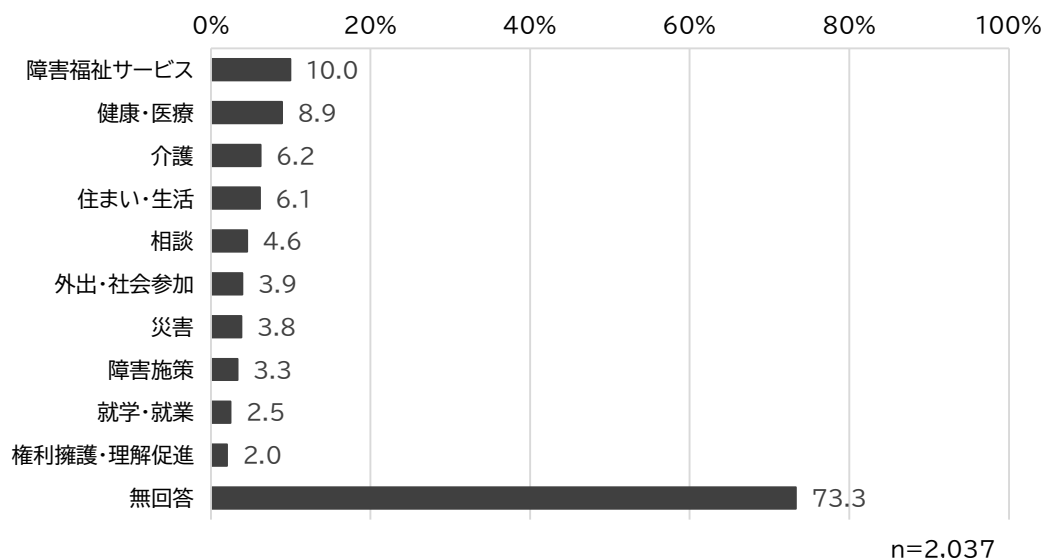


	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	難病患者 福祉手当	高次脳 機能障害 がある	発達障害 がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
障害への理解促進	40.1	32.8	53.5	56.9	47.7	38.5	60.3
保健・医療の充実	32.5	30.7	27.1	38.8	47.7	46.2	34.5
保育・療育・教育の充実	7.1	4.9	14.1	8.6	11.5	2.6	21.6
雇用・就労支援の充実	18.2	10.4	28.6	37.5	30.8	15.4	44.0
ホームヘルプサービス等の充実	16.6	17.4	16.0	13.5	16.9	23.1	12.1
短期入所の充実	7.7	7.2	13.4	4.9	6.9	10.3	12.9
日中の通所施設の整備	9.4	8.2	15.2	12.2	3.1	15.4	15.5
グループホームの整備	8.7	3.7	36.4	7.2	6.2	2.6	27.6
入所施設の整備	13.5	13.0	19.7	9.9	14.6	30.8	19.0
相談支援体制の充実	14.9	12.6	16.4	24.0	14.6	20.5	27.6
コミュニケーション支援の充実	9.7	6.3	17.1	15.5	15.4	0.0	17.2
福祉用具・補装具等の充実	9.1	12.7	1.9	2.3	3.1	10.3	3.4
居住支援まいの確保等の充実	10.9	8.7	10.4	18.4	16.9	5.1	14.7
医療費助成制度の充実	23.7	23.4	10.0	29.9	40.0	43.6	16.4
権利擁護・成年後見制度の充実	2.9	1.6	7.1	3.9	4.6	0.0	6.0
移動手段確保のための施策の充実	10.8	12.4	7.4	6.6	10.0	15.4	7.8
施設通所者の工賃向上の取組み	5.3	3.3	10.8	9.2	4.6	12.8	9.5
障害特性に応じた情報保障	7.6	5.8	11.2	12.8	6.2	12.8	21.6
経済的支援の充実	29.3	25.0	25.3	44.1	47.7	41.0	38.8
福祉人材の育成	10.8	9.2	16.4	11.5	13.1	12.8	19.0
生涯学習・余暇活動支援の充実	5.1	3.5	12.3	5.3	6.2	5.1	15.5
建物・道路等のバリアフリー化	14.2	17.7	3.3	6.6	18.5	15.4	4.3
交通機関や交通施設の改善・整備	16.5	18.2	7.1	12.5	27.7	17.9	7.8
防犯・防災対策の充実	7.9	7.7	5.6	10.2	8.5	12.8	1.7
災害時要配慮者対策事業	11.3	11.1	9.3	14.8	10.0	17.9	6.0
障害者等の虐待防止対策事業	7.3	5.0	16.0	10.9	4.6	5.1	10.3
その他	2.2	2.2	2.2	3.0	0.8	2.6	0.9
無回答	22.1	28.2	12.3	8.9	10.8	10.3	6.0

2-12 市の取組みへのご意見、ご要望等

問 46 障害福祉サービスや制度、東大和市の取組みについて、ご意見、ご要望等がございましたらご自由にお書きください。

無回答を除くと、「障害福祉サービス」が 10.0%と最も高く、次いで「健康・医療」(8.9%)、「介護」(6.2%)、「住まい・生活」(6.1%)の順となっています。



	全体	手帳所持・手当受給の状況(調査票配付時)				問6による回答(内数)	
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	難病患者福祉手当	高次脳機能障害がある	発達障害がある
<回答者数>	2,037	1,334	269	304	130	39	116
介護	6.2	7.5	3.0	4.6	3.8	10.3	3.4
住まい・生活	6.1	4.5	7.4	12.2	6.2	10.3	11.2
健康・医療	8.9	8.8	4.8	13.5	8.5	2.6	6.0
就学・就業	2.5	0.8	5.9	6.6	2.3	0.0	9.5
外出・社会参加	3.9	3.4	4.5	6.3	2.3	7.7	3.4
障害福祉サービス	10.0	9.7	10.4	13.2	3.8	17.9	12.1
相談	4.6	3.5	4.5	9.9	3.1	2.6	6.0
災害	3.8	3.8	4.5	3.3	3.8	7.7	6.0
権利擁護・理解促進	2.0	1.0	3.0	5.3	2.3	5.1	6.0
障害施策	3.3	2.5	4.8	5.9	3.1	12.8	6.9
無回答	73.3	74.4	74.0	63.8	83.1	71.8	67.2

(1) 身体障害者

①介護

- 老人ホームへの入所などを、もっと早くしてほしい。
- 介護の認定に時間(日数)がかかり過ぎませんか。
- 認知症の夫と生活しているが対応が難しい。相談会に参加したりしているが、どうしてよいかまったくわからない。
- 介護度の判定基準が不明瞭(具体的な困難さをどの程度理解して判定されているのか、経緯を説明してほしい)
- 支給される大人用おむつの支給要件が厳しいと思う。

②住まい・生活

- 障害を患い、働けなくなってしまった。これから先どうしたらよいのかわからない。
- 生活が苦しい。デイケア料金は介護の方で、1回 2,000 円位かかるので大変です。医療なら費用が抑えられるのと思う。
- 障害になった時の医療費がまだ借金として残り生活が苦しい。
- 障害年金や市の手当(給付金)だけでは生活が苦しい。
- 住まいの階段に手すりをつけてほしいです。
- ゴミの回収場所が遠く、困っているが自宅前回収の相談をしても改善されない。

③健康・医療

- 医療直結型健康センター(リハビリテーション施設、温水プール、ジム、フィットネス等)の設置
- 市内に病院の専門科がないので立川の病院へ行く。交通費がかさむ。
- 東大和の医療機関で、障害のある人がその病院等のかかりつけを希望、定期的に通院している場合、カルテや診察券等に記載して周知してほしい。
- 災害になり交通機関が不通になった場合、透析患者は透析を行わないと命に直結する。
- 質の高い医療従事者がほしい。質の高い家庭医がほしい。
- リハビリテーション時間の拡大
- 難病についての専門的知識・対応の充実した医療機関をつくってほしい。
- 通院が困難な障害者のため、症状に応じた在宅医療制度の拡大と推進を望む。
- リハビリテーションを受けられる機関・施設を増やしてもらいたい。
- 医療機関もトイレがバリアフリーでなかったり、そもそも入口から車いすが入れなかったりすることがあるので、市内の医院を調査してほしい。

④就学・就業

- 介助の制度のない私立大学等への進学に対して、介助員を雇う際の補助を考えてほしい。いつまでも、家族が大学まで行って助けることになってしまうので。
- 重度の障害があるため、就労は厳しい状態です。しかし、住宅でのパソコン等(簡単なもの)で少しでも本人が責任を感じながらできる軽作業がないかと探しています。

⑤外出・社会参加

- バスの本数(南街行き)の増加を願う。
- ちょこバスは本数が少ないし、有料なので利用しにくい。
- ガソリン費助成のアップをお願いいたします。
- ガソリン費助成事業について、月 30 リットルですが、3か月合わせて 90 リットルの方法も提案します。
- 市庁舎駐車場の障害者駐車場のスペースが不足している。
- 歩道の整備が悪すぎです。とても車いすで、ひとりでは外出はできません。
- 体育館個人利用が無料になると嬉しい。障害者スポーツ指導員の資格を持った人はいますか。
- 公民館にエレベーターをお願いします。
- 鉄道各駅のホームドアの設置を実現してほしい。
- 身体障害者の交通の利便性を、もう少しよくしていただければと思います。バス停をもっと停車数を増やす等。路上通行上、つかまるところがほしい。
- 公園のトイレを和式から洋式に変えてほしい。
- 買い物の際、交通機関利用が不便。市とスーパーが提携して、集団でバスが利用できることを希望。
- 外出ヘルパーを利用したくても、自分の運転する自動車を使えないことが不便。駐車場までの移動、車いすの積み下ろしを手伝ってほしい。
- 公共交通機関が使えないため、通院時タクシーを利用しているが、金銭的負担が大きい。
- 都の交通機関は無料なのにモノレールは有料。無料化を働きかけてほしい。
- タクシー券が全然足りないので、増やしてほしい。
- タクシー券について、500 円券だけではなく 100 円券があると助かります。
- 手の障害の人にはタクシー券がいただけないので困ります。
- 選挙投票に関して、期日前投票にさえ行けない人もいることを考慮していただき、自宅投票、回収等を考えてもらえないものでしょうか。

⑥障害福祉サービス

- 車いす利用者ですが、購入・メンテについて、所得条件をやめて、一部でも補助していただきたい。
- 介護が必要になった時、自宅に来ていただけるヘルパーさんの充実をお願いしたい。最後まで自宅で生活したいので。
- 高齢者に給食サービスがほしい。安価で簡単な食事も選択できるといいと思います。
- ガイドヘルパー、ショートステイを利用したいが介護人が少ないため受け入れてもらえない。
- 東大和市内に入所施設があれば、安心して預けられる。グループホーム等は障害の程度によって受け入れてもらえないし、費用がかかる。
- 日常生活用具給付事業の拡充を要望します。
- 三輪自転車を福祉サービスで買えるようにしてほしい。
- 障害者の介護用具(車いす、入浴イス)の修繕、修理。市の障害福祉サービスを経由しなかった個別に購入した用具に補助費用がまったく支給されないのは困る。経済的に苦しいので申請しているので最大限の援助がほしい。
- 重度心身障害のショートステイ先が限られた施設になると情報は得ているのですが、「なかなか入れない」と多くの方から聞き、利用していません。受け入れの確保とサービスの向上があれば、利用させていただきたいです。

⑦相談

- 障害福祉サービスの相談をどこでしているのが理解できない。
- どのようなサービスがあるのか、対象者や具体的な内容をわかりやすく情報発信してもらいたいです。
- 行政から直接障害者に対して各種情報を提供してほしい。直接とは郵送、電話、訪問など。
- 福祉サービス内容等の情報を知る機会や場所についてよくわからない。
- 病状に応じて入れる入所施設や利用費用や手続き等について、詳しい案内があればと思います。
- 市役所の窓口等ではマスクのまま対応することが多いと思う。聴力障害者が相談にもう少し配慮があってもよいと思う。
- 役所の窓口の担当者によって、提供していただける情報やサービスの内容、グレードに差が出る場合があります。
- 市から送付される文書の内容がいつもわかりづらい。
- 市報の中で障害福祉に関するコーナーを定期的に同じ紙面に載せてほしい。
- 障害者福祉サービスとして、訪問相談員制度などできるとよいと思う。
- スクールカウンセラーと話し合いをした時もありましたが、もう少し専門的な意見を述べていただける特別支援学校との意見交流があればよかったと思う。

⑧災害

- 防災無線放送の音声は聞こえるがはっきりと聞き取れない。
- 防災無線が聞きにくく、家の中にいると聞こえない。メール等による周知を考えてほしい。
- 先日の台風の時、市のスピーカーで避難等の連絡がありましたが、各自の判断に委ねられても避難が難しい。
- 災害時、手助けが必要な家の把握は市役所でされていますか。市役所が把握してくれれば心強いです。
- 災害マップがよくわからないので個別に説明をしていただきたい。
- 災害時、手助けがなければ避難できません。たとえ避難できたとしても車いす対応のトイレなど考えると難しく思います。
- 停電、断水、電話不通の時、人工透析患者の救済計画についてあらかじめ知りたいと思います。
- 災害時に障害者の避難場所を明確にしてほしいと思います。
- 災害時の避難手段の確保と災害発生後の服薬の確保、医療機関受診の確保について、体制を整えていただきたいです。
- 今年の夏の台風で、避難所へ行くのも利用するのも「できない」ということがわかりました。車でなければ行けない。必要最低限の荷物が多過ぎる。全介助なので、避難所に行けたとしても床の上ではいろいろな面で無理がある。
- 個人的には、災害時の避難所が大丈夫なのか不安です。特に東大和の公共施設のトイレを早急に改善してほしいと思います。

⑨権利擁護・理解促進

- エレベーターで優先されることは年に1～2回しかありません。日本人の民度、モラルの向上を期待します。
- 各々の障害についての理解が進んでいないので日常的に啓発活動をしてほしい。
- ヘルプカードのPRと普及で外出しやすい環境をつくる。
- 見た目は健康者に見える心臓病者はまわりの人に理解されづらく、つらい。無理がきかないことを認知してもらえるだけで普通に暮らせる。

⑩障害施策

- 私は、本当に困っている時に主人がいるという理由で、何も助けてもらえませんでした。昼に1時間でも自宅に来てもらいたかった。
- アンケートではなく話し合いの場を設けてください。
- 一人住まいなどが増え、孤立しています。何らかのコミュニティができるように、ふれあい広場ができればと考えます。
- 東大和市では政治に対する障害当事者参加がまだ圧倒的に足りないと思います。
- 障害が重いので本人は何も決められません。親がこの先いつまで面倒がみられるのか頭から離れません。とても不安です。
- 介護している家族への金銭的な補助を多くしてほしい。
- 障害のある子の兄弟姉妹、特に医療的ケアのある呼吸器のある子どもの兄弟姉妹に対して手を差しのべてほしい。
- 内部障害のため今は元気ですが、年を重ねた時に優先的に施設に入れると安心です。
- 障害者、ひとりになった場合が不安です。
- 施設の人材不足は深刻です。障害に対応できるスキルのある人材確保をお願いしたい。
- 介護をしている方々をつなげる取組みを進めてほしい。
- 障害者も多様化しているので、一人一人の事情、経緯に寄りそった施策をきめ細かく推進してほしいです。
- 同じ障害であっても意向はさまざまだと思いますが、どんな行き先があるのか、どんな可能性があるのか、フローチャートのような手引書があればと思います。
- 肢体不自由児の親の会として、市への要望書の提出、ヒアリングの機会をいただきたい。誰もが住みやすい東大和市の町づくりに考えを述べられる機会をいただきたい。
- 障害者手帳を申請した時点で何が適用するかを教えてください。都度申請に行くのが大変です。
- 一般的な病気だけでなく指定外の難病など、サービスを受けづらい人々へのサポートについてさらに取組んでいただきたい。
- 同じ病気の人々と会っていろいろなお話が聞けたらとても参考になると思いました。
- これ以上補助費を削減しないでください。
- 他地域との比較資料を公開してほしい。障害者施策が進んでいるのか遅れているのか、他にどのようなサービスがあるのかわからない。
- 障害者手帳の住基カード等と同じ大きさにして、いつでも一体した形で持って歩けるようにしてほしい！そしてすぐ支給してほしい！
- 手話講習会のクラスを増やしてほしい。

(2) 知的障害者

①健康・医療

- ・ 医療的ケアが必要な人に対するサービスが不足している。

②就学・就業

- ・ とにかく学校が遠くて困っている。片道1時間半かかることもある。
- ・ 市内の特別支援学級がある学校が2校しかないの少ないと思います。
- ・ 就学に関しての情報がどこで手に入るのかわかりにくい。どこへ相談していいか不明。
- ・ 施設通所者の工賃が高くなってほしいです。

③外出・社会参加

- ・ 移動支援をしてくれる事業所が少ない。支給時間数も少ない。自由に外出できないのはとてもつらいことです。

④障害福祉サービス

- ・ 放課後等デイサービスが少ないと思う。入居施設、グループホームなどを増やしてほしい。
- ・ ショートステイは、東大和市ではなく東村山市まで行っています。特別支援学校に羽村市まで行っています。近くにないのが何かと不便です。
- ・ 学校を卒業してからの行く場所も少なく、不安です。卒業後もデイサービス利用できる場所もあると、とても助かります。

⑤相談

- ・ 毎年の市の福祉情報を冊子にいただけると、いろいろなサービスや相談が受けやすいと思います。
- ・ 障害のある方の家族の会が少ない。

⑥災害

- ・ 大きな災害が発生した時、どの時点で避難場所に行くか、判断がすぐにできない。誰かに声をかけていただかないと行動につなげられない。不安がいっぱいである。

⑦権利擁護・理解促進

- 自分から声をかけるのは難しいので、まわりの人が理解してほしい。
- 障害者差別解消法の理解を広めてほしい。
- 公共の乗り物でもちょっと声を出しただけでじっと見られたりするため、外出時や災害で避難所を利用しなければならない時などは周囲のご迷惑を考えるととても悩みます。

⑧障害施策

- 親が高齢になり病気になった時、自分に入所できる場所があれば、親子で安心して生活していける。
- 今は両父母でみていますが、高齢で今後のことはどうすればよいかわからない。本人は言葉もしゃべれないので本当に市の職員にお願いするよりないと思います。
- 共同生活が困難な障害者に対して、両親が死去した後の生活の場や支援サービスを充実してほしい。
- 障害を持つ人たちにとって最も大切なことは、安心して人生を全うできる地域をつくることだと思います。正しく現場や当事者の意見をよく聞き、予算を組み立て使うことが絶対必要だと思います。
- 重度の障害を持つ方々の入所できる施設がほしいです。
- 家族が入院した時など自宅でひとりでは過ごせないため、一時的に生活できるような場所、支援者がいてほしいです。
- 親が亡くなってからの生活ができるのか不安。グループホームが少ない東大和市で心配が多い。
- 将来的にはグループホーム等で自立してほしいと考えますが、本人が希望、要望を訴えられない、表現できないため、家族がいなくなった時がとても不安です。
- 障害児を育てやすい市になってほしいと思います。
- 他市では医療ケア児も一般の保育園に入れるところもあるが、東大和市では入れていない。予算を組んでもらい、すぐにでも保育園に入らせたい。また災害の際に、医療機器の充電など支援が必要。障害者専用のスペースの確保も充実していただきたい。
- 年齢に関わらず障害を持つ家族同士のコミュニケーションを取れるようなサークルの場が増えたらと思います。

(3) 精神障害者

①住まい・生活

- 今経済的に困っています。どうすればよいかわかりません。
- 精神の患者さんが、生活の土台となるアパート等の整備(安く借りられる)とグループホーム等の整備をお願いします。
- 必需品の買い物で精いっぱい、突然の出費に耐えられない。

②健康・医療

- 内科や歯科に行く度に、医療券を市役所に取りに行かなくてはいけないのがとてもつらい。
- 「ウェルカム」の中に、医療知識を持った方を定期的に從事させることはできないでしょうか。

③就学・就業

- 障害者雇用の賃金が低く、ひとり暮らしでは貯金まで考えられない。
- 就労先でも障害者雇用は初めてで、理解に欠けています。この先も続けていくのは難しいです。“はーとふる”はどうしてフォローしてくれないのでしょうか。
- 精神障害者の就労先として、清掃やスーパーの品出しなど、簡単な作業を黙々とやる仕事が多く、自分の能力、特性を生かして、やりがいを持ち続けられる仕事が少ないと感じます。
- 障害の種類によっては就労するというより「チームで仕事をする」方が安心できる。そういった多様な働き方を作り出していく努力が、東大和市の働ける障害者・高齢者の生きがいにつながっていくと考えます。

④外出・社会参加

- 精神障害者も福祉タクシー券が必要。
- 精神障害なのでバスは半額で助かっています。電車も半額にならないでしょうか。
- コミュニティバス(ちょこバス)を無料にしてほしい。買い物等使用したいが、今のルート・本数だと利用できなく困っている。
- 独居老人やひきこもり、孤独死があるので外に出るきっかけを、どのような形でもいいので市役所が告知してほしい。

⑤相談

- 上から目線ではない、障害者の立場に立った真摯な対応。
- 障害者のための相談窓口の充実。個室での対応をお願いしたい。
- 相談する時、個人情報心配。個室で職員と対応できるようにしてほしい。
- 発達障害を持ちながら家庭を持ち、子どもを持ち、収入が不安定な中、家族を支えていけるのか。同じ環境の人と話せる場がほしい。

⑥権利擁護・理解促進

- 目に見える障害に対する周囲の理解と違い、精神障害に対する理解や支援は、あまり進んでいないように感じます。
- 先進国の中でも日本は、障害者を社会で受け入れる、本人が出ていける体制づくりが非常に遅れている。
- 精神障害者に対する理解が、職員にとっても不足している。症状に波があり、よい時もあり、急に悪くなる時があることを理解してほしい。
- 市役所の精神障害の担当者が、あまりにも障害者についての知識がない。

⑦障害施策

- 精神障害者にも旅行や集まり、コミュニティの発展が必要。
- 高齢者への福祉サービスは多いが、若年性のサービス情報が少ない。
- 障害者手帳用診断書費用の助成。
- 両親がいなくなった時のために充実した制度を望む。
- 相談に行くと話はするが手助けしてくれない。障害に対しての情報が少な過ぎる。市が作業所の利用料を支払っていることを、利用者は知らないと思う。
- 定期的に他の市とのイベントとかを企画してみたら楽しそう。(交流の場、情報交換の場になって。)
- ひきこもり気味になっており、昼夜逆転生活を送っているので、夜にも相談、サービスサポートしてもらえるようにしてほしい。
- 親が高齢で働けなくなって、障害者の私の面倒をみられなくなったらひとり暮らしになるが、障害者のひとり暮らしの支援をもっと手厚くしてほしい。
- 定期的な障害者向けのコミュニケーション。同じ悩みを持つ障害者の方との意見交換。
- 病気や障害になった時何もわからない。いろいろな支援を受けるのに申請を自分から知っていないと受けられない。特に金銭面での援助は教えてもらえない。自分から知って手続きするのがとても大変。手続きそのものも複雑でわかりづらい。

(4) 難病患者

①健康・医療

- 難病の給付金申請の度に、市役所窓口へ行くのが大変(有給を取らなければならない)なので、郵送対応してほしい。

②相談

- 月に2回位は土曜日に福祉課窓口を開けてもらいたい。近い先の住居、経済的、病気、いつどうなるのか不安です。

③障害施策

- 他の市や区と比較すると東大和市の支援額が低いようで、所得が低い家庭には、もう少し多くいただけるとよいです。
- 障害者手帳がなくても、難病患者が交通機関の割引サービスを受けられたらいいと思います。
- 難病手当が少ない。
- ひとり暮らしの方が多いため、過ごしやすい場所や街づくりを望みます。
- 障害手帳などを持っている方に対しては障害年金のサポートやその他障害福祉サービスがある程度充実していると思います。しかし、私のように難病(特に内部疾患)で働きたくても身体的に厳しい人への経済的な支援は何もないと感じます。

第3章

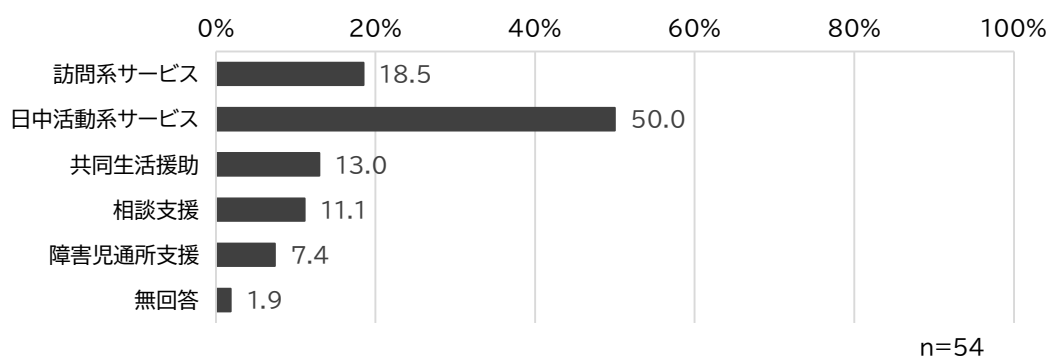
障害サービス事業者等向け調査 集計結果

3-1 事業所の基本情報

(1) 提供サービス

問1 提供サービス

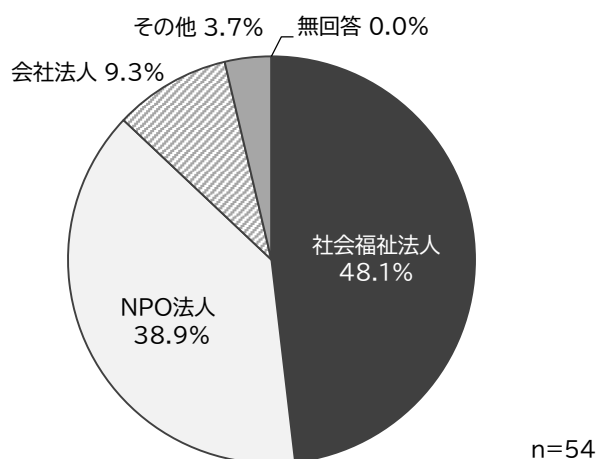
「日中活動系サービス」が50.0%、「訪問系サービス」は18.5%、「共同生活援助」は13.0%、「相談支援」は11.1%、「障害児通所支援」は7.4%となっています。



(2) 法人種別

問2 法人種別

「社会福祉法人」が48.1%、「NPO法人」は38.9%、「会社法人」は9.3%、「その他」は3.7%となっています。

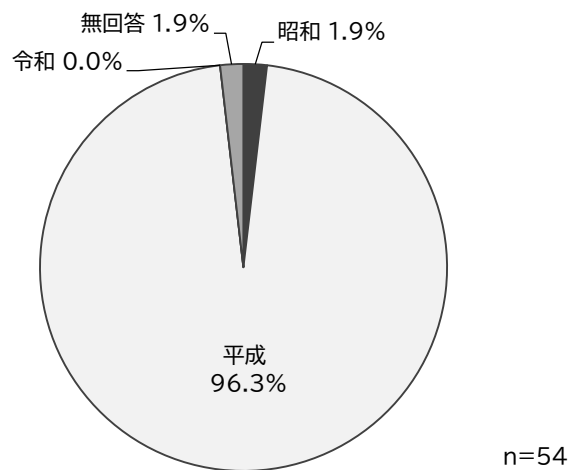


	全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
<回答数>	54	10	27	7	6	4
社会福祉法人	48.1	20.0	55.6	42.9	50.0	50.0
NPO法人	38.9	30.0	40.7	57.1	33.3	25.0
会社法人	9.3	30.0	3.7	0.0	0.0	25.0
その他	3.7	20.0	0.0	0.0	16.7	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 事業所開設時期

問3 事業所開設時期(年号)

「平成」が 96.3%、「昭和」は 1.9%、「令和」は 0.0%となっています。



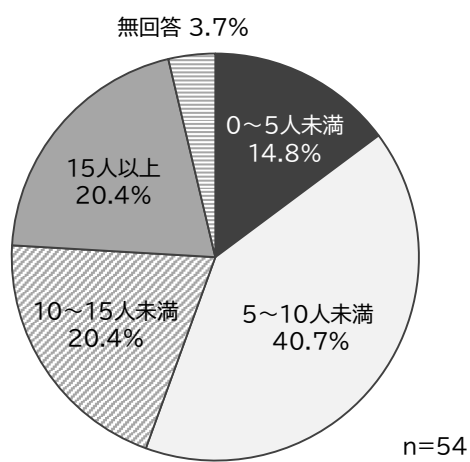
	全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
<回答数>	54	10	27	7	6	4
昭和	1.9	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0
平成	96.3	100.0	92.6	100.0	100.0	100.0
令和	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.9	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0

(4) 職員

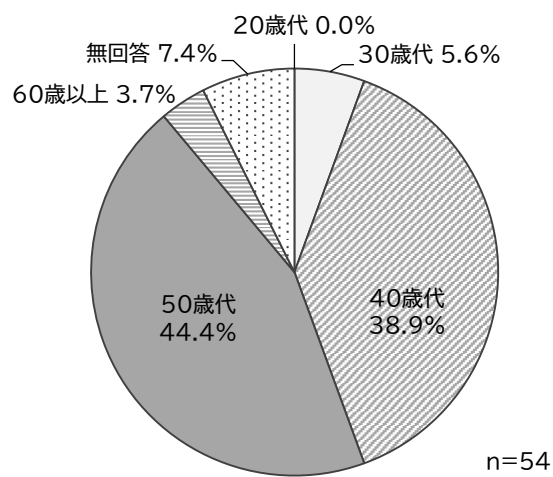
問4 人数、平均年齢、平均勤続年数
※常勤・非常勤の合計

人数は、「5～10人未満」が40.7%と最も高くなっています。平均年齢は、「50歳代」と「40歳代」が40%前後となっています。平均勤続年数は、「5～10年未満」が35.2%と最も高く、次いで「0～3年未満」(24.1%)、「3～5年未満」(22.2%)の順となっています。

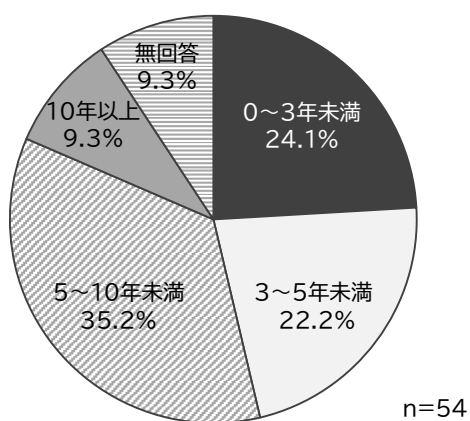
【人数】



【平均年齢】



【平均勤続年数】



<回答数>		全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
		54	10	27	7	6	4
人数	0～5人未満	14.8	0.0	7.4	14.3	66.7	25.0
	5～10人未満	40.7	10.0	51.9	57.1	16.7	25.0
	10～15人未満	20.4	20.0	29.6	14.3	0.0	0.0
	15人以上	20.4	60.0	7.4	14.3	0.0	50.0
	無回答	3.7	10.0	3.7	0.0	16.7	0.0
平均年齢	20歳代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0
	40歳代	38.9	20.0	48.1	42.9	33.3	25.0
	50歳代	44.4	50.0	44.4	57.1	16.7	25.0
	60歳以上	3.7	10.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	無回答	7.4	20.0	7.4	0.0	16.7	0.0
平均勤続年数	0～3年未満	24.1	10.0	25.9	28.6	33.3	25.0
	3～5年未満	22.2	10.0	33.3	14.3	0.0	75.0
	5～10年未満	35.2	40.0	25.9	57.1	16.7	0.0
	10年以上	9.3	20.0	7.4	0.0	16.7	0.0
	無回答	9.3	20.0	7.4	0.0	33.3	0.0

(5) 同一法人で実施している他の事業

問5 同一法人で実施している他の事業
※障害福祉サービス等以外

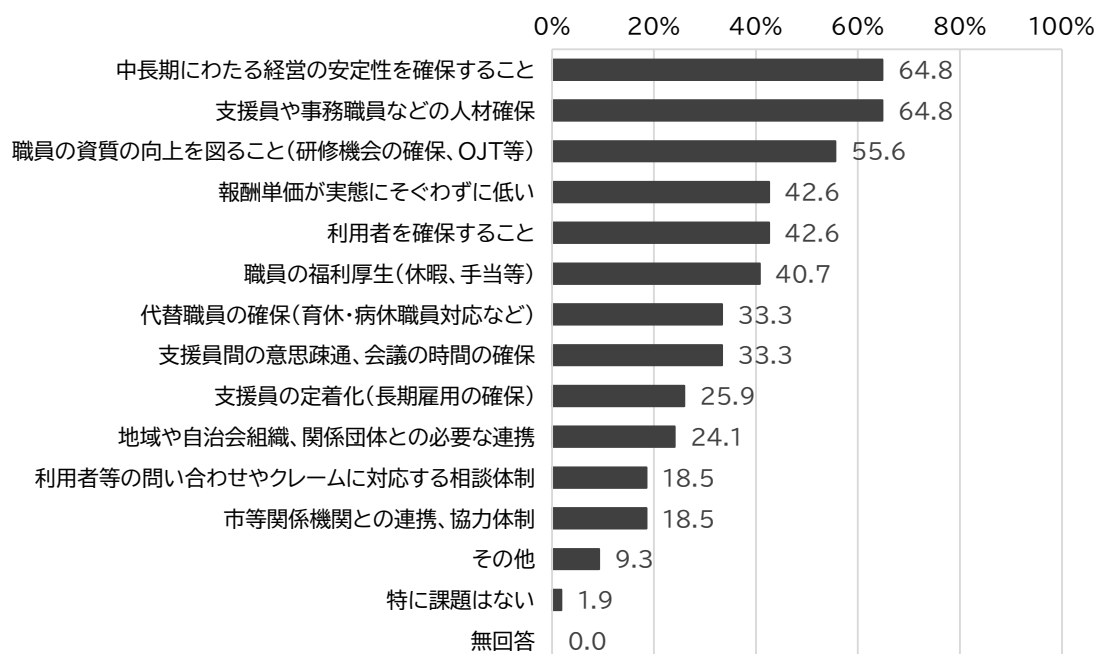
同一法人で実施している他の事業	
訪問系サービス	訪問介護(4件)、居宅介護支援(3件)、自立援助サービス(自費)
日中活動系サービス	特別養護老人ホーム(5件)、ケアラー事業
共同生活援助	賛助会活動(地域住民等との交流の機会の創出)
相談支援	居宅介護支援、訪問介護、特別養護老人ホーム 生活支援コーディネーター、見守り、声かけ事業 一般相談、ピアカウンセリング、有償運送事業、点字翻訳、有償介助 地域福祉権利擁護事業、生活福祉資金貸付、応急小口 ファミリー・サポート・センター事業

3-2 事業運営及び経営状況について

(1) 運営及び経営上の課題

問6 貴事業所の運営及び経営上の課題はありますか。(あてはまるものすべてに○)

「中長期にわたる経営の安定性を確保すること」と「支援員や事務職員などの人材確保」が64.8%で最も高く、次いで「職員の資質の向上を図ること(研修機会の確保、OJT等)」(55.6%)の順となっています。



n=54

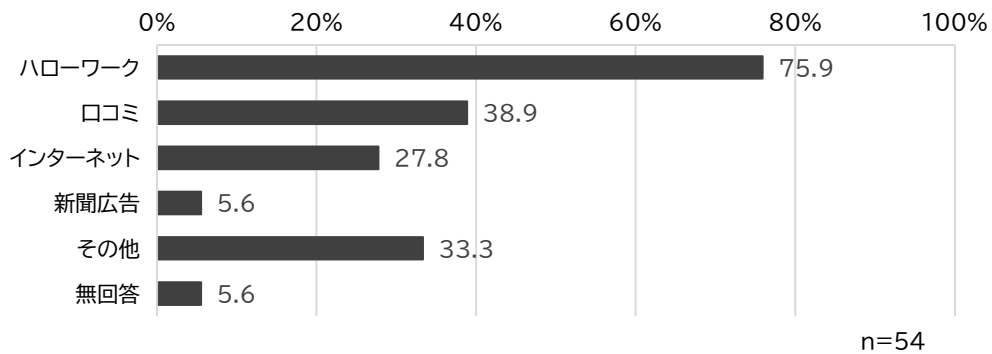
	全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
<回答数>	54	10	27	7	6	4
中長期にわたる経営の安定性を確保すること	64.8	60.0	63.0	85.7	33.3	100.0
報酬単価が実態にそぐわずに低い	42.6	20.0	37.0	28.6	83.3	100.0
支援員や事務職員などの人材確保	64.8	80.0	44.4	85.7	66.7	100.0
代替職員の確保(育休・病休職員対応など)	33.3	50.0	7.4	57.1	66.7	100.0
職員の資質の向上を図ること(研修機会の確保、OJT等)	55.6	40.0	59.3	57.1	33.3	100.0
支援員の定着化(長期雇用の確保)	25.9	10.0	22.2	42.9	50.0	25.0
支援員間の意思疎通、会議の時間の確保	33.3	10.0	40.7	42.9	0.0	75.0
職員の福利厚生(休暇、手当等)	40.7	40.0	37.0	57.1	0.0	75.0
利用者を確保すること	42.6	30.0	70.4	14.3	0.0	0.0
利用者等の問い合わせやクレームに対応する相談体制	18.5	10.0	11.1	42.9	16.7	25.0
市等関係機関との連携、協力体制	18.5	10.0	22.2	28.6	0.0	25.0
地域や自治会組織、関係団体との必要な連携	24.1	0.0	25.9	42.9	0.0	75.0
その他	9.3	0.0	14.8	0.0	0.0	25.0
特に課題はない	1.9	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 人材の募集

① 募集方法

問7 人材の募集はどのような方法で実施していますか。(あてはまるものすべてに○)

「ハローワーク」が 75.9%と最も高く、次いで「口コミ」(38.9%)、「その他」(33.3%)、「インターネット」(27.8%)の順となっています。



	全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
<回答数>	54	10	27	7	6	4
ハローワーク	75.9	60.0	85.2	71.4	50.0	100.0
新聞広告	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
インターネット	27.8	20.0	22.2	42.9	33.3	50.0
口コミ	38.9	30.0	25.9	71.4	33.3	75.0
その他	33.3	30.0	29.6	28.6	16.7	100.0
無回答	5.6	20.0	3.7	0.0	16.7	0.0

【最も効果がある募集方法】

- ハローワーク
- 常勤職員等ある程度専門性が求められる募集は、ハローワークが一番効果がある。
- 定着率がよいのは口コミ。人数が多いのはインターネット
- 人材確保は困難を極め、ハローワークでもかなり長期間公開しなければ効果がない。
- 事業所入口等に募集ポスターを掲示

②募集で工夫していること

問8	人材の募集で工夫していること、これから取組みたいことはありますか。
----	-----------------------------------

【人材の募集で工夫していること】

- 短時間でもよいので仕事をしてもらう。
- 施設前に立て看板を立てる。
- 掲示板等に募集を貼る。職員や、知人への口コミ。
- 適切な福利厚生を用意。それを各種媒体で手を抜かず告知。
- 実習生等を受け入れ、興味を持つ人を増やす取組みをしている。
- 採用の案内を出す段階で、資格・経験等の要件や具体的な職務内容をある程度詳しく提示している。
- 事業所の作業内容をわかりやすく説明できるように書類をつくっている。
- 募集のポスター、チラシを作成し、配布している。
- 何度か利用者の方と関わりを持ち、前向きに進められるようサポートしている。
- 要望があれば、実際に体験してもらう。
- 併設型なのでまずはホーム利用者との関係を持ち、平等にサポートできるよう管理者が対応。

【これから取組みたいこと】

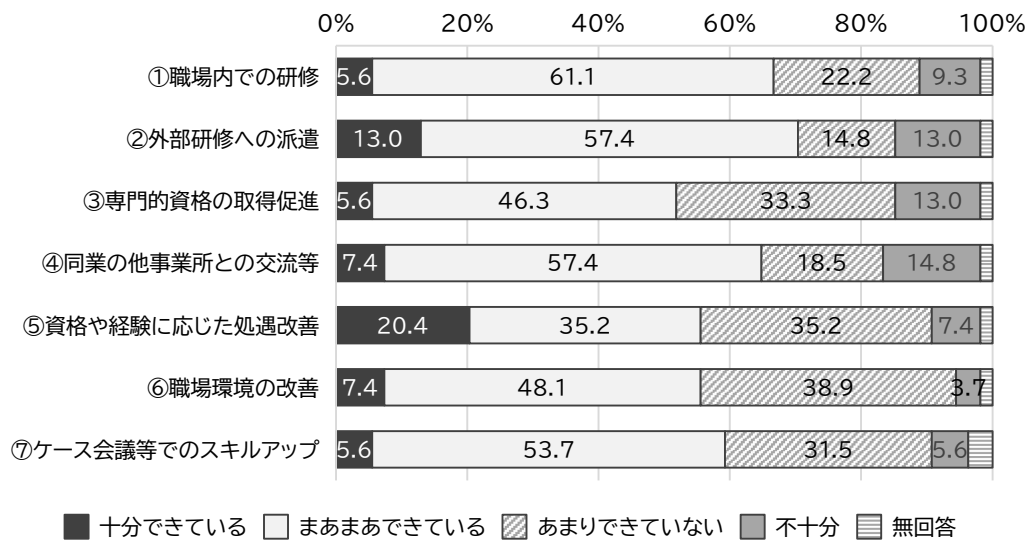
- ホームページ等の募集掲示
- チラシを作成、ポスティング
- 中途採用者だけでなく、新卒者を採用したい。
- ペーパーレス(事務負担軽減)。在宅での事務可能にする取組み(テレワーク)。
- 今まで以上に人(応募者)を見極める。
- 福利厚生をよくし、新たな人材が魅力的だと思える法人になれるよう取組んでいく。
- 多様な人材を確保するために、専門職にこだわらない求人方法等について考えていきたい。
- 大学等に出向き学生ボランティアを募集したい。
- 大学や専門学校などで、サークル活動として支援してもらう。
- 必要な人員はそろっているのに、全職員の福祉職としてのスキルアップに取り組んでいきたい。また、現状の人員体制の中で、工賃向上のための営業力を身につけていきたい。
- 家賃補助や、学生対象に奨学金の一部補助などを検討できれば。
- 夏の体験ボランティアを引き続き受け入れる。

(3) 人材育成や人材定着のための取組み

問9 人材育成や人材定着のための取組みについて、どの程度取組んでいますか。
(すべての項目について、項目ごとにア～エを選択して記載)

「十分できている」と「まあまあできている」を合わせた『できている』が60%を超えているのは、“②外部研修への派遣”、“①職場内での研修”、“④同業の他事務所との交流等”となっています。

「あまりできていない」と「不十分」を合わせた『できていない』は、「③専門的資格の取得促進」、「⑤資格や経験に応じた処遇改善」、「⑥職場環境の改善」が40%を超えています。



n=54

(4) 経営状況

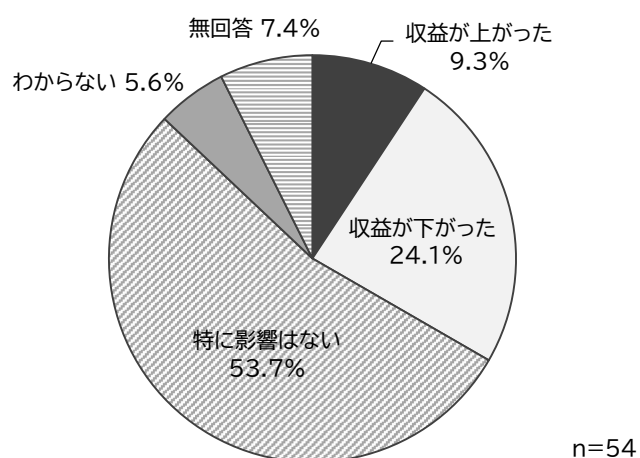
①報酬改定の影響

問10 平成30年度からの障害福祉サービス等報酬改定の影響はありますか。
(あてはまるもの1つに○)

※移動支援、日中一時支援は回答不要

「特に影響はない」が53.7%と最も高く、次いで「収益が下がった」(24.1%)、「収益が上がった」(9.3%)、「わからない」(5.6%)の順となっています。

事業別にみると、“相談支援”と“障害児通所支援”では「収益が下がった」が65%を超えています。

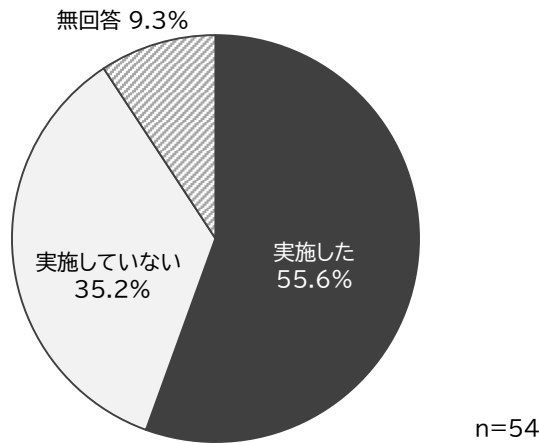


	全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
<回答数>	54	10	27	7	6	4
収益が上がった	9.3	10.0	7.4	0.0	16.7	25.0
収益が下がった	24.1	10.0	18.5	14.3	66.7	75.0
特に影響はない	53.7	50.0	59.3	85.7	16.7	0.0
わからない	5.6	20.0	3.7	0.0	0.0	0.0
無回答	7.4	10.0	11.1	0.0	0.0	0.0

②福祉・介護職員等特定処遇改善加算の実施状況

問 11 令和元年 10 月からの福祉・介護職員等特定処遇改善加算は実施しましたか。
 (あてはまるもの1つに○)
 実施していない場合は、その理由もお書きください。
 ※移動支援、日中一時支援は回答不要

「実施した」が 55.6%、「実施していない」は 35.2%となっています。



	全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
<回答数>	54	10	27	7	6	4
実施した	55.6	50.0	66.7	71.4	33.3	0.0
実施していない	35.2	50.0	18.5	28.6	66.7	75.0
無回答	9.3	0.0	14.8	0.0	0.0	25.0

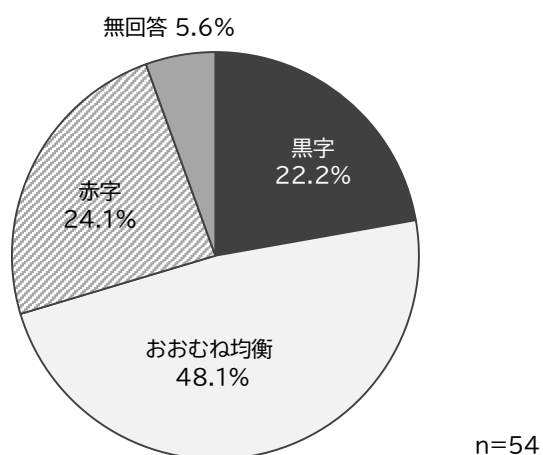
【実施していない理由】

- 対象ではないから。(3件)
- 事務手続きが面倒だから。(2件)
- 制度について知識不足、詳細を把握していない。(2件)
- 計画書の作成を行う時間がなかった。
- 法人の雇用形態、給与体系等の規定変更が必要である。

③平成30年度の経営状況

問12 平成30年度の貴事業所の経営状態は以下のうちどちらですか。
 (あてはまるもの1つに○)
 同一法人で複数の事業を実施している場合は、本調査票で回答している事業所についてお書きください。また、赤字である場合は、その理由もお書きください。

「おおむね均衡」が48.1%、「赤字」は24.1%、「黒字」は22.2%となっています。
 事業別にみると、“訪問系サービス”の「赤字」が50%と特に高くなっています。



	全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
<回答数>	54	10	27	7	6	4
黒字	22.2	20.0	18.5	28.6	16.7	50.0
おおむね均衡	48.1	30.0	55.6	57.1	50.0	25.0
赤字	24.1	50.0	14.8	14.3	33.3	25.0
無回答	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0

【赤字の理由】

- ・報酬単価が実態にそぐわず低いため。(2件)
- ・利用者の利用が見込みより少ない月が多かったため。(2件)
- ・開設したばかりで、利用者数が少ない、施設改修費がかかったため。(2件)
- ・単位数が低い家事援助が増加したため。
- ・事業所区分が2となり、十分な収入を確保できなかった。

(5) サービス提供状況

問 13 令和元年 10 月現在、貴事業所が提供しているサービスについて、①定員、②サービス提供者数、③今後の受入可能人数、④サービス提供者の障害種別、⑤サービス提供者の市内人数、市外人数、⑥利用者の増減(1年前と比較して)をご記入ください。
 ※訪問系サービスは、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援に分けて、相談支援は特定相談支援(計画相談)、一般相談に分けて、その他は、本調査で回答しているサービスについて記載してください。

今後の「受入可能人数」について、事業別にみると“同行援護”、“放課後等デイサービス”、“特定相談支援”が少ない状況にあります。一方、“就労継続支援B型”は多くなっています。

【回答数】

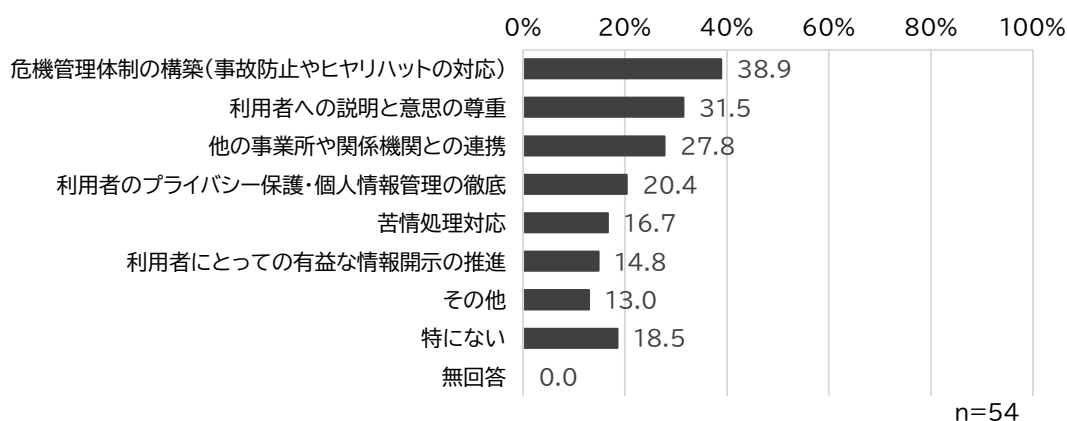
	回答数	定員	提供者数	受入可能人数	利用者の障害種別等				利用者の居住地		利用者の増減		
					身体障害	知的障害	精神障害	その他	市内	市外	増加	減少	変化なし
居宅介護	10	18	80	12	33	27	23		61	23	4		4
重度訪問介護	7	7	30	5	28	2			13	17	2		3
同行援護	4	8	27	1	28				26	2	1		1
行動援護	2	3	7		1	6			2	5			2
療養介護	2	92	92		92	78			7	85			2
生活介護	6	114	102	15	48	71	3		61	41	1	3	2
就労移行支援	1	10	1	9	1					1		1	
就労継続支援A型	1	10	3	7			3		2	1	1		
就労継続支援B型	13	220	228	74	55	107	98	2	179	70	4	5	2
自立訓練	2	30	12	10	1	4	7		10	2		1	
宿泊型自立訓練	1	14	9	5	2	6	1		5	4	1		
放課後等デイサービス	4	30	79	2		77	2		102	9	2	2	
短期入所	3	31	68	12	15	62			49	19	1	3	
共同生活援助	6	60	60	9	1	47	10		40	18	1	1	3
特定相談支援	5		454	2	149	120	212	12	416	38	3	1	1
一般相談支援	2		3			2	1		3				2
障害児相談支援	2		31	3	42	93	4	19	134	16	2		
移動支援	8	56	112		10	119	9		113	23	3		4
日中一時支援事業	2	3	23			23			23		1		1

3-3 サービス提供の課題について

問 14 貴事業所が提供しているサービスにおける①事業実施上の課題、②利用者支援での課題、③利用者からの苦情や相談について、ご記入ください。
(あてはまるものすべてに○)

①事業実施上の課題

「危機管理体制の構築(事故防止やヒヤリハットの対応)」が 38.9%と最も高く、次いで「利用者への説明と意思の尊重」(31.5%)、「他の事業所や関係機関との連携」(27.8%)、「利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底」(20.4%)の順となっています。

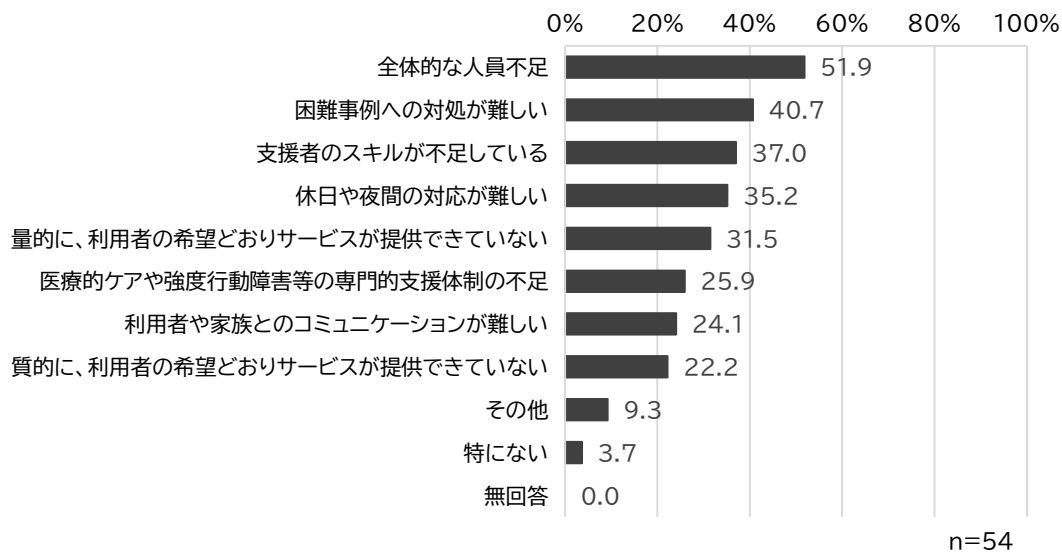


	全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
<回答数>	54	10	27	7	6	4
利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底	20.4	10.0	14.8	57.1	0.0	25.0
利用者への説明と意思の尊重	31.5	10.0	37.0	42.9	16.7	25.0
利用者にとっての有益な情報開示の推進	14.8	0.0	18.5	14.3	16.7	25.0
苦情処理対応	16.7	10.0	11.1	42.9	16.7	25.0
危機管理体制の構築(事故防止やヒヤリハットの対応)	38.9	40.0	37.0	42.9	16.7	75.0
他の事業所や関係機関との連携	27.8	30.0	25.9	28.6	16.7	75.0
その他	13.0	20.0	14.8	0.0	16.7	25.0
特にない	18.5	30.0	14.8	14.3	33.3	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②利用者支援での課題

「全体的な人員不足」が 51.9%と最も高く、次いで「困難事例への対応が難しい」(40.7%)、「支援者のスキルが不足している」(37.0%)、「休日や夜間の対応が難しい」(35.2%)の順となっています。

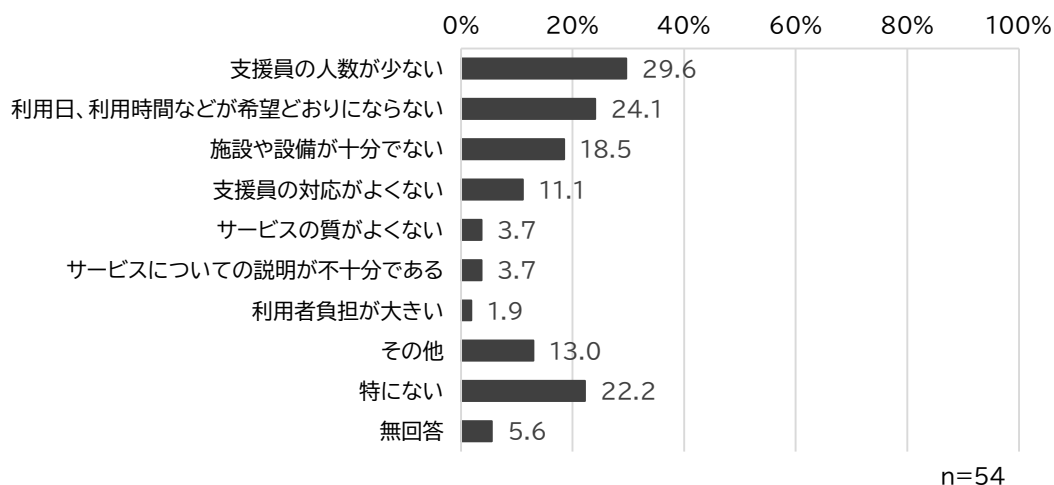
事業別にみると、人材不足は全事業に共通ですが、「困難事例への対応が難しい」は「日中活動系サービス」、「共同生活援助」、「相談支援」が高くなっています。「支援者のスキルが不足している」は「障害児通所支援」、「休日や夜間の対応が難しい」は「訪問系サービス」、「共同生活援助」、「障害児通所施設」で高くなっています。



	全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
<回答数>	54	10	27	7	6	4
量的に、利用者の希望どおりサービスが提供できていない	31.5	40.0	22.2	14.3	50.0	50.0
質的に、利用者の希望どおりサービスが提供できていない	22.2	0.0	25.9	14.3	16.7	75.0
利用者や家族とのコミュニケーションが難しい	24.1	10.0	22.2	42.9	16.7	50.0
困難事例への対応が難しい	40.7	10.0	48.1	42.9	50.0	25.0
休日や夜間の対応が難しい	35.2	70.0	18.5	42.9	33.3	50.0
支援者のスキルが不足している	37.0	10.0	40.7	28.6	33.3	100.0
医療的ケアや強度行動障害等の専門的支援体制の不足	25.9	20.0	33.3	14.3	33.3	25.0
全体的な人員不足	51.9	60.0	44.4	57.1	66.7	50.0
その他	9.3	0.0	14.8	0.0	0.0	25.0
特になし	3.7	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③サービス利用者からの苦情や相談

「支援員の人数が少ない」が 29.6%と最も高く、次いで「利用日、利用時間などが希望どおりにならない」(24.1%)、「特にない」(22.2%)、「施設や設備が十分でない」(18.5%)の順となっています。



<回答数>	全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
	54	10	27	7	6	4
利用日、利用時間などが希望どおりにならない	24.1	40.0	7.4	14.3	50.0	75.0
サービスの質がよくない	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	25.0
支援員の対応がよくない	11.1	10.0	7.4	28.6	16.7	0.0
支援員の人数が少ない	29.6	40.0	18.5	42.9	50.0	0.0
利用者負担が大きい	1.9	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
施設や設備が十分でない	18.5	0.0	33.3	14.3	0.0	0.0
サービスについての説明が不十分である	3.7	10.0	3.7	0.0	0.0	0.0
その他	13.0	0.0	14.8	14.3	16.7	25.0
特にない	22.2	20.0	29.6	14.3	16.7	0.0
無回答	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0

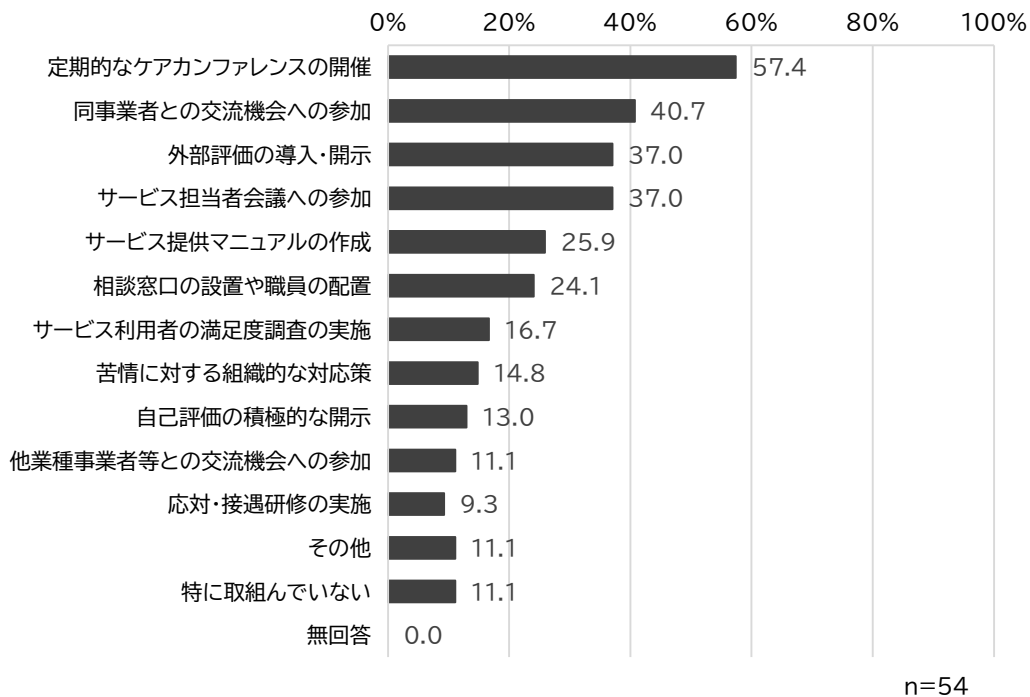
3-4 今後の意向について

(1) サービスの質の向上

① サービスの質の向上のために現在重点的に取り組んでいること

問 15 サービスの質の向上のため、現在重点的に取り組まれていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「定期的なケアカンファレンスの開催」が 57.4%と最も高く、次いで「同事業者との交流機会への参加」(40.7%)、「外部評価の導入・開示」と「サービス担当者会議への参加」が同率で 37.0%となっています。



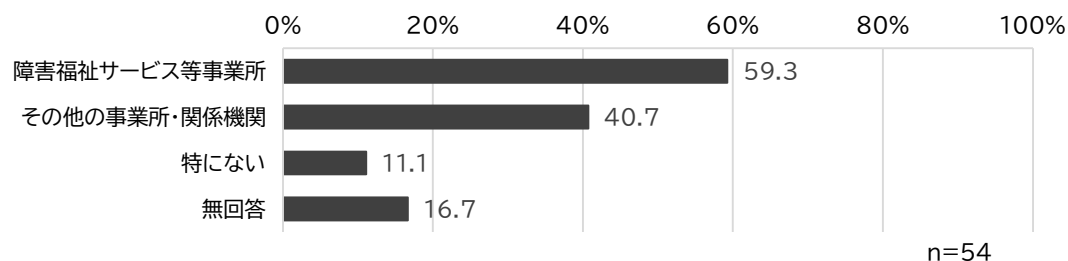
<回答数>	全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
	54	10	27	7	6	4
相談窓口の設置や職員の配置	24.1	0.0	29.6	14.3	0.0	75.0
定期的なケアカンファレンスの開催	57.4	30.0	66.7	57.1	16.7	100.0
サービス利用者の満足度調査の実施	16.7	20.0	11.1	0.0	16.7	75.0
自己評価の積極的な開示	13.0	20.0	7.4	0.0	0.0	75.0
外部評価の導入・開示	37.0	0.0	51.9	71.4	0.0	25.0
サービス提供マニュアルの作成	25.9	60.0	18.5	28.6	16.7	25.0
サービス担当者会議への参加	37.0	20.0	37.0	57.1	33.3	25.0
同事業者との交流機会への参加	40.7	20.0	37.0	71.4	33.3	75.0
他業種事業者等との交流機会への参加	11.1	20.0	3.7	28.6	16.7	0.0
対応・接遇研修の実施	9.3	20.0	3.7	28.6	0.0	0.0
苦情に対する組織的な対応策	14.8	0.0	22.2	14.3	0.0	25.0
その他	11.1	20.0	11.1	0.0	33.3	0.0
特に取り組んでいない	11.1	10.0	11.1	0.0	33.3	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 必要な連携や支援

①連携が必要な関係機関

問 16 今後の事業運営にあたり、連携が必要な関係機関はどのようなところですか。

「障害福祉サービス等事業所」が 59.3%、「その他の事業所・関係機関」は 40.7%、「特にない」は 11.1%となっています。



	全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
<回答数>	54	10	27	7	6	4
障害福祉サービス等事業所	59.3	30.0	55.6	100.0	66.7	75.0
その他の事業所・関係機関	40.7	20.0	44.4	42.9	33.3	75.0
特にない	11.1	30.0	7.4	0.0	16.7	0.0
無回答	16.7	20.0	22.2	0.0	0.0	25.0

【障害福祉サービス等事業所】

	連携が必要な関係機関
訪問系サービス	相談支援(2件)
日中活動系サービス	相談支援(5件)、就労継続支援B型(4件) 東大和市共同作業所連絡会(3件)、共同生活援助(2件) 自立訓練(2件)、重症心身障害児施設、就労移行支援
共同生活援助	相談支援(2件)、就労継続支援B型(2件)、移動支援(2件) 就労移行支援、生活介護
相談支援	市内、市外の事業所(サービス種類問わず)、共同生活援助、入所施設
障害児通所支援	相談支援(2件)、児童発達支援事業所(2件) 放課後等デイサービス(2件)

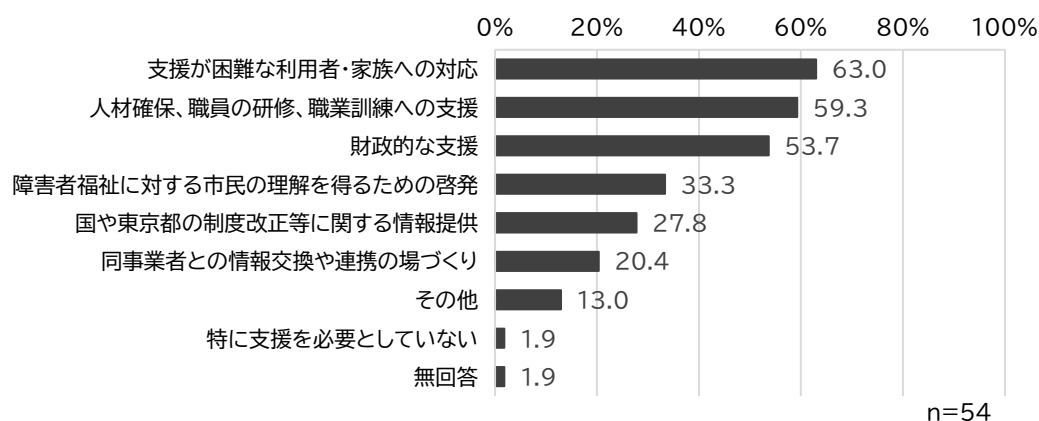
【その他の事業所・関係機関】

	連携が必要な関係機関
訪問系サービス	障害に強い医療機関、居宅介護支援、行政
日中活動系サービス	行政(4件)、特定相談支援(2件)、医療機関(2件)、保健所 地域生活支援センター、障害者就労生活支援センター 東大和市共同作業所連絡会、製品を置いてもらえる販売店 地域包括支援センター、訪問看護 東大和市総合福祉センター、社会福祉協議会 ハローワーク、医療機関、特別支援学校、定時制・通信制高校等
共同生活援助	行政(2件)、東京都社会福祉協議会 東大和市の居住系障害福祉サービス事業所連絡会 医療機関、保健所、介護保険事業所、ハローワーク、職場、支援関係者
相談支援	医療機関(2件)、教育機関、就労支援関係、訪問看護、高齢者支援
障害児通所支援	学校(3件)、子ども家庭支援センター(2件)

②必要な関係機関の支援

問 17 今後の事業運営にあたり、行政等の関係機関のどのような支援が必要ですか。
(必要と思うもの3つに○)

「支援が困難な利用者・家族への対応」が63.0%と最も高く、次いで「人材確保、職員の研修、職業訓練への支援」(59.3%)、「財政的な支援」(53.7%)、「障害者福祉に対する市民の理解を得るための啓発」(33.3%)の順となっています。



	全体	訪問系サービス	日中活動系サービス	共同生活援助	相談支援	障害児通所支援
<回答数>	54	10	27	7	6	4
人材確保、職員の研修、職業訓練への支援	59.3	60.0	51.9	85.7	66.7	75.0
財政的な支援	53.7	40.0	51.9	28.6	83.3	100.0
同事業者との情報交換や連携の場づくり	20.4	30.0	14.8	14.3	0.0	75.0
支援が困難な利用者・家族への対応	63.0	60.0	55.6	57.1	100.0	75.0
国や東京都の制度改正等に関する情報提供	27.8	40.0	29.6	14.3	0.0	50.0
障害者福祉に対する市民の理解を得るための啓発	33.3	20.0	25.9	57.1	33.3	50.0
その他	13.0	10.0	11.1	14.3	0.0	50.0
特に支援を必要としていない	1.9	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.9	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0

(3) 新たに実施を検討しているサービス

問 18 現在、貴事業所が行っている事業以外で、今後新たに実施予定のサービス、新たに実施してみたいサービスはありますか(障害福祉サービス等以外も含む)。

	新たに実施を検討しているサービス
訪問系サービス	障害種別や世代を超えた交流の場(子ども食堂)
日中活動系サービス	共同生活援助(6件)、生活介護(2件)、就労継続支援A型
共同生活援助	共同生活援助 共同生活援助から自立したひとり暮らし希望者のためのサテライト 特定計画相談、訪問看護、移動支援 健康管理面の食事についての研修 高齢者になっていく利用者のサポート体制 多世代交流型施設(子ども食堂のようなもの)、避難所
相談支援	地域生活支援拠点、自立生活援助、共同生活援助のサテライト
障害児通所支援	成人の平日の余暇支援

3-5 障害福祉サービス、障害者施策への意見

問 19 東大和市に不足していると思う障害福祉サービス、市として力を入れて取り組むべきと思う障害者施策について、ご意見をお聞かせください。

【不足している障害福祉サービス】

- 共同生活援助(4件)
- 入所支援(3件)、短期入所(2件)
- 生活介護(2件)
- 地域移行支援(2件)
- 地域定着支援
- 就労継続支援A型
- 特定相談支援
- 移動支援、移送サービス

【市として取り組むべき障害者施策】

- 支援が困難な利用者や家族への対応、財政的な支援(3件)
- ケース会議の開催(2件)
- 移動支援を提供する事業所の条件緩和、ヘルパー待遇の改善(2件)
- 学校を卒業した児童の居場所(2件)
- 事務の効率化(いまだに書類のムダが多過ぎ)。適切な不正のチェック
- ケースワーカーは、相談支援専門員と同等の知識も併せ持ってほしい。
- 専門的知識のある職員を配置した窓口
- 自立支援協議会をはじめたくさんある会議を整理し、地域課題をさまざまな側面から検討できる体制の再構築
- 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムが推進されているが、東大和市は小さい街で連携の取りやすさがよいところと思われるので、高齢者の地域包括ケアシステムとの横のつながりを強化
- 市民への啓蒙活動(インクルーシブ社会の実現に向けて)
- 施設や道路等のバリアフリー(実際は基準数値では利用できないこともある)
- 災害時の支援(避難所設置運営マニュアル、要支援者名簿の活用)、障害者避難所の確保
- 災害時や緊急時において、24時間365日対応できるような体制を整備していただきたい。
- 市内の民間企業等に対する障害者雇用の促進のためのさまざまな働きかけ
- 家族会に限らず、当事者の家族が気軽に相談できる場所や機会の創設
- 優先調達法に対する全職員の意識向上

- 人材不足や確保、人材不足に対する施策
- 制度の狭間にある方への支援
- 単身生活を希望する障害者への地域に近い形での体験の場
- 在宅での医療ケアのある方への支援、医療的ケアの必要な人の受け入れ
- 安定した施設運営や工賃向上のためには、整備された施設が必要不可欠です。土地や建物等の貸与や施設整備にかかる費用の助成等を前向きに検討していただきたい。
- 2021年の報酬改定にあたり、報酬水準を引き下げよう改定が行われないう、市としても国に対する働きかけを継続させていただきたい。
- 障害者が東大和市で豊かに安全に生活していくことを可能にするために、日中活動の場を環境整備すること。
- 障害の方が個々に相談できるような受け入れ口があるとよいと思う。
- 知的障害者における移動支援の時間数増

第4章

調査結果のまとめ

4-1 障害当事者向け調査

(1) 回答者の属性

- アンケートの記入者について、“愛の手帳”、“高次脳機能障害がある”、“発達障害がある”では、「ご本人の家族」が高くなっています。
- 年齢については、“身体障害者手帳”で最も割合が高い年代は「70 歳代」、「愛の手帳」は「20 歳代」、「精神障害者保健福祉手帳」、「難病患者福祉手当」、「高次脳機能障害がある」は「50 歳代」、「発達障害がある」は「10 歳代」と「20 歳代」となっています。
- 世帯の主な収入について、“愛の手帳”、“難病患者福祉手当”、“発達障害がある”では、「ご家族の給与・賃金」が高く、家族が大きな支えになっていることがうかがえます。
- 同居家族について、全体では「配偶者」が 42.6%と最も高くなっています。“愛の手帳”と“発達障害がある”では、「父」や「母」の割合も高くなっています。
- “高次脳機能障害がある”と“発達障害がある”における必要なサポートについて、いずれも「福祉制度やサービスについて情報提供してもらえる」が最も高くなっており、福祉サービスに関するさらなる情報提供が課題となっています。

(2) 介護・支援の状況について

- 介護者・支援者について、“愛の手帳”と“発達障害がある”では「父母」が高く、全年齢にわたって父母への依存度が高いと考えられます。
- 受けている介護・支援の内容について、“愛の手帳”、“高次脳機能障害がある”、“発達障害がある”ではどの項目も割合が高い傾向にあり、特に“愛の手帳”の「金銭管理」は 70.1%となっています。
- 介護・支援が受けられなくなった場合の対応については、“身体障害者手帳”や“高次脳機能障害がある”では「施設に入所したい」、「愛の手帳」や“発達障害がある”では「グループホームに入居したい」が高くなっており、介護者・支援者が亡き後の支援が大きな課題であることがうかがえます。

(3) 住まいや生活について

- 現在の暮らし方について、障害等に関わらず「家族・親族と一緒に暮らしている」が最も高くなっています。
- 今後の暮らし方の意向について、“愛の手帳”や“発達障害がある”では「グループホーム等で暮らしたい」、「精神障害者保健福祉手帳」では「ひとりで暮らしたい」が他の障害等に比べて高くなっています。

(4) 健康や医療について

- かかりつけの医療機関がある割合は、障害等に関わらず 90%前後となっていますが、かかりつけの歯科医療機関では 60%前後にとどまっています。
- かかりつけ医療機関の所在地について、“精神障害者保健福祉手帳”、“難病患者福祉手当”、“発達障害がある”では 50%以上が「市外」と答えており、専門的医療機関は市外の利用が多いことが課題となっています。
- 医療機関で困っていることについて、“発達障害がある”では「症状をうまく医師に伝えられない、説明が理解できない」が 28.4%となっています。

(5) 就労・就学について

- 就労について、“愛の手帳”では「福祉的就労をしている」が 34.3%と高くなっています。
- 今後の就労意向について、“精神障害者保健福祉手帳”や“発達障害がある”では「働きたい」が高くなっています。また、障害者が働くために必要なことについて、どの障害等も「職場の障害者理解の促進」や「障害に応じた柔軟な働き方の整備」が高く、就労のための環境に課題を感じていることがうかがえます。
- 通園・通学で困っていること、心配なことについて、“愛の手帳”や“発達障害がある”では、「通園・通学の送迎」、「放課後の過ごし方」、「卒後・進路についての情報不足」が高くなっています。

(6) 外出・社会参加について

- 外出の頻度について、すべての障害等で 70%前後が週2～3回以上外出しています。
- 外出の際、困っていることについては、“愛の手帳”や“発達障害がある”は「まわりの人の障害者に対する理解が不足している」、「精神障害者保健福祉手帳」は「お金がかかる」、「高次脳機能障害がある」は「外出先や建物の設備が不便」が高くなっています。

(7) 障害福祉サービスの利用について

- 今後の利用意向で、現在の利用状況を大きく上回っているのは、「①居宅介護(身体介護、家事援助、通院介助)」の 12.3%となっています。
- 利用者における評価について、「非常に満足」と「やや満足」を合わせて、満足度が 60%を超えているサービスは、「①居宅介護(身体介護、家事援助、通院介助)」、「⑥生活介護」、「⑩自立訓練(機能訓練)」、「⑰放課後等デイサービス」、「⑱おむつ等支給事業」となっています。
- “愛の手帳”や“発達障害がある”では、「利用したいサービスが利用できない(事業所や人手の不足)」も高くなっており、障害等に必要サービスの充実が求められています。

(8) 福祉や生活に関する相談・情報入手について

- 生活で困ったことについて、“精神障害者保健福祉手帳”や“発達障害がある”では、「経済的なこと」が最も高くなっています。また、“難病患者福祉手当”や“高次脳機能障害がある”では、「健康や医療のこと」が50%を超えています。
- 困っていることの相談先について、すべての障害等で「家族や親族」が最も高くなっていますが、“精神障害者保健福祉手帳”、“難病患者福祉手当”、“発達障害がある”では、「医師・看護師」も高くなっています。
- 福祉関連の情報の入手先について、“身体障害者手帳”、“難病患者福祉手当”、“高次脳機能障害がある”では、「都や市等の広報」が40%前後となっておりますが、「学校・職場・施設」や「インターネット」は“愛の手帳”、“難病患者福祉手当”、“発達障害がある”で高くなっています。

(9) 災害時の避難・対策等について

- 避難の状況について、全体では「できない」が30%を超えていますが、避難時に助けてくれる人について「いない」が36.7%となっており、支援者が必要であるにもかかわらず、助けてくれる人がいない状況がうかがえます。
- 災害時に困ることについて、“精神障害者保健福祉手帳”、“難病患者福祉手当”、“高次脳機能障害がある”では、「日常的に必要な投薬や治療が受けられない」が50%を超えているなど、避難所の設備や体制への課題と考えられます。
- 避難行動要支援者登録制度への登録について、全体では「登録している」が7.2%なのに対して、「知らなかったが、登録したい」が24.0%となっており、さらなる普及・啓発が課題となっています。

(10) 障害者の権利擁護・理解促進について

- 差別・偏見や疎外感を感じることにについて、“愛の手帳”、“精神障害者保健福祉手帳”、“発達障害がある”では、「ある」が40%前後となっており、障害等による偏りが見受けられます。
- 差別・偏見や疎外感を感じる場面について、“精神障害者保健福祉手帳”、“発達障害がある”では、「仕事や収入」が45%を超えており、就労環境での理解に課題が見受けられます。

(11) 今後の障害者施策について

- 東大和市の障害者福祉施策への考えについて、すべての障害等で“満足”が“不満”を上回っています。
- 重要だと思う障害者福祉施策について、すべての障害等で「障害への理解促進」や「経済的支援の充実」が高くなっている他、“精神障害者保健福祉手帳”、“発達障害がある”では「雇用・就労支援の充実」も重要と指摘されています。

4-2 障害サービス事業者等向け調査

(1) 事業所の基礎情報

- 回答のあった提供サービスは、「日中活動系サービス」が 50.0%、「訪問系サービス」は 18.5%、「共同生活援助」は 13.0%、「相談支援」は 11.1%、「障害児通所支援」は 7.4%となっています。
- 法人種別について、「社会福祉法人」が 48.1%、「NPO法人」は 38.9%、「会社法人」は 9.3%、「その他」は 3.7%となっています。
- 職員について、人数は 10 人未満が 50%を超えており、平均年齢は 40～50 歳が中心、平均勤続年数は5年未満が 50%近くとなっています。

(2) 事業運営及び経営状況について

- 運営及び経営上の課題について、「中長期にわたる経営の安定性を確保すること」と「支援員や事務職員などの人材確保」が同率で 64.8%となっています。
- 人材の募集方法について、「ハローワーク」が 75.9%と最も高く、次いで「口コミ」(38.9%)、「その他」(33.3%)、「インターネット」(27.8%)の順となっています。
- 人材の募集で工夫をしていることについて、“口コミ”のによる募集方法や就労環境の充実などの工夫が見受けられます。
- 平成 30 年度の経営状況について、「おおむね均衡」が 48.1%、「赤字」は 24.1%、「黒字」は 22.2%となっています。

(3) サービス提供の課題について

- 事業実施上の課題は「危機管理体制の構築(事故防止やヒヤリハットの対応)」、利用者支援での課題は「全体的な人員不足」、サービス利用者からの苦情や相談は「支援員の人数が少ない」が最も高くなっています。

(4) 今後の意向について

- サービスの質の向上のために現在重点的に取り組んでいることについて、「定期的なケアカンファレンスの開催」が 57.4%と最も高くなっています。
- 必要な関係機関の支援では、「支援が困難な利用者・家族への対応」が 63.0%と最も高く、次いで「人材確保、職員の研修、職業訓練への支援」(59.3%)、「財政的な支援」(53.7%)と続いています。
- 新たに実施を検討しているサービスについて、“共同生活援助”の回答が多くみられます。

(5) 障害福祉サービス、障害者施策への意見

- 東大和市に不足していると思う障害福祉サービスについて、“共同生活援助”、“入所支援”、“短期入所”をはじめとする回答があります。
- 市として力を入れて取り組むべきと思う障害者施策について、支援が困難な利用者や家族への対応、財政的な支援、災害時における支援をはじめ、共生社会を目指した環境の充実を求める多くの意見があります。

資料

1 障害当事者向け調査票

第2次東大和市障害者総合プラン策定のための アンケート調査 ご協力のお願い

日頃より、東大和市の福祉行政にご理解・ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

東大和市では、平成30年に東大和市障害者総合プランを策定し、事業を進めてまいりましたが、計画年度の終了に伴い、現行計画策定後の状況の変化等を踏まえ、令和3年度を初年度とする第2次東大和市障害者総合プラン（第5次障害者基本計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画）を策定するはこびとなりました。

そこで、障害のある方のご意見・ご要望等を把握し、計画策定および今後の障害者施策の推進に役立てるため、アンケート調査を実施することにいたしました。

この調査は、東大和市にお住まい（市外の施設やグループホーム入居者も含む）の「身体障害者手帳」「愛の手帳」「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちの方と、「難病患者福祉手当」を受給されている方を対象に送付させていただきました。調査は、無記名郵送方式で回答いただきますので、回答された方が特定されたり、回答内容が明らかにされたりすることはありません。また、回答いただいた内容は、統計的に処理し、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使用することは一切ありません。

市におきましては、さまざまな計画策定を進めており、他の調査と重ねてのお願いとなる方もいらっしゃるかと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

調査票の回答にあたっては、裏面の「ご記入にあたってのお願い」をお読みいただき、ご記入いただきますようお願いいたします。

令和元年12月

東大和市長 尾崎 保夫

ご記入にあたってのお願い

- 1 この質問の中で「あなた」とは、この調査票のあて名の方(ご本人)です。ご本人がお答えになるのが難しい場合には、ご家族の方や支援者の方等がご本人に代わってお答えください。
- 2 質問によっては回答する方を限定しているものもありますので、質問の順にお答えください。
- 3 お答えは、あなたのお考えに最も近いと思われる回答を、質問文最後の()内に示された数の範囲で選び、その番号を○で囲んでください。
- 4 「その他」を選択し○をつけたときは、()内に具体的な内容をご記入ください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、住所、氏名を書かずに同封の返信用封筒に入れて、**12月23日(月)**までに郵便ポストに投函してください(切手は不要)。

この調査に関してのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

東大和市 福祉部 障害福祉課 障害福祉係
電話：042-563-2111 (内線1123) Fax：042-563-5928
メールアドレス：shogaifukushi@city.higashiyamato.lg.jp

ちょうさひょう
調査票

◆ご記入される方はどなたですか。あなた（あて名のご本人）からみた続柄でお答えください。（1つだけに○）

1. ご本人	2. ご本人の家族
3. 家族以外の介助者・支援者	4. その他（ ）

1. あなたご自身のことについて

問1. あなたの性別をお答えください。（1つだけに○）

1. 男性	2. 女性	3. 選択せず
-------	-------	---------

問2. あなたは何歳ですか。

令和元年12月1日現在で満 歳

問3. あなたがお住まいの地域はどこですか。（1つだけに○）

1. 狭山	2. 清水	3. 高木	4. 湖畔	5. 奈良橋
6. 蔵敷	7. 芋窪	8. 清原	9. 仲原	10. 中央
11. 上北台	12. 立野	13. 南街	14. 向原	15. 新堀
16. 桜が丘	17. 市外			

問4. あなたの世帯についておたずねします。

1-①現在いっしょに暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。（1つだけに○）

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人	6. 6人以上
-------	-------	-------	-------	-------	---------

※グループホーム、入所施設等を利用されている方は「1. 1人」としてください。

1-②現在いっしょに暮らしている人は次のどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 配偶者	2. 父	3. 母
4. 子（子の配偶者を含む）	5. 配偶者の父母	6. 祖父母
7. 兄弟姉妹	8. その他（ ）	

問5. あなたの世帯の主な収入（一番多い収入）は何ですか。（1つだけに○）

1. あなた自身の給与・賃金	2. ご家族の給与・賃金
3. 事業収入（自営業等）	4. 年金・手当
5. 生活保護	6. その他（ ）

問6. あなたは「身体障害者手帳」「愛の手帳」「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちですか。もしくは、「難病」「高次脳機能障害」「発達障害」がありますか。(あてはまるものすべてに○をし、障害の等級や各部位の等級それぞれについて○をつけてください。)

1. 身体障害者手帳 → (総合等級: 1級 2級 3級 4級 5級 6級)

部位	1級	2級	3級	4級	5級	6級
視覚	1級	2級	3級	4級	5級	6級
聴覚平衡	2級	3級	4級	5級	6級	
音声言語	3級	4級				
肢体不自由	1級	2級	3級	4級	5級	6級
内部障害	1級	2級	3級	4級		

2. 愛の手帳 → (程度: 1度 2度 3度 4度)

3. 精神障害者保健福祉手帳 → (等級: 1級 2級 3級)

4. 難病がある

5. 高次脳機能障害がある

6. 発達障害がある

【問6で「5. 高次脳機能障害がある」と答えた方へ】

1-① 「高次脳機能障害」による症状として、どのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 新しいできごとを覚えられない、迷子になる
- 今までできていたことができない(歯磨きの仕方がわからないなど)
- 集中力が続かない、気が散りやすい、複数のことを同時にやれない
- 家事や仕事等、段取りが必要なことができない
- 感情や欲求のコントロールができない、怒りっぽい、暴力をふるう
- やる気が乏しい、疲れやすい
- 片側の物や文章を見落としてしまう
- 話を理解できない、話そうとしても言葉が出てこない、文字の読み書きができない
- その他()

1-② 前問(問6の1-①)のような症状があることで、日常生活の中で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 勉強がはかどらない
- 今までどおりに家事や仕事ができない
- 失職した、または仕事が見つからない
- 経済的に苦しい
- コミュニケーションがうまくいかない、トラブルになる
- 人間関係が悪化した、家族や友人と疎遠になった
- ひとりで生活することが困難
- その他()

1-③ 前問(問6の1-②)のようなことに対し、どのようなサポートがあればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 生活上の相談にのってもらえる
2. 仕事の相談にのってもらえる
3. 福祉制度や受けられるサービスについて情報提供してもらえる
4. 「高次脳機能障害」について詳しく教えてもらえる
5. 障害のある方同士で交流できる場の提供
6. 障害のある方のご家族が交流できる場の提供
7. その他 ()

【問6で「6. 発達障害がある」と答えた方へ】

2-① 「発達障害」による症状として、どのようなものがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 発達の遅れがある
2. こだわりや、興味・関心の偏りがある
3. コミュニケーションが苦手
4. 言葉で説明されることが苦手
5. 音や光、におい、ザワザワした雰囲気等に敏感
6. 一生懸命やっているのに学校や職場で注意されることが多い
7. 会話がかみ合わないと感じる
8. 集中できない、じっとしてられない、衝動的
9. 読む・書く・計算することが苦手
10. その他 ()

2-② 前問(問6の2-①)のような症状があることで、日常生活の中で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園や認定こども園、保育園、学校で周囲になじめない、不登校である
2. 勉強についていけない
3. 家庭内に引きこもっている
4. 仕事がうまくいかない、仕事が続かない
5. 失職した、仕事が見つからない
6. 経済的に苦しい
7. 人間関係がうまくいかない、トラブルになる
8. その他 ()

2-③ 前問（問6の2-②）のようなことに対し、どのようなサポートがあればよいと思
いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 幼稚園や認定こども園、保育園、学校との話し合いをもってもらえる
2. 進学や就職の際の相談にのってもらえる
3. 仕事をする上でのサポートをしてもらえる
4. 生活上の相談にのってもらえる
5. 福祉制度や受けられるサービスについて情報提供してもらえる
6. 「発達障害」について詳しく教えてもらえる
7. 障害のある方同士で交流できる場の提供
8. 障害のある方のご家族が交流できる場の提供
9. その他（ ）

問7. あなたは、令和元年12月1日現在、介護保険の要支援・要介護認定を受けていますか。（1つだけに○）

1. 要支援1 2. 要支援2
3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5
8. 認定は受けていない ⇒ 問9へ

問8. （問7で「1.」～「7.」とお答えの方へ）現在どのようなサービスを利用していま
すか。（あてはまるものすべてに○）

- 《居宅サービス》
- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 訪問介護 | 2. 訪問入浴介護 | 3. 訪問看護 |
| 4. 訪問リハビリテーション | 5. 居宅療養管理指導 | 6. 通所介護 |
| 7. 通所リハビリテーション | 8. 短期入所生活介護 | 9. 短期入所療養介護 |
| 10. 特定施設入居者生活介護 | 11. 福祉用具貸与 | 12. 特定福祉用具購入費 |
| 13. 住宅改修 | | |
-
- 《地域密着型サービス》
- | | |
|----------------------|----------------------|
| 14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 15. 夜間対応型訪問介護 |
| 16. 認知症対応型通所介護 | 17. 小規模多機能型居宅介護 |
| 18. 認知症対応型共同生活介護 | 19. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 20. 地域密着型介護老人福祉施設 | 21. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 22. 地域密着型通所介護 | |
-
- 《施設サービス》
- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 23. 介護老人福祉施設 | 24. 介護老人保健施設 | 25. 介護療養型医療施設 |
|--------------|--------------|---------------|

2. 介護・支援の状況について

問9. あなたの介護者・支援者はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|--------------|-----------|----------|------------|
| 1. 配偶者 | 2. 父母 | 3. 子 | 4. 祖父母 |
| 5. 兄弟姉妹 | 6. その他の親族 | 7. 隣人・知人 | 8. ホームヘルパー |
| 9. 世話人 | 10. 施設職員 | | |
| 11. その他 () | | | |
| 12. 特にいない | | | |
| 13. 必要としていない | | | |

問10. (問9で「1.」～「11.」とお答えの方へ) どのようなことで介護・支援を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---------|----------|-------------|--------------|
| 1. 食事 | 2. 家事 | 3. トイレ | 4. 着替え・身だしなみ |
| 5. 入浴 | 6. 寝返り | 7. 室内の移動 | 8. 外出 |
| 9. 金銭管理 | 10. 薬の管理 | 11. その他 () | |

問11. (問9で「1.」～「11.」とお答えの方へ) 介護者・支援者があなたを介護・支援できなくなった場合はどうしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 一緒に住んでいる家族に頼みたい | |
| 2. 一緒に住んでいない家族や親せきに頼みたい | |
| 3. ホームヘルプを利用したい | 4. ショートステイを利用したい |
| 5. 施設に入所したい | 6. グループホームに入居したい |
| 7. 病院に入院したい | 8. どうしたらいいかわからない |
| 9. その他 () | |

◆問12 は障害者を介護・支援している家族の方へうかがいます。介護・支援している家族がいない方は問13にお進みください。

問12. 障害者を介護している家族への支援として必要なことはどんなことですか。

(必要と思われるもの2つに○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 休息をとれる機会の確保 | 2. 公的サービスの拡充 |
| 3. 介護の技術や知識の習得 | 4. 介護者同士の交流・情報交換の場 |
| 5. 経済的負担の軽減 | 6. その他 () |

3. 住まいや生活について

問13. あなたは、現在、どのように暮らしていますか。(1つだけに○)

1. ひとりで暮らしている
2. 家族・親族と一緒に暮らしている
3. 友達等知り合いと一緒に暮らしている
4. グループホーム等で暮らしている
5. 障害者施設で暮らしている
6. 介護保険（高齢者）施設で暮らしている
7. 入院している
8. その他（)

問14. あなたは、今後、どのようにして暮らしたいですか。(1つだけに○)

1. ひとりで暮らしたい
2. 家族・親族と一緒に暮らしたい
3. 友達等知り合いと一緒に暮らしたい
4. グループホーム等で暮らしたい
5. 障害者施設で暮らしたい
6. 介護保険（高齢者）施設で暮らしたい
7. その他（)
8. わからない

4. 健康や医療について

問15. あなたは医療機関に通院等していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 定期的に通院している ⇒ 頻度（月に平均 回）
2. 定期的に訪問診療・訪問看護を受けている ⇒ 頻度（月に平均 回）
3. 現在入院している
4. 入院・通院等はしていない
5. その他（)

問16. あなたは健康相談や治療をしてくれる身近な医師等（かかりつけ医）がいますか。

次の（1）と（2）のそれぞれにお答えください。(それぞれ1つだけに○)

（1）かかりつけの医療機関について	1. ある（市内・市外）	2. ない
（2）かかりつけの歯科医療機関について	1. ある（市内・市外）	2. ない

問17. あなたは医療機関について困っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 家の近くに医療機関がない
2. 障害についての専門的医療機関がない
3. 障害について理解した上で対応してくれる医療機関がない
4. 休日や夜間に対応してくれる医療機関がない
5. 通院のための交通手段を確保するのが困難である
6. 通院に付き添ってもらう人の確保が困難である
7. 医療機関の院内がバリアフリーでない
8. 症状をうまく医師に伝えられない、医師の説明が理解できない
9. 医療費の負担が大きい
10. その他 ()
11. 特に困ったことはない

5. 就学・就業について

◆問18から問22は18歳以上の方にかがいます。18歳未満の方は問23にお進みください。

問18. あなたは現在、働いていますか。(1つだけに○)

- | | | |
|---|---|-------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 正規の職員・従業員として働いている 2. パート・アルバイト等で働いている 3. 自宅で働いている(自営業、家業の手伝い等) 4. 福祉的就労をしている(就労移行支援、就労継続支援事業所等) 5. 以前働いていたが、現在は働いていない 6. 働いたことがない | } | ⇒問19へ |
| 5. 以前働いていたが、現在は働いていない | } | ⇒問20へ |

問19. (問18で「1.」～「4.」と回答された方へ) 仕事をする上で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 職場環境が障害に対応していない 3. 就業時間が長い 5. 職場の人の理解が不足している 7. 体力的につらい 9. 仕事が合わない 11. その他 () | <ol style="list-style-type: none"> 2. 通勤が大変である 4. 仕事内容が難しい 6. 人間関係が良くない 8. 収入が少ない 10. 転職したい 12. 特にな |
|--|---|

問20. (問18で「5.」または「6.」と回答された方へ) あなたは今後働きたいと思っ
ていますか。(1つだけに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問21. (問18で「5.」または「6.」と回答された方へ) あなたが働いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 障害・病気の程度や症状のため | 2. 高齢のため |
| 3. 自分に合った仕事がないため | 4. 働くための技術や知識がないため |
| 5. 社会経験が乏しいため | 6. 家族等の理解がないため |
| 7. 誰に相談してよいかわからないため | |
| 8. その他 () | |
| 9. 特に理由はない | |

問22. (18歳以上のすべての方へ) 障害者が働くためにはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 就労に関する相談機関や支援員 | 2. 障害に応じた職業訓練の場 |
| 3. 職場での就労体験実習 | 4. 障害者向けの求人情報の提供 |
| 5. 企業の障害者雇用の促進 | 6. 職場の障害者理解の促進 |
| 7. 職場環境の改善 | 8. ジョブコーチ*等の支援 |
| 9. 障害に応じた柔軟な働き方(短時間労働等)の整備 | |
| 10. 離職後の支援 | 11. 仕事以外の生活面等での支援 |
| 12. その他 () | |

*「ジョブコーチ」とは、障害者の働く職場に支援者が出向く等により、職場適応・定着を支援する制度です。

◆問23と問24は18歳未満の方にかがいます。18歳以上の方は問25にお進みください。

問23. あなたが主に通園・通学しているところはどこですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------|-------------|---------------|
| 1. 幼稚園 | 2. 認定こども園 | 3. 保育園 |
| 4. 障害児の療育施設 | 5. 小学校の通常学級 | 6. 小学校の特別支援学級 |
| 7. 特別支援学校小学部 | 8. 中学校の通常学級 | 9. 中学校の特別支援学級 |
| 10. 特別支援学校中学部 | 11. 高等学校 | 12. 特別支援学校高等部 |
| 13. その他の学校 () | | |
| 14. その他 () | | |

問24. 通園・通学において困っていること、心配なことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 通園・通学の送迎 | 2. 園や学校の設備面の不備 |
| 3. 園や学校の人的支援の不足 | 4. 周囲の子どもとの関係 |
| 5. 教職員の指導方法 | 6. 他の父母との関係 |
| 7. 放課後の過ごし方 | 8. 卒後・進路についての情報不足 |
| 9. 経済的負担 | |
| 10. その他 () | |
| 11. 特になし | |

6. 外出・社会参加について

問25. あなたの外出回数はどれくらいですか。(1つだけに○)

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週2～3回程度 | 3. 月2～3回程度 |
| 4. ほとんど外出しない | 5. その他 () | |

問26. あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(多い目的3つに○)

- | | | |
|-------------|-----------------|--------------|
| 1. 通勤・通学・通所 | 2. 訓練・リハビリテーション | 3. 通院 |
| 4. 買い物 | 5. 趣味やスポーツ | 6. グループ活動や会合 |
| 7. 散歩 | 8. 友達に会う | 9. その他 () |

問27. あなたが外出の際、困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 公共交通機関が少ない |
| 2. バスや電車の乗り降りが困難である |
| 3. 道路や建物・駅に階段や段差が多い |
| 4. 外出先や建物の設備が不便(段差、トイレ、エレベーター等)である |
| 5. バスや電車運行の音声案内や文字案内がない |
| 6. 視覚障害者誘導用ブロックや音声誘導装置等が不十分である |
| 7. 障害者用の駐車スペースが少ない |
| 8. 通路上に自転車や看板等の障害物があって通りにくい |
| 9. 介助者・支援者が確保できない |
| 10. お金がかかる |
| 11. 発作やパニックが心配で外出できない |
| 12. まわりの人の障害者に対する理解が不足している |
| 13. 切符の買い方や乗り換えの方法がわからない |
| 14. その他 () |
| 15. 特になし |

問28. 障害者の社会参加のために最も必要と思う支援は何ですか。(1つだけに○)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 外出を支援するヘルパー等 | 2. 休日等の余暇活動の場の確保 |
| 3. 公民館活動等に障害者が参加できる配慮 | 4. 外出のためのバリアの除去 |
| 5. 移動手段の整備 | |
| 6. その他 () | |

7. 障害福祉サービスの利用について

問29. 障害福祉サービスの利用について、利用している場合は、「利用している」に○をして、評価欄のいずれかに○をしてください。今後利用したいサービスがあれば、「今後利用したい」に○をしてください（現在利用していて、今後も利用したい場合も○をしてください）。

サービス区分	利用している	評価（いずれかに○）					今後利用したい
		非常に満足	やや満足	ふつう	やや不満	非常に不満	
① 居宅介護（身体介護、家事援助、通院介助）							
② 重度訪問介護							
③ 同行援助							
④ 行動援助							
⑤ 療養介護							
⑥ 生活介護							
⑦ 就労移行支援							
⑧ 就労継続支援A型							
⑨ 就労継続支援B型							
⑩ 就労定着支援							
⑪ 自立訓練（機能訓練）							
⑫ 自立訓練（生活訓練）							
⑬ 宿泊型自立訓練							
⑭ 児童発達支援							
⑮ 医療型児童発達支援							
⑯ 居宅訪問型児童発達支援							
⑰ 放課後等デイサービス							
⑱ 保育所等訪問支援							
⑲ 短期入所（ショートステイ）							
⑳ 共同生活援助（グループホーム）							
㉑ 自立生活援助							
㉒ 施設入所支援							
㉓ 地域移行支援							

サービス区分	利用している	評価（いずれかに○）					今後利用したい
		非常に満足	やや満足	ふつう	やや不満	非常に不満	
②④ 地域定着支援							
②⑤ 補装具費支給事業							
②⑥ 相談支援事業（は～とふる・ウエルカム）							
②⑦ 地域活動支援センター（は～とふる・ウエルカム）							
②⑧ 手話通訳者等派遣事業							
②⑨ 手話通訳者設置事業							
③⑩ 日常生活用具給付事業							
③⑪ 移動支援（ガイドヘルプ）							
③⑫ 訪問入浴サービス事業							
③⑬ 就職支度金給付事業							
③⑭ 日中一時支援事業							
③⑮ 自動車運転免許取得費助成事業							
③⑯ 自動車改造費助成事業							
③⑰ 住宅設備改善事業							
③⑱ 福祉電話貸与・電話料助成事業							
③⑲ 緊急通報システム・火災安全システム事業							
④⑩ ガソリン費助成事業							
④⑪ 福祉タクシー券事業							
④⑫ おむつ等支給事業							
④⑬ 寝具乾燥等事業							
④⑭ 家具転倒防止器具取付事業							
④⑮ 障害者休養ホーム							
④⑯ 都営交通無料乗車券							
④⑰ 多目的集会室（は～とふる）							
④⑱ 障害者就労支援事業							
④⑲ 権利擁護事業							
⑤⑩ 成年後見制度							

問30. サービス利用に関して困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用したいサービスがあっても利用できない(事業所や人手の不足)
2. 利用できる回数や日数が少ない
3. サービスの質がよくない
4. 利用者負担が大きい
5. 手続きが難しい
6. サービスに関する情報が少ない
7. その他 ()
8. 特にない

8. 福祉や生活に関する相談・情報入手について

問31. あなたは、現在の生活で困ったり、不安に思っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------------------|------------------|--------------|
| 1. 仕事のこと | 2. 経済的なこと | 3. 健康や医療のこと |
| 4. 住まいのこと | 5. 外出のこと | 6. 家族のこと |
| 7. 余暇活動のこと | 8. 介助者・支援者のこと | 9. 福祉サービスのこと |
| 10. 情報入手や相談先のこと | 11. 進学や学校のこと | 12. 結婚のこと |
| 13. 老後のこと | 14. 友人や近所付き合いのこと | |
| 15. 日常の会話等の意思疎通が思うようにできないこと | | |
| 16. その他 () | | |
| 17. 特にない | | |

問32. あなたが困ったり不安を感じた時に、誰(どこ)に相談していますか。
(よく相談している人や場所3つに○)

- | | | |
|----------------|------------------|--------------|
| 1. 家族や親族 | 2. 友人・知人 | 3. 近所の人 |
| 4. 職場の人 | 5. 同じ障害の人 | 6. 障害者の会・家族会 |
| 7. ホームヘルパー・世話人 | 8. 入所・通所施設の職員 | 9. 学校の先生 |
| 10. 医師・看護師 | 11. 民生・児童委員 | 12. 障害者相談員 |
| 13. 市の障害福祉課 | 14. 障害福祉課以外の市の職員 | |
| 15. 相談支援事業所 | 16. 地域活動支援センター | |
| 17. 社会福祉協議会 | 18. その他 () | |
| 19. 相談する人がいない | | |

問33. あなたは、福祉関連の情報を主にどこから入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 都や市等の広報	2. 学校・職場・施設	3. テレビ・ラジオ・新聞
4. インターネット	5. 市のホームページ	6. 病院・診療所
7. 障害者団体や家族の会	8. 家族・親族	9. 市や保健所の窓口
10. 障害者相談員	11. 相談機関	12. ヘルパー・ボランティア
13. その他 ()		

9. 災害時の避難・対策等について

問34. あなたは、火事や地震、風水害等の災害時にひとりで避難できますか。(1つだけに○)

1. できる	2. できない	3. わからない
--------	---------	----------

問35. 家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(1つだけに○)

1. いる	2. いない	3. わからない
-------	--------	----------

問36. 火事や地震、風水害等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に必要な投薬や治療が受けられない
2. 迅速に移動(避難や広域避難場所への移動等)ができない
3. 周囲の人に必要な支援内容を伝えられない
4. 避難所の設備や生活環境に不安がある
5. 避難所で、必要な相談、介護、看護等を受けられない
6. 慣れない環境でのパニックやコミュニケーション障害が不安
7. その他 ()
8. 特に不安はない

問37. あなたは、災害に対してどのような備えをしておくことが最も必要だと思いますか。(1つだけに○)

1. 災害時に助けてくれる人を確保しておく
2. 避難をした場合等に必要となるもの(薬、非常用電源等)を確保しておく
3. 避難行動要支援者登録制度※に登録しておく
4. 自分に合った災害時の支援計画を立てておく
5. 避難しなくてもよいような備え(非常食の用意等)をしておく
6. その他 ()

※「避難行動要支援者登録制度」とは、災害時に、家族等の支援が受けられず、自力での避難が困難な方が、あらかじめ登録しておき、災害時に支援を受けられるような体制を整えるための制度です。

問38. あなたは、「避難行動要支援者登録制度」に登録していますか。(1つだけに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 登録している | 2. 知っているが、登録していない |
| 3. 知らなかったが、登録したい | 4. 知らない、登録の必要を感じない |

問39. あなたは、「ヘルプカード※」を利用していますか。(1つだけに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 利用している | 2. 知っているが、利用していない |
| 3. 知らなかったが、利用してみたい | 4. 知らない、必要としていない |

※「ヘルプカード」とは、障害者等で手助けを必要とする人が普段から身につけておき、緊急時や災害時等に周囲の人の配慮や手助けをお願いしやすくするためのカードで、市が作成・配布しています。

10. 障害者の権利擁護・理解促進について

問40. あなたは日常生活で、障害者への差別・偏見や疎外感を感じることはありませんか。(1つだけに○)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

問41. (問40で「1. ある」と回答された方へ) 次のどのようなところに、差別・偏見や疎外感を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------|
| 1. 教育の機会 | 2. 仕事や収入 | 3. サークル等への参加 |
| 4. 地域行事・地域活動 | 5. 近所付き合い | 6. お店での対応 |
| 7. 道路や建物の整備 | 8. 交通機関の利用 | |
| 9. 福祉関係従事者の対応 | 10. 災害時・緊急時の情報提供 | |
| 11. 政治への参加 | 12. 公共施設の利用 | |
| 13. その他 () | | |

問42. あなたは平成28年4月から施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」を知っていますか。(1つだけに○)

- | | | |
|-------------|-------------|---------|
| 1. 内容を知っている | 2. 聞いたことがある | 3. 知らない |
|-------------|-------------|---------|

※「障害者差別解消法」では、障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目指し、国・都道府県・市町村等の役所や、会社やお店等の事業者が、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁止しています。

問43. あなたは、「成年後見制度※」を使うことについて、どう思いますか。(1つだけに○)

- | | | |
|-------------|-----------------|-------------|
| 1. すでに使っている | 2. 今後使うことも考えている | 3. 一部なら使いたい |
| 4. 使いたくない | 5. わからない | |

※「成年後見制度」とは、判断能力が不十分な成年者(知的障害者、精神障害者、認知症の高齢者等)が不利益を被らないように家庭裁判所に申し立てをし、その方を援助してくれる人(後見人)を付け、財産管理やサービスの利用等を手伝ってもらう制度です。

11. 今後の障害者施策について

問44. 東大和市の障害者福祉施策について、どうお考えですか。(1つだけに○)

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. 少し満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. 満足していない | |

問45. 障害者が地域で自立して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思えますか。(重要だと思うこと5つに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 障害への理解促進 | 2. 保健・医療の充実 |
| 3. 保育・療育・教育の充実 | 4. 雇用・就労支援の充実 |
| 5. ホームヘルプサービス等の充実 | 6. 短期入所の充実 |
| 7. 日中の通所施設の整備 | 8. グループホームの整備 |
| 9. 入所施設の整備 | 10. 相談支援体制の充実 |
| 11. コミュニケーション支援の充実 | 12. 福祉用具・補装具等の充実 |
| 13. 居住支援(住まいの確保等)の充実 | 14. 医療費助成制度の充実 |
| 15. 権利擁護・成年後見制度の充実 | 16. 移動手段確保のための施策の充実 |
| 17. 施設通所者の工賃向上の取組み | 18. 障害特性に応じた情報保障 |
| 19. 経済的支援の充実 | 20. 福祉人材の育成 |
| 21. 生涯学習・余暇活動支援の充実 | 22. 建物・道路等のバリアフリー化 |
| 23. 交通機関や交通施設の改善・整備 | 24. 防犯・防災対策の充実 |
| 25. 災害時要配慮者対策事業 | 26. 障害者等の虐待防止対策事業 |
| 27. その他 () | |

問46. 障害福祉サービスや制度、東大和市の取組みについて、ご意見、ご要望等がございましたらご自由にお書きください。

※ご意見・ご要望のカテゴリー（あてはまるものに○）

1. 介護 2. 住まい・生活 3. 健康・医療 4. 就学・就業 5. 外出・社会参加
6. 障害福祉サービス 7. 相談 8. 災害 9. 権利擁護・理解促進 10. 障害施策

ご協力ありがとうございました。この調査票のみを返信用封筒に入れ、
12月23日（月）までに郵便ポストに投函してください。
（切手を貼る必要はありません）

2 障害サービス事業者等向け調査票

第2次東大和市障害者総合プラン策定のための 障害福祉サービス等事業所調査

～ご協力のお願～

日頃より東大和市の福祉行政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、市では、令和3年度から始まる「第2次東大和市障害者総合プラン（第5次障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画）」の策定に向けた取組を進めております。

計画策定にあたり、障害福祉サービス等事業所の皆様からのご意見をお聞かせいただき、基礎資料にしたいと考えています。ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、お答えいただきました内容は、調査の目的以外に使用することは決してございません。またご記入いただく事業所名を公開することとございませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、重ねてお願いいたします。

令和元年12月

東大和市

【ご記入にあたってのお願い】

1. このアンケートは、事業所の運営や利用者の生活状況をよくご存知の方に回答をお願いいたします。
2. 回答は、質問毎にあてはまる選択肢の番号に「○」を付けてください。「その他」に該当する場合は、（ ）の中に具体的な内容をご記入ください。
3. 調査票記入後は、返信用封筒にて、**12月23日(月)までに**ご返送ください。
4. このアンケートについてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

東大和市 福祉部 障害福祉課 障害福祉係

電話 042-563-2111（内線1123）

FAX 042-563-5928

E-mail shogaifukushi@city.higashiyamato.lg.jp

同一法人で複数の事業所を有する場合は、以下の分類により事業所ごとに回答ください。

- 1 訪問系サービス（居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援）
⇒ 1事業所として
- 2 日中活動系サービス（生活介護、就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労移行支援、自立訓練、療養介護、短期入所、日中一時支援）⇒ それぞれの事業所ごとに
- 3 共同生活援助
- 4 相談支援（特定相談支援、一般相談支援）⇒ 1事業所として
- 5 障害児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス）⇒ それぞれの事業所ごとに

最初に貴事業所の基本的なことについておたずねします。

問1 事業所名称			
(提供サービス)			
問2 法人種別 あてはまる番号に○を付けてください。	1 社会福祉法人	2 NPO法人	}
	3 会社法人	4 その他 (
問3 事業所開設時期	昭和・平成・令和 _____年 _____月		
問4 職員		常勤	非常勤
	人数	_____人	_____人
	(うち、他事業との兼務者)	_____人	_____人
	性別	男性 _____人	男性 _____人
		女性 _____人	女性 _____人
	平均年齢	_____歳	_____歳
平均勤続年数	_____年	_____年	
問5 同一法人で実施している他の事業 (障害福祉サービス等以外)			

貴事業所の事業運営及び経営状況についておたずねします。

問6 貴事業所の運営及び経営上の課題はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 中長期にわたる経営の安定性を確保すること
2 報酬単価が実態にそぐわずに低い
3 支援員や事務職員などの人材確保
4 代替職員の確保(育休・病休職員対応など)
5 職員の資質の向上を図ること(研修機会の確保、OJT等)
6 支援員の定着化(長期雇用の確保)
7 支援員間の意思疎通、会議の時間の確保
8 職員の福利厚生(休暇、手当等)
9 利用者を確保すること
10 利用者や家族等の問い合わせやクレームに対応する相談体制
11 市等関係機関との連携、協力体制
12 地域や自治会組織、関係団体との必要な連携
13 その他(具体的に)
14 特に課題はない

問7 人材の募集はどのような方法で実施していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 ハローワーク	2 新聞広告	3 インターネット	4 口コミ
5 その他(具体的に)			
※上記のうち、最も効果のある募集方法は?			
[]			

問8 人材の募集で工夫していること、これから取組みたいことはありますか。

(工夫)
(取組)

問9 人材育成や人材定着のための取組について、どの程度取組んでいますか。(すべての項目について、項目ごとにア～エを選択して記載)

項目	取組状況 (ア～エから1つ選択)
①職場内での研修	
②外部研修への派遣	
③専門的資格の取得促進	
④同業の他事業所との交流等	
⑤資格や経験に応じた処遇改善	
⑥職場環境の改善	
⑦ケース会議等でのスキルアップ	

↑ 選択

ア 十分できている イ まあまあできている
ウ あまりできていない エ 不十分

問10 平成30年度からの障害福祉サービス等報酬改定の影響はありますか。(あてはまるもの1つに○) ※移動支援、日中一時支援は回答不要

1 収益が上がった 2 収益が下がった 3 特に影響はない 4 わからない

問11 令和元年10月からの福祉・介護職員等特定処遇改善加算は実施しましたか。(あてはまるもの1つに○) ※移動支援、日中一時支援は回答不要
実施していない場合は、その理由もお書きください。

1 実施した 2 実施していない

理由 (

)

問12 平成30年度の貴事業所の経営状態は以下のうちどちらですか。(あてはまるもの1つに○)

同一法人で複数の事業を実施している場合は、本調査票で回答している事業所についてお書きください。また、赤字である場合は、その理由もお書きください。

1 黒字 2 おおむね均衡 3 赤字

赤字の理由 (

)

貴事業所のサービス提供状況についておたずねします。

問13 令和元年10月現在、貴事業所が提供しているサービスについて、①定員、②サービス提供者数、③今後の受入可能人数、④サービス提供者の障害種別、⑤サービス提供者の市内人数、市外人数、⑥利用者の増減（1年前と比較して）をご記入ください。

※訪問系サービスは、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援に分けて、相談支援は特定相談支援（計画相談）、一般相談に分けて、その他は、本調査で回答しているサービスについて記載してください。

障害福祉サービス等	①定員 ②提供者数 ③受入可能 人数		④障害種別		⑤市内／市外		⑥利用者の増減
	①	人	身体	人	市内	人	ア 増えている
	②	人	知的	人			
	③	人	精神	人	市外	人	ウ 変わらない
			その他	人			
	①	人	身体	人	市内	人	ア 増えている
	②	人	知的	人			
	③	人	精神	人	市外	人	ウ 変わらない
			その他	人			
	①	人	身体	人	市内	人	ア 増えている
	②	人	知的	人			
	③	人	精神	人	市外	人	ウ 変わらない
			その他	人			
	①	人	身体	人	市内	人	ア 増えている
	②	人	知的	人			
	③	人	精神	人	市外	人	ウ 変わらない
			その他	人			

問14 貴事業所が提供しているサービスにおける①事業実施上の課題、②利用者支援での課題、③利用者からの苦情や相談について、ご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

①事業実施上の課題

1	利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底	
2	利用者への説明と意思の尊重	
3	利用者にとっての有益な情報開示の推進	
4	苦情処理対応	
5	危機管理体制の構築（事故防止やヒヤリハットの対応）	
6	他の事業所や関係機関との連携	
7	その他]
	[
8	特にない	

②利用者支援での課題

1	量的に、利用者の希望どおりサービスが提供できていない	
2	質的に、利用者の希望どおりサービスが提供できていない	
3	利用者や家族とのコミュニケーションが難しい	
4	困難事例への対処が難しい	
5	休日や夜間の対応が難しい	
6	支援者のスキルが不足している	
7	医療的ケアや強度行動障害等の専門的支援体制の不足	
8	全体的な人員不足	
9	その他]
	[
10	特にない	

③サービス利用者からの苦情や相談

1	利用日、利用時間などが希望どおりにならない
2	サービスの質がよくない
3	支援員の対応がよくない
4	支援員の人数が少ない
5	利用者負担が大きい
6	施設や設備が十分でない
7	サービスについての説明が不十分である
8	その他
	()
9	特にない

今後の意向についておたずねします。

問15 サービスの質の向上のため、現在重点的に取組まれていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1	相談窓口の設置や職員の配置	2	定期的なケアカンファレンスの開催
3	サービス利用者の満足度調査の実施	4	自己評価の積極的な開示
5	外部評価の導入・開示	6	サービス提供マニュアルの作成
7	サービス担当者会議への参加	8	同事業者との交流機会への参加
9	他業種事業者等との交流機会への参加	10	対応・接遇研修の実施
11	苦情に対する組織的な対応策	12	その他
13	特に取組んでいない		(具体的に)

問16 今後の事業運営にあたり、連携が必要な関係機関はどのようなところですか。

1	障害福祉サービス等事業所	()
2	その他の事業所・関係機関	()
3	特にない	

問17 今後の事業運営にあたり、行政等の関係機関のどのような支援が必要ですか。
(必要と思うもの3つに○)

- 1 人材確保、職員の研修、職業訓練への支援
- 2 財政的な支援
- 3 同事業者との情報交換や連携の場づくり
- 4 支援が困難な利用者・家族への対応
- 5 国や東京都の制度改正等に関する情報提供
- 6 障害者福祉に対する市民の理解を得るための啓発
- 7 その他(具体的に)
- 8 特に支援を必要としていない

問18 現在、貴事業所が行っている事業以外で、今後新たに実施予定のサービス、新たに実施してみたいサービスはありますか(障害福祉サービス等以外も含む)。

問19 東大和市に不足していると思う障害福祉サービス、市として力を入れて取り組むべきと思う障害者施策について、ご意見をお聞かせください。

(不足している障害福祉サービス)

(市として取り組むべき障害者施策)

ご協力ありがとうございました。

第2次東大和市
障害者総合プラン策定のためのアンケート調査
報告書

令和2年3月

発行 東大和市
東京都東大和市中心3-930
編集 東大和市福祉部障害福祉課